

令和 8 年 7 月 1 4 日

国土交通省関東地方整備局

企画部・港湾空港部

令和 7 年度 優良工事等表彰式の開催について

～併せて、令和 7 年度の関東インフラ D X 大賞の授与を行います～

関東地方整備局では、令和 7 年度に完成した工事、完了した業務の中から、「特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者」について、下記のとおり「令和 7 年度優良工事等表彰式」にて表彰（局長表彰）いたしますので、お知らせいたします。

また、併せて、建設業界全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を行った工事・業務について、関東インフラ D X 大賞として表彰いたします。

1. 日時 令和 8 年 7 月 1 6 日（木） 1 4 時 0 0 分～ 1 7 時 0 0 分（2 回に分け開催）
 - 1) 1 4 時 0 0 分～ 1 5 時 3 0 分 優良工事、優秀工事技術者、安全管理優良受注者、工事成績優秀企業認定
 - 2) 1 6 時 0 0 分～ 1 7 時 0 0 分 優良業務、優秀技術者、関東インフラ D X 大賞

2. 場所 さいたま新都心合同庁舎 1 号館 2 階講堂

3. 表彰（認定）件数及び人数 資料 1 ～ 3 参照

※上記 3. の優良工事、優良業務の概要及び表彰理由は、参考資料 1 ～ 参考資料 2 を参照願います。関東インフラ D X 大賞の概要及び表彰理由は、参考資料 3 を参照願います。

また、参考資料は関東地方整備局ホームページにて公開いたします。

4. 取材を希望される方は、別紙に基づき、電子メールにて申し込みください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会

<問い合わせ先>

■優良工事等について（港湾空港関係除く）

関東地方整備局 企画部

電話：0 4 8 - 6 0 1 - 3 1 5 1（代表） E-mail：ktr-dx_icon20@ki.mlit.go.jp

総括技術検査官（工事全般） 藏園（くらその）（内線：3 1 1 7）

工事品質調整官（業務全般） 延常（のぶつね）（内線：3 1 1 8）

技術管理課（D X 大賞） 課長 小宮山（こみやま）（内線：3 3 1 1）

■優良工事等について（港湾空港関係のみ）

関東地方整備局 港湾空港部

電話：0 4 5 - 2 1 1 - 7 4 1 9

工事安全推進室 室長 佐々木（ささき）（内線：5 7 0 8）

安全企画係長 土屋（つちや）（内線：5 7 8 0）

報道機関の皆様へ

◆取材等の申し込みについて

【期 日】 令和 8 年 7 月 15 日（水）18：00 まで【申込み】

メールには、以下内容をご記載ください

件名：【取材希望】優良工事等局長表彰

本文：①氏名（ふりがな）、②社名、③連絡先（電話・Mail）

【送 付】 送付先：ktr-dx_icon20@ki.mlit.go.jp

◆その他

ご来庁の際には以下についてご留意ください。

- ・ 写真撮影等は式の進行の妨げにならないようお願いいたします。
- ・ 腕章を持参のうえ、各社 1 名まででお願いします。

会場案内図

■さいたま新都心合同庁舎1号館 2階講堂

(埼玉県さいたま市中央区新都心1-1)

「さいたま新都心駅」徒歩5分(JR京浜東北・高崎・宇都宮線)

「北与野駅」徒歩10分(JR埼京線)

※ 公共交通機関をご利用ください。



1. 目的

（優良工事表彰）

優良工事表彰は、関東地方整備局発注の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（優秀工事技術者表彰）

優秀工事技術者表彰は、関東地方整備局発注の工事を担当した現場代理人及び主任（監理）技術者の中から表彰を行うことにより、技術者の誇りと資質の向上を図り、円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（安全管理優良受注者表彰）

安全管理優良受注者表彰は、安全管理に優れた受注者を表彰することにより、安全対策の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

（優良業務及び優秀技術者表彰）

優良業務及び優秀技術者表彰は、その成果及び業務への取り組み方が優秀であり他の模範となるものを表彰することにより、技術力の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

2. 選定方法

優良工事等の選定は、関東地方整備局及び管内の53事務所から推薦された河川、道路、営繕港湾・空港の工事及び業務の中から、優良工事等選定委員会（港湾空港関係については表彰審査委員会）において審査を行いました。

3. 選定方針

（優良工事）

- ①当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②工事の難易や創意工夫、安全対策への取り組み等が特に優れているもの。

（優秀工事技術者）

- ①当該工事技術者の担当した工事が優良であり、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。
- ②管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

（安全管理優良受注者）

- ①関東地方整備局発注の全工種（※港湾空港部を除く）及び港湾土木工事において、累計完成工事量が多く、過去3カ年度（令和5年4月1日～令和8年3月31日）無事故等を継続しているもの。

（優良業務及び優秀技術者）

- ①当該業務の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②業務計画段階から複雑な業務を掌握し、優れて企画力を発揮、積極的に斬新な提案を行うなど創意工夫がみられるもの。
- ③技術的に高度で複雑な業務を遂行し、優良な成果として取りまとめたもの。

4. 表彰される件数、人数(別紙1～別紙3参照)
- (1) 優良工事 50件(重複除き、47社)
 - (2) 優秀工事技術者 45名
 - (3) 安全管理優良受注者 188社(重複除き、161社)

各工種における受注者の内訳					
一般土木工事	: 98社	、	アスファルト舗装工事	: 10社	
鋼橋上部工事	: 5社	、	造園工事	: 3社	
電気設備工事	: 4社	、	プレストレスト・コンクリート工事	: 3社	
塗装工事	: 1社	、	維持修繕工事	: 30社	
河川しゅんせつ工事	: 1社	、	機械設備工事	: 9社	
通信設備工事	: 12社	、	受変電設備工事	: 1社	
橋梁補修工事	: 9社	、	港湾土木工事	: 2社	

- (4) 優良業務 70件(重複除き、37社)
- (5) 優秀技術者 72名(重複除き、69名)

■参考1 局長表彰数(工事)の昨年度との比較

種 別	表彰開始年度	令和7年度		令和6年度	
		対象件数	表彰数	対象件数	表彰数
優良工事	昭和50年度	966	50	969	49
優秀工事技術者	平成元年度		45		41
安全管理優良受注者※	平成13年度	-	188	-	205

※安全管理優良受注者は、令和2年度より対象を全工種(港湾空港部を除く)及び港湾土木工事としている。

■参考2 局長表彰数(業務)の昨年度との比較

種 別	表彰開始年度	令和7年度		令和6年度	
		対象件数	表彰数	対象件数	表彰数
優良業務	平成3年度	1,476	70	1,515	64
優秀技術者	平成3年度		72		64

5. 工事、業務の概要及び表彰理由

参考資料1～参考資料2 参照

なお、記者発表資料及び参考資料については、下記のとおり公表いたします。

記者発表資料: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>)

優良工事等局長表彰: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000022.html>)

6. その他

優良工事等局長表彰の受賞者は、入札契約手続きにおける企業及び担当技術者の技術力評価が優位になります。

令和7年度 優良工事・優秀技術者【局長表彰】（1／2）

別紙1

	事務所	負担行為件名	工種	会社名	優秀工事技術者	
					技術者区分	氏名
1	常陸河川国道事務所	R4那珂川左岸小場地区周囲堤築堤工事	一般土木工事	清水建設株式会社 土木東京支店	監理技術者	菊地 一仁
2	下館河川事務所	R3鬼怒川右岸田川水門(仮称)新設工事※	一般土木工事	東急建設株式会社	現場代理人	有賀 和樹
3	霞ヶ浦河川事務所	R7甘田入第13地区基盤整備工事	一般土木工事	水郷建設株式会社	監理技術者	茂木 秀敏
4	久慈川緊急治水対策河川事務所	R6久慈川左岸小貫南地先排水樋管新設工事	一般土木工事	東康建設工業株式会社	現場代理人 兼監理技術者	安 一則
5	霞ヶ浦導水工事事務所	R4霞ヶ浦導水石岡トンネル(第4工区)新設工事	一般土木工事	株式会社銭高組	現場代理人	末次 祐貴
6	渡良瀬河川事務所	R6松木山腹工(下桐久保沢)工事	一般土木工事	磯部建設株式会社	監理技術者	尾崎 宏幸
7	高崎河川国道事務所	R6烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事	一般土木工事	前橋地建株式会社	現場代理人	倉金 睦
8	高崎河川国道事務所	R6国道17号渋川西BP金井地区改良その25工事	一般土木工事	宮下工業株式会社	監理技術者	登坂 光裕
9	高崎河川国道事務所	R6国道50号前橋笠懸道路鍋木川橋下部その2工事	一般土木工事	株式会社浅沼組	監理技術者	伊能 悠介
10	利根川水系砂防事務所	R6濁川第一砂防堰堤工事	一般土木工事	株式会社竹花組	監理技術者	川井 剛
11	利根川上流河川事務所	R6利根川左岸斗合田築堤その1工事	一般土木工事	潮田建設株式会社	監理技術者	梁島 千裕
12	荒川上流河川事務所	R5都幾川右岸葛袋地区樋管改築工事	一般土木工事	小川工業株式会社	現場代理人	林 貴裕
13	京浜河川事務所	R6西湘海岸第2突堤進入路整備工事	一般土木工事	株式会社加藤建設 東京支店	監理技術者	杉本 淳司
14	川崎国道事務所	R5国道246号厚木秦野道路厚木中依知地区改良工事	一般土木工事	国土開発工業株式会社	現場代理人	小波 渉二
15	甲府河川国道事務所	R6栗倉地区改良その13工事	一般土木工事	大新工業株式会社	現場代理人 兼監理技術者	宮内 英和
16	甲府河川国道事務所	R6笛吹川左岸大野護岸工事	一般土木工事	株式会社芦沢組土木	現場代理人 兼主任技術者	小田切 充
17	長野国道事務所	R6国道18号坂城更埴BP塩崎地区改良19工事	一般土木工事	株式会社鹿熊組		
18	宇都宮国道事務所	R6国道4号西那須野道路西三島地区外舗装他工事	アスファルト舗装工事	株式会社高久組	監理技術者	片桐 賢志
19	大宮国道事務所	R6国道17号上尾(2)電線共同溝工事	アスファルト舗装工事	株式会社竹中道路 東京本店	監理技術者	飯田 修
20	北首都国道事務所	R5国道4号東埼玉道路越谷地区外舗装工事	アスファルト舗装工事	大有建設株式会社 東京支店	監理技術者	井澤 祐輝
21	千葉国道事務所	R6国道6号胡録台地区下り(その2)電線共同溝工事	アスファルト舗装工事	戸田道路株式会社	監理技術者	澤口 慎
22	横浜国道事務所	R2横環南栄IC・JCT本線第4橋上部工事	鋼橋上部工事	R2横環南栄IC・JCT本線第4橋上部工事横河・檜崎・横河NS特定建設工事共同企業体		
23	国営昭和記念公園事務所	R6昭和施設撤去及び維持管理工事	造園工事	株式会社野崎造園	現場代理人	木村 泰文
24	甲武営繕事務所	国立ハンセン病資料館増築棟(22)建築その他工事	建築工事	大成建設株式会社 東京支店	現場代理人 兼監理技術者	宮本 和人
25	東京第一営繕事務所	市ヶ谷警察総合庁舎(19)電気設備工事	電気設備工事	株式会社中電工 東京本部	監理技術者	片山 睦士
26	常陸河川国道事務所	R6国道6号千代田石岡BP玉里高架橋上部工事	プレストレスト・コンクリート工事	株式会社IHIインフラスクエア	監理技術者	栗林 秀典
27	利根川水系砂防事務所	R6栢ヶ舞地区アンカー工事	法面処理工事	佐田建設株式会社	監理技術者	青木 稜太郎
28	相武国道事務所	R6国道20号吉野地区防災その7工事	法面処理工事	日特建設株式会社 東京支店	監理技術者	関 真一
29	横浜国道事務所	R6国道246号善波地区災害復旧その1工事	法面処理工事	日特建設株式会社 東京支店	監理技術者	大川原 義則
30	利根川上流河川事務所	R7渡良瀬貯水池B水門塗装工事	塗装工事	株式会社サトウ塗工社	監理技術者	佐藤 優子
31	常陸河川国道事務所	R6・R7水戸国道管内維持工事	維持修繕工事	昭和建設株式会社	監理技術者	荘司 勝也
32	下館河川事務所	R6・7鬼怒川左岸道場宿町地先高水敷整備工事	維持修繕工事	中村土建株式会社	現場代理人	田原 文司

令和7年度 優良工事・優秀技術者【局長表彰】（2／2）

	事務所	負担行為件名	工種	会社名	優秀工事技術者	
					技術者区分	氏名
33	霞ヶ浦河川事務所	R7西の洲甘田入地区整備外工事	維持修繕工事	松崎建設株式会社	現場代理人	小田 和洋
34	久慈川緊急治水対策河川事務所	R6久慈川常陸大宮周辺整備工事	維持修繕工事	株式会社高野工務店		
35	高崎河川国道事務所	R6・R7沼田出張所管内維持工事	維持修繕工事	沼田土建株式会社	現場代理人	戸部 浩
36	利根川上流河川事務所	R7大利根管内右岸河川維持工事	維持修繕工事	小川工業株式会社	現場代理人	野中 隆
37	大宮国道事務所	R6・R7春日部維持工事	維持修繕工事	東京舗装工業株式会社関東支店	現場代理人	藤田 賢
38	江戸川河川事務所	R5・6・7江戸川上流左岸河川維持工事	維持修繕工事	松浦建設株式会社	監理技術者	柏木 健
39	荒川下流河川事務所	R7荒川下流河川事務所管内下流部右岸維持管理工事	維持修繕工事	キムラ工業株式会社	監理技術者	富田 政夫
40	東京国道事務所	R6東京国道管内交通安全対策(その4)工事	維持修繕工事	株式会社ガイアート 首都圏支店	監理技術者	加賀 正俊
41	東京外かく環状国道事務所	R7東京外環道環境整備工事	維持修繕工事	日工建設株式会社		
42	二瀬ダム管理所	R6二瀬ダム管内整備工事	維持修繕工事	サンセイ磯田建設株式会社	現場代理人 兼監理技術者	上林 淳一
43	利根川上流河川事務所	R5堀口樋管外ゲート設備更新工事	機械設備工事	株式会社ミヅタ	監理技術者	大串 亮平
44	荒川調節池工事事務所	R4荒川第二調節池排水門ゲート設備新設工事	機械設備工事	株式会社IHIインフラスクエア	現場代理人 兼監理技術者	高橋 剛
45	北首都国道事務所	R6国道4号東埼玉道路CCTV設備他設置工事	通信設備工事	株式会社丸電		
46	品木ダム水質管理所	R6品木ダム水質管理所予備発電設備設置工事	受変電設備工事	株式会社桜電社	主任技術者	石坂 桂一郎
47	首都国道事務所	R6国道298号葛飾大橋補修その1工事	橋梁補修工事	ショーボンド建設株式会社 千葉支店	現場代理人 兼監理技術者	井村 竜也
48	東京国道事務所	R5国道357号荒川河口橋補修工事	橋梁補修工事	鹿島道路株式会社 東京支店		
49	長野国道事務所	R6国道18号神川橋補修補強工事	橋梁補修工事	株式会社フクザワコーポレーション	監理技術者	濱 利樹
50	鹿島港湾・空港整備事務所	令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事	港湾土木工事	五洋建設株式会社	監理技術者	中村 将人
51	千葉港湾事務所	令和5年度 千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事	港湾土木工事	若築・本間特定建設工事共同企業体	監理技術者	石崎 睦

※ 優秀工事技術者のみ表彰

令和7年度 安全管理優良受注者表彰 (1/8)

(1) 一般土木工事(98社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	樋口土木株式会社	茨城県稲敷郡	13
2	荒木建設工業株式会社	埼玉県さいたま市	3
3	株式会社ノバック	兵庫県姫路市	6
4	巴山建設株式会社	東京都調布市	6
5	株式会社秋山工務店	茨城県日立市	12
6	株式会社浅沼組	大阪府大阪市	10
7	阿部建設株式会社	千葉県旭市	4
8	株式会社新井組	兵庫県西宮市	14
9	新井土木株式会社	茨城県常総市	7
10	池下工業株式会社	群馬県前橋市	10
11	石井工業株式会社	千葉県香取市	10
12	磯部建設株式会社	栃木県日光市	5
13	伊田テクノス株式会社	埼玉県東松山市	5
14	井上建設株式会社	山梨県南巨摩郡	5
15	株式会社植木組	新潟県柏崎市	5
16	植野興業株式会社	山梨県甲州市	5
17	株式会社梅原工務店	茨城県常陸太田市	4
18	潮田建設株式会社	栃木県小山市	6
19	榎本建設株式会社	栃木県日光市	3
20	大野建設株式会社	神奈川県愛甲郡	6
21	岡田土建株式会社	千葉県銚子市	7
22	株式会社岡谷組	長野県岡谷市	14
23	小川工業株式会社	埼玉県行田市	20
24	長田組土木株式会社	山梨県甲府市	4
25	株式会社鹿熊組	長野県長野市	4
26	株木建設株式会社	茨城県水戸市	11
27	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	26
28	亀井工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	4
29	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	13
30	共立建設株式会社	東京都渋谷区	10
31	キムラ工業株式会社	茨城県牛久市	10
32	神稲建設株式会社	長野県飯田市	5
33	株式会社小池組	長野県長野市	3
34	株式会社ケージーエム	埼玉県熊谷市	6

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（2／8）

（1）一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
35	小林建設株式会社	山梨県南アルプス市	3
36	小林建設株式会社	茨城県日立市	3
37	三晃建設株式会社	栃木県日光市	3
38	株式会社山藤組	群馬県桐生市	6
39	新日本工業株式会社	東京都江東区	3
40	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	5
41	清水建設株式会社	東京都中央区	5
42	常総開発工業株式会社	茨城県神栖市	11
43	常陽建設株式会社	茨城県取手市	10
44	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	12
45	鈴中工業株式会社	愛知県名古屋市	3
46	鈴縫工業株式会社	茨城県日立市	5
47	水郷建設株式会社	茨城県潮来市	4
48	関口工業株式会社	埼玉県志木市	5
49	大勝建設株式会社	茨城県神栖市	7
50	大新工業株式会社	山梨県甲府市	3
51	大日本土木株式会社	岐阜県岐阜市	3
52	高橋建設株式会社	茨城県行方市	5
53	工建設株式会社	千葉県千葉市	8
54	株式会社竹花組	長野県佐久市	6
55	多田建設株式会社	東京都江東区	4
56	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	8
57	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	4
58	東邦建設株式会社	千葉県成田市	8
59	中村建設株式会社	東京都立川市	4
60	長山工業株式会社	茨城県常陸大宮市	3
61	名倉建設株式会社	埼玉県吉川市	8
62	那須土木株式会社	栃木県大田原市	5
63	奈良建設株式会社	神奈川県横浜市	18
64	株式会社新津組	長野県南佐久郡	5
65	遠藤建設株式会社	千葉県旭市	6
66	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	15
67	株式会社北條組	長野県長野市	3
68	増子建設株式会社	茨城県常陸大宮市	4
69	松浦建設株式会社	千葉県野田市	12

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（3／8）

（1）一般土木工事

	会社名	所在地	完成工事件数
70	松尾建設株式会社	佐賀県佐賀市	7
71	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	24
72	松本土建株式会社	長野県松本市	9
73	株式会社宮下組	長野県上田市	7
74	宮下工業株式会社	群馬県前橋市	11
75	株式会社望月組土木	山梨県甲府市	3
76	株式会社吉田組	兵庫県姫路市	6
77	若築建設株式会社	東京都目黒区	8
78	小雀建設株式会社	神奈川県横浜市	12
79	株式会社高橋芝園土木	茨城県古河市	4
80	萩原土建株式会社	千葉県山武郡	5
81	北都建設工業株式会社	茨城県土浦市	5
82	株式会社高橋土建	埼玉県川越市	6
83	株式会社厚木植木	神奈川県厚木市	6
84	瑞穂建設株式会社	群馬県渋川市	4
85	高橋建設工業株式会社	茨城県水戸市	6
86	日東エンジニアリング株式会社	茨城県土浦市	12
87	湯澤工業株式会社	山梨県南アルプス市	14
88	木本建興株式会社	神奈川県相模原市	4
89	株式会社堀建設	千葉県野田市	4
90	株式会社池田建設	神奈川県伊勢原市	3
91	株式会社赤塚土木興業	茨城県つくばみらい市	3
92	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	6
93	金成重機建設株式会社	茨城県日立市	8
94	昭和建設株式会社	茨城県水戸市	20
95	株式会社東日本土木	栃木県佐野市	7
96	前橋地建株式会社	群馬県前橋市	5
97	大旺新洋株式会社	高知県高知市	5
98	シンコー・テクノ株式会社	東京都千代田区	4

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（4／8）

（2）アスファルト舗装工事（10社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社竹中道路	東京都江東区	12
2	大林道路株式会社	東京都港区	5
3	株式会社大森工務所	山梨県富士吉田市	4
4	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	7
5	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	11
6	大有建設株式会社	愛知県名古屋市	20
7	日瀝道路株式会社	東京都千代田区	4
8	株式会社早野組	山梨県甲府市	6
9	フジタ道路株式会社	東京都中央区	6
10	三井住建道路株式会社	東京都新宿区	6

（3）鋼橋上部工事（5社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	東綱橋梁株式会社	栃木県下野市	6
2	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社	千葉県千葉市	5
3	古河産機システムズ株式会社	東京都千代田区	4
4	株式会社横河ブリッジ	千葉県船橋市	5
5	株式会社横河NSエンジニアリング	茨城県神栖市	5

（4）造園工事（3社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社日比谷アメニス	東京都港区	3
2	不二造園土木株式会社	茨城県土浦市	7
3	みかど造園株式会社	千葉県千葉市	8

（5）電気設備工事（4社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	タツワ電気株式会社	東京都文京区	3
2	東照工業株式会社	東京都世田谷区	5
3	株式会社丸電	埼玉県さいたま市	12
4	株式会社万代電気工業	埼玉県さいたま市	3

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（5／8）

(6)プレストレスト・コンクリート工事(3社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	オリエンタル白石株式会社	東京都江東区	7
2	川田建設株式会社	東京都北区	6
3	株式会社IHIインフラスクエア	大阪府堺市	6

(7)塗装工事(1社)

	会社名	所在地	完成工事件数
1	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	7

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（6／8）

（8）維持修繕工事（30社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	新井土木株式会社	茨城県常総市	3
2	株式会社アジア開発興業	千葉県印西市	6
3	サンセイ磯田建設株式会社	埼玉県秩父市	4
4	潮田建設株式会社	栃木県小山市	6
5	株式会社岡谷組	長野県岡谷市	3
6	小川工業株式会社	埼玉県行田市	6
7	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	7
8	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	11
9	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	3
10	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	4
11	株式会社ケイミックス	東京都港区	7
12	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	3
13	関口工業株式会社	埼玉県志木市	8
14	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	5
15	株式会社鶴田組	茨城県那珂市	4
16	東照工業株式会社	東京都世田谷区	4
17	戸邊建設株式会社	千葉県野田市	4
18	名倉建設株式会社	埼玉県吉川市	4
19	株式会社日工	神奈川県横浜市	3
20	日産緑化株式会社	東京都千代田区	4
21	日本ロード・メンテナンス株式会社	東京都港区	7
22	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	5
23	古郡建設株式会社	埼玉県深谷市	3
24	松浦建設株式会社	千葉県野田市	3
25	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	8
26	矢木コーポレーション株式会社	長野県長野市	6
27	株式会社ニューテック康和	東京都北区	3
28	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	4
29	昭和建設株式会社	茨城県水戸市	3
30	宮川興業株式会社	東京都渋谷区	13

（9）河川しゅんせつ工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	東洋建設株式会社	東京都千代田区	6

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（7／8）

（10）機械設備工事（9社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	飯田鉄工株式会社	山梨県笛吹市	7
2	株式会社荏原製作所	東京都大田区	28
3	新菱工業株式会社	東京都千代田区	5
4	株式会社電業社機械製作所	東京都大田区	5
5	西田鉄工株式会社	熊本県宇土市	3
6	株式会社IHIインフラスクエア	大阪府堺市	3
7	株式会社ミゾタ	佐賀県佐賀市	4
8	旭イノベックス株式会社	北海道札幌市	3
9	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	東京都千代田区	15

（11）通信設備工事（12社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	エクシオグループ株式会社	東京都渋谷区	5
2	日本電子サービス株式会社	山梨県甲府市	6
3	星和電機株式会社	京都府城陽市	5
4	田中電気株式会社	東京都千代田区	8
5	東照工業株式会社	東京都世田谷区	10
6	日本無線株式会社	東京都中野区	12
7	株式会社ほくつう	石川県金沢市	9
8	株式会社丸電	埼玉県さいたま市	8
9	エフコム株式会社	東京都港区	13
10	株式会社たけのうち電器	群馬県沼田市	6
11	日本フィールド・エンジニアリング株式会社	東京都品川区	15
12	東京システム特機株式会社	東京都千代田区	10

（12）受変電設備工事（1社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	株式会社桜電社	東京都港区	9

令和7年度 安全管理優良受注者表彰（8／8）

（13）橋梁補修工事（9社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	3
2	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	16
3	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	4
4	日本ロード・メンテナンス株式会社	東京都港区	3
5	フジタ道路株式会社	東京都中央区	4
6	株式会社IHIインフラスクエア	大阪府堺市	6
7	ライト工業株式会社	東京都千代田区	19
8	株式会社小野工業所	福島県福島市	4
9	関東化工建設株式会社	埼玉県熊谷市	5

（14）港湾土木工事（2社）

	会社名	所在地	完成工事件数
1	信幸建設株式会社	東京都千代田区	3
2	あおみ建設株式会社	東京都千代田区	8

令和7年度 優良業務・優秀技術者【局長表彰】(1/3)

	事務所	負担行為件名	業種	会社名	優秀技術者	
					技術者区分	氏名
1	高崎河川国道事務所	R6高崎河川国道管内道路台帳作成(その2)業務	測量	三陽技術コンサルタンツ株式会社	主任技術者	二ノ宮 淳充
2	東京国道事務所	R7東京国道事務所管内交通量調査業務	測量	株式会社エイテック 東日本支社	管理技術者	木下 康之
3	京浜河川事務所	R6西湘海岸深淺測量業務	測量	国際航業株式会社神奈川支店	主任技術者	飛田 康宏
4	横浜国道事務所	R7道路交通調査(交通量調査その1)業務	測量	株式会社カワコン	主任技術者	高橋 優斗
5	相模川水系広域ダム管理事務所	R7宮ヶ瀬ダム貯水池測量業務	測量	株式会社パスコ 横浜支店	主任技術者	石田 大功
6	品木ダム水質管理所	R7品木ダム処分場予定地地形測量等業務	測量	株式会社パスコ 群馬支店	主任技術者	折原 雄也
7	営繕部	安全衛生総合会館・女性就業支援C(24)建築設備改修設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	日和エンジニアリング株式会社	管理技術者	齋藤 健太郎
8	営繕部	横浜法務総合庁舎外(22)設計業務	建築関係建設コンサルタント業務	株式会社松田平田設計	管理技術者	渡邊 一隆
9	防災室・災害対策マネジメント室	R6さいたま広域防災拠点屋上ヘリポート改修検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	エアロヨタ株式会社	管理技術者	飯野 勝博
10	建政部	R7住宅ストックの適切な管理等の確保に向けた調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社片平新日本技研 東京本店	管理技術者	前村 治
11	常陸河川国道事務所	R6久慈川河道整備方策他検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社日水コン 東京支所	管理技術者	羽田 紀行
12	常陸河川国道事務所	R6久慈川・那珂川環境整備事業等検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	R6久慈川・那珂川環境整備事業等検討業務リバーフロント研究所・日水コン設計共同体	管理技術者	風間 聡
13	常陸河川国道事務所	R6那珂川河道整備方策他検討業務※	土木関係建設コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	滝口 大樹
14	常陸河川国道事務所	R6常陸河川国道管内交通安全検討他業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社長大 つくば支店	管理技術者	野尻 敏弘
15	下館河川事務所	R6鬼怒川・小貝川河川管理施設監理検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	R6鬼怒川・小貝川河川管理施設監理検討業務河川財団・建設技術研究所設計共同体	管理技術者	八木 裕人
16	下館河川事務所	R7鬼怒川・小貝川流況解析検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	山下 千智
17	霞ヶ浦河川事務所	R6霞ヶ浦水防災関係検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	竹村 仁志
18	久慈川緊急治水対策河川事務所	R6久慈川緊急治水対策築堤等修正設計(その1)業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	古野 貴史
19	霞ヶ浦導水工事事務所	R6・R7霞ヶ浦導水モニタリング調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	渡邊 敬史
20	常総国道事務所	R7圏央道神崎大栄間道路修正設計他7K7業務	土木関係建設コンサルタント業務	東京コンサルタンツ株式会社	管理技術者	池淵 稔
21	渡良瀬川河川事務所	R7渡良瀬川管内堤防設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社	管理技術者	五百蔵 一史
22	日光砂防事務所	R6日光砂防管内小百地区外砂防施設設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	砂防エンジニアリング株式会社	管理技術者	尾崎 順一
23	日光砂防事務所	R7日光砂防大規模土砂災害広域連携体制検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏支社	管理技術者	澤田 悦史
24	宇都宮国道事務所	R6国道121号日光川治防災トンネル詳細設計他業務	土木関係建設コンサルタント業務	中央復建コンサルタンツ株式会社 東京本社	管理技術者	竹林 正晴
25	宇都宮国道事務所	R6・7宇都宮国道管内橋梁点検業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社片平新日本技研 東京本店	管理技術者	高橋 靖司
26	高崎河川国道事務所	R6県内道路計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	村野 祐太郎
27	高崎河川国道事務所	R7高崎管内水辺現地調査(底生動物)業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社東京建設コンサルタント東京本社	管理技術者	林 直也
28	利根川上流河川事務所	R6稲戸井調節池整備推進方策検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	日本工営株式会社北関東事務所	管理技術者	岡部 貴之
29	利根川上流河川事務所	R6首都圏氾濫区域堤防強化対策検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	中央コンサルタンツ株式会社東京支店	管理技術者	野川 浩生
30	利根川上流河川事務所	R7利根川上流管内治水対策検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所東京本社	管理技術者	黒田 直樹

令和7年度 優良業務・優秀技術者【局長表彰】(2/3)

	事務所	負担行為件名	業種	会社名	優秀技術者	
					技術者区分	氏名
31	荒川上流河川事務所	R6荒川上流水理解析検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	須賀 龍太郎
32	荒川調節池工事事務所	R6荒川第二・三調節池仕切堤他詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	セントラルコンサルタント株式会社北関東営業所	管理技術者	高橋 晃
33	荒川上流河川事務所	R6入間川流域緊急治水対策プロジェクト事業監理等業務	土木関係建設コンサルタント業務	一般社団法人関東地域づくり協会	管理技術者	宮崎 和幸
34	大宮国道事務所	R6国道17号埼玉県北部地域道路計画検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社	管理技術者	中野 雅規
35	大宮国道事務所	R7大宮国道管内構造物点検・補修等設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社片平新日本技研 東京本店	管理技術者	高橋 靖司
36	北首都国道事務所	R6国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その1)業務	土木関係建設コンサルタント業務	大日本ダイヤコンサルタント株式会社関東支社	管理技術者	篠原 輝之
37	北首都国道事務所	R7圏央道(埼玉・茨城)事業監理業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	椎貝 達也
38	江戸川河川事務所	R6江戸川下流部堤防盛土検討設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	日本工営株式会社 東京支店	管理技術者	大瀧 諭
39	江戸川河川事務所	R6江戸川水閘門改築及び周辺整備検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	古野 貴史
40	利根川下流河川事務所	R5・R6佐原広域交流拠点官民連携施策検討・支援業務	土木関係建設コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社首都圏本社	管理技術者	村松 和也
41	利根川下流河川事務所	R6利根川下流部河道掘削検討業務※	土木関係建設コンサルタント業務	いであ株式会社	管理技術者	岡村 誠司
42	首都国道事務所	R6北千葉道路(市川・松戸)電線共同溝予備設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社近代設計	担当技術者	日暮 浩平
43	千葉国道事務所	R6千葉国道管内環境調査G16業務	土木関係建設コンサルタント業務	日本工営株式会社 千葉事務所	管理技術者	城野 裕介
44	荒川下流河川事務所	R6荒川下流盛土整備検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	東京コンサルタンツ株式会社 関東支店	管理技術者	原木 功
45	東京国道事務所	R6東京国道DX検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社長大 東京支社	管理技術者	水上 博
46	東京国道事務所	R7東京国道道路許可審査・適正化指導業務	土木関係建設コンサルタント業務	沖昌エンジニアリング株式会社	管理技術者	江尻 岸生
47	相武国道事務所	R6J相武国道管内防災検討他業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	村上 亮
48	相武国道事務所	R6D相武国道事務所管内電線共同溝設計他業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社近代設計	管理技術者	日暮 浩平
49	東京外かく環状国道事務所	R6東京外環地下水保全検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	原 昌成
50	京浜河川事務所	R7京浜河川管内洪水防災情報検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	パシフィックコンサルタンツ株式会社首都圏本社	管理技術者	松田 浩一
51	横浜国道事務所	R6国道15号幸ヶ谷歩道橋修正設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社オリエンタルコンサルタンツ神奈川事務所	管理技術者	有村 健太郎
52	川崎国道事務所	R6川崎国道事業整備効果検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	管理技術者	川上 睦夫
53	甲府河川国道事務所	R6富士川水系洪水氾濫解析検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	江上 大介
54	甲府河川国道事務所	R7新笹子トンネル修正設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社エイト日本技術開発東京支社	管理技術者	阿野 智久
55	富士川砂防事務所	R6・R7富士川砂防管内砂防施設設計業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社建設技術研究所 東京本社	主任技術者	川崎 巧
56	長野国道事務所	R6中部横断道環境影響・保全検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	日本工営株式会社 長野事務所	管理技術者	加藤 靖広
57	長野国道事務所	R6長野国道管内橋梁補修設計他(その3)業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	谷口 和昭
58	鬼怒川ダム統合管理事務所	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務ダム技術センター・日本工営設計共同体	管理技術者	吉田 等
59	利根川ダム統合管理事務所	R7藤原ダム有効活用検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	八千代エンジニアリング株式会社	管理技術者	藤原 崇
60	二瀬ダム管理所	R7二瀬ダム水辺現地調査(魚類)業務	土木関係建設コンサルタント業務	株式会社ニュージェック	管理技術者	山野 旬郎

令和7年度 優良業務・優秀技術者【局長表彰】（3／3）

	事務所	負担行為件名	業種	会社名	優秀技術者	
					技術者区分	氏名
61	関東道路メンテナンスセンター	R6関東MC管内橋梁等補修・補強設計他検討業務	土木関係建設コンサルタント業務	三井共同建設コンサルタント株式会社	管理技術者	代島 隆夫
62	国営常陸海浜公園事務所	R7国営常陸海浜公園環境調査業務	土木関係建設コンサルタント業務	サンコーコンサルタント株式会社	管理技術者	竹野 浩一
63	河川部	R6崩壊性土すべり地における地質調査解析業務	地質調査業務	日本工営株式会社 東京支店	主任技術者	岡崎 丈
64	京浜河川事務所	R6西湘海岸沿岸土質調査業務	地質調査業務	川崎地質株式会社関東支社	主任技術者	川井 康右
65	長野国道事務所	R6国道20号地質調査業務	地質調査業務	株式会社エイト日本技術開発 東京支社	主任技術者	渡辺 俊一
66	利根川ダム統合管理事務所	R6・R7ハッ場ダム貯水池斜面観測評価業務	地質調査業務	日本工営株式会社 北関東事務所	主任技術者	市川 岳志
67	渡良瀬川河川事務所	R6楡沢砂防堰堤用地調査等業務	補償関係コンサルタント業務	日昌測量設計株式会社	主任担当者	関澤 雄太
68	宇都宮国道事務所	R6矢板大田原バイパス外用地調査等(その2)業務	補償関係コンサルタント業務	株式会社四門	管理技術者	加藤 裕美
69	利根川水系砂防事務所	R6片品川流域外用地調査等業務	補償関係コンサルタント業務	株式会社四門	主任担当者	宮寺 隼人
70	千葉港湾事務所	令和6年度 千葉港海岸船舶橋地区船橋排水機場予備設計業務	建設コンサルタント等	株式会社ニュージェック	管理技術者	山本 健
71	東京空港整備事務所	令和6年度 東京国際空港人工地盤予備検討業務	建設コンサルタント等	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	管理技術者	内藤 靖
72	横浜港湾空港技術調査事務所	令和7年度 臨港道路(鋼橋)における疲労対策検討業務	建設コンサルタント等	令和7年度 臨港道路(鋼橋)における疲労対策検討業務沿岸技術研究センター・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体	管理技術者	佐藤 昌宏

※ 優秀技術者のみ表彰

令和8年度 工事成績優秀企業 局長認定について

1. 背景と目的

国土交通省においては、受注者の適切な選定及び指導育成を図るため、平成13年3月に請負工事成績評定要領を定め、地方整備局が発注する直轄工事において、工事の施工状況や工事目的物の品質等について請負工事成績評定（以下「工事成績評定」という。）を実施しているところです。

平成13年4月施行の「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（以下「適正化法」という。）では、工事成績評定の結果を原則として公表するなど公共工事の透明性が求められるとともに、平成17年4月に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」においては、公共工事の品質確保にあたり、民間事業者の能力が適切に評価され、それらを一層活用することが求められたところです。

工事成績優秀企業認定は、これらの状況を踏まえ、工事成績評定の透明性確保と民間事業者の技術力の一層の向上を図ることを目的として創設した制度です。

2. 選定方法

工事成績優秀企業は、関東地方整備局（港湾空港部を除く。）において過去2カ年度（令和6年4月1日～令和8年3月31日）に完成した土木工事の工事成績評定結果をもとに、当該工事を受注した企業の工事成績評定点の平均点（小数点第一位を四捨五入）を算出し、企業の工事成績評定結果のランキングを作成し（但し、過去2カ年に3件以上、下記11業種の土木工事を受注した業者に限る。）、優良工事等選定委員会において審査を行い選定したものです。

■工事成績優秀企業局長認定の対象企業

下記（1）、（2）に該当する工事の実績を3件以上有する企業を対象とし、選定。

なお、（3）に該当する企業については、選定しない。

（1）対象工事

関東地方整備局発注工事で過去2カ年度（令和6年4月1日～令和8年3月31日）に完成した直轄土木工事。

（2）対象工種

工事請負業者選定事務処理要領に規定された22工事種別のうち、下記の11工種を対象とする（※建築、機械、電気通信等は除く）。

- ①一般土木工事、②アスファルト舗装工事、③鋼橋上部工事、④セメント・コンクリート舗装工事、⑤プレストレスト・コンクリート工事、⑥法面処理工事、⑦河川しゅんせつ工事、⑧グラウト工事、⑨杭打工事、⑩橋梁補修工事、⑪維持修繕工事

（3）その他

（1）、（2）に該当する企業でも優良工事等選定委員会の審査により認定にふさわしくないと認められる場合は、選定しない。

3. 選定方針

工事成績評定の平均点が80点以上の企業かつ、工事成績優秀認定企業としてふさわしい企業。

今年度、工事成績優秀企業として認定される企業は133社となります。

4. 認定される企業等(1/3)

	会社名	所在地	平均点
1	水郷建設株式会社	茨城県潮来市	83
2	株式会社芦沢組土木	山梨県笛吹市	82
3	磯部建設株式会社	栃木県日光市	82
4	岡田土建株式会社	千葉県銚子市	82
5	亀井工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	82
6	清水建設株式会社	東京都中央区	82
7	大旺新洋株式会社	高知県高知市	82
8	中村建設株式会社	東京都立川市	82
9	日特建設株式会社	東京都中央区	82
10	北都建設工業株式会社	茨城県土浦市	82
11	株式会社IHIインフラスクエア	大阪府堺市	81
12	株式会社赤塚土木興業	茨城県つくばみらい市	81
13	株式会社アコオ	茨城県水戸市	81
14	阿部建設株式会社	千葉県旭市	81
15	株式会社新井組	兵庫県西宮市	81
16	新井土木株式会社	茨城県常総市	81
17	池下工業株式会社	群馬県前橋市	81
18	井上建設株式会社	山梨県南巨摩郡	81
19	岩澤建設株式会社	栃木県足利市	81
20	株式会社植木組	新潟県柏崎市	81
21	株式会社エス・ケイ・ディ	神奈川県平塚市	81
22	長田組土木株式会社	山梨県甲府市	81
23	株式会社小野工業所	福島県福島市	81
24	オリエンタル白石株式会社	東京都江東区	81
25	株式会社鹿熊組	長野県長野市	81
26	金杉建設株式会社	埼玉県春日部市	81
27	川田建設株式会社	東京都北区	81
28	キムラ工業株式会社	茨城県牛久市	81
29	神稲建設株式会社	長野県飯田市	81
30	株式会社佐藤組	栃木県大田原市	81
31	株式会社山藤組	群馬県桐生市	81
32	株式会社島村工業	埼玉県比企郡	81
33	常総開発工業株式会社	茨城県神栖市	81
34	常陽建設株式会社	茨城県取手市	81
35	鈴縫工業株式会社	茨城県日立市	81
36	大日本土木株式会社	岐阜県岐阜市	81
37	株式会社高橋芝園土木	茨城県古河市	81
38	株式会社竹花組	長野県佐久市	81
39	多田建設株式会社	東京都江東区	81
40	塚本建設株式会社	群馬県藤岡市	81
41	東綱橋梁株式会社	栃木県下野市	81
42	東武建設株式会社	栃木県日光市	81
43	戸邊建設株式会社	千葉県野田市	81
44	巴山建設株式会社	東京都調布市	81
45	那須土木株式会社	栃木県大田原市	81

4. 認定される企業等(2/3)

	会社名	所在地	平均点
46	日東エンジニアリング株式会社	茨城県土浦市	81
47	株式会社ノバック	兵庫県姫路市	81
48	株式会社早野組	山梨県甲府市	81
49	古郡建設株式会社	埼玉県深谷市	81
50	株式会社堀建設	千葉県野田市	81
51	株式会社本間組	新潟県新潟市	81
52	前橋地建株式会社	群馬県前橋市	81
53	松浦建設株式会社	千葉県野田市	81
54	松尾建設株式会社	佐賀県佐賀市	81
55	三井住友建設鉄構エンジニアリング株式会社	千葉県千葉市	81
56	株式会社横河NSエンジニアリング	茨城県神栖市	81
57	株式会社横河ブリッジ	千葉県船橋市	81
58	渡辺建設株式会社	群馬県吾妻郡	81
59	株式会社秋山工務店	茨城県日立市	80
60	株式会社浅沼組	大阪府大阪市	80
61	株式会社アジア開発興業	千葉県印西市	80
62	株式会社厚木植木	神奈川県厚木市	80
63	石井工業株式会社	千葉県香取市	80
64	植野興業株式会社	山梨県甲州市	80
65	潮田建設株式会社	栃木県小山市	80
66	遠藤建設株式会社	千葉県旭市	80
67	株式会社大貫工務店	茨城県水戸市	80
68	株式会社大森工務所	山梨県富士吉田市	80
69	株式会社岡谷組	長野県岡谷市	80
70	小川工業株式会社	埼玉県行田市	80
71	株式会社ガイアート	東京都新宿区	80
72	片岡工業株式会社	千葉県長生郡	80
73	カナデビア株式会社	大阪府大阪市	80
74	株木建設株式会社	茨城県水戸市	80
75	川上建設株式会社	栃木県鹿沼市	80
76	川村建設株式会社	埼玉県幸手市	80
77	関東化工建設株式会社	埼玉県熊谷市	80
78	北川ヒューテック株式会社	石川県金沢市	80
79	共立建設株式会社	東京都渋谷区	80
80	グンジ建設株式会社	茨城県潮来市	80
81	株式会社ケイミックス	東京都港区	80
82	株式会社ケージーエム	埼玉県熊谷市	80
83	株式会社小池組	長野県長野市	80
84	小雀建設株式会社	神奈川県横浜市	80
85	小林建設株式会社	茨城県日立市	80
86	佐田建設株式会社	群馬県前橋市	80
87	サンセイ磯田建設株式会社	埼玉県秩父市	80
88	昭和建設株式会社	茨城県水戸市	80
89	ショーボンド建設株式会社	東京都中央区	80
90	シンコー・テクノ株式会社	東京都千代田区	80

4. 認定される企業等(3/3)

	会社名	所在地	平均点
91	菅原建設株式会社	茨城県水戸市	80
92	関口工業株式会社	埼玉県志木市	80
93	大勝建設株式会社	大阪府大阪市	80
94	大有建設株式会社	愛知県名古屋市	80
95	高橋建設株式会社	茨城県行方市	80
96	高橋建設工業株式会社	茨城県水戸市	80
97	株式会社高橋土建	埼玉県川越市	80
98	工建設株式会社	千葉県千葉市	80
99	株式会社竹中道路	東京都江東区	80
100	田部井建設株式会社	埼玉県熊谷市	80
101	株式会社鶴田組	茨城県那珂市	80
102	東亜建設工業株式会社	東京都新宿区	80
103	東鉄工業株式会社	東京都新宿区	80
104	東邦建設株式会社	千葉県成田市	80
105	東洋建設株式会社	東京都千代田区	80
106	中島建設株式会社	群馬県吾妻郡	80
107	株式会社中村建設	山梨県甲斐市	80
108	名倉建設株式会社	埼玉県吉川市	80
109	奈良建設株式会社	神奈川県横浜市	80
110	株式会社日工	神奈川県横浜市	80
111	日産緑化株式会社	東京都千代田区	80
112	沼田土建株式会社	群馬県沼田市	80
113	萩原土建株式会社	千葉県山武郡	80
114	畑八開発株式会社	長野県南佐久郡	80
115	樋口土木株式会社	茨城県稲敷郡	80
116	富士島建設株式会社	山梨県韮崎市	80
117	フジタ道路株式会社	東京都中央区	80
118	古河産機システムズ株式会社	東京都千代田区	80
119	古谷建設株式会社	千葉県山武郡	80
120	増子建設株式会社	茨城県常陸大宮市	80
121	松崎建設株式会社	茨城県潮来市	80
122	三井住建道路株式会社	東京都新宿区	80
123	株式会社宮下組	長野県上田市	80
124	宮下工業株式会社	群馬県前橋市	80
125	株式会社茂木工務店	茨城県潮来市	80
126	株式会社望月組土木	山梨県甲府市	80
127	株式会社八木沢興業	山梨県南巨摩郡	80
128	谷原建設株式会社	茨城県つくばみらい市	80
129	株式会社ユーディケー	埼玉県さいたま市	80
130	湯澤工業株式会社	山梨県南アルプス市	80
131	株式会社吉田組	兵庫県姫路市	80
132	ライト工業株式会社	東京都千代田区	80
133	若築建設株式会社	東京都目黒区	80

5. 認定式

認定式には、関東地方整備局長、副局長及び企画部長と、認定された企業133社が出席し局長から工事成績優秀企業認定書が授与されます。

なお、認定式は「令和7年度 優良工事等表彰式」と併せて開催します。

6. その他

認定された工事成績優秀企業は、工事を受注した際には発注者が行う中間技術検査を省略することができます。また、総合評価方式において企業の評価が優位になります。

関東インフラDX大賞について

1. 目的

関東インフラDX大賞は、関東地方整備局所管の工事及び業務に関し、「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を選定し、これを表彰することにより、インフラ分野のDX推進に資することを目的とした取組です。

2. 選定方法

関東インフラDX大賞の選定は、関東地方整備局及び管内の事務所等から推薦された工事及び業務を対象に、「有効性」「波及性」「先進性」等の観点に配慮し、関東インフラDX推進本部会議において決定しました。

3. 選定方針

建設業界全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた実績を有し、その功績が顕著な受注者から選定しています。

4. 関東インフラDX大賞表彰件数

令和7年度 局長表彰件数 25件 ※受賞工事・業務、会社名の一覧は次項に掲載
(参考:令和6年度 局長表彰件数 23件)

5. 工事、業務の概要及び表彰理由

関東地方整備局ホームページにて公表します。

記者発表資料: (<https://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/index00000003.html>)

関東インフラDX大賞: (https://www.ktr.mlit.go.jp/dx_icon/iconst_00050.html)

関東インフラDX大賞

	事務所名	負担行為件名	会社名
1	常陸河川国道事務所	R6国道6号千代田石岡BP玉里高架橋上部工事	株式会社IHIインフラスクエア 関東支店
2	霞ヶ浦河川事務所	R7甘田入第13地区基盤整備工事	水郷建設株式会社
3	常総国道事務所	R6圏央道下総大栄地区改良その2工事	石井工業株式会社
4	宇都宮国道事務所	R6国道121号日光川治防災トンネル詳細設計他業務	中央復建コンサルタンツ株式会社 東京本社
5	日光砂防事務所	R7日光砂防清滝地区外砂防施設設計業務	国土防災技術株式会社 宇都宮支店
6	高崎河川国道事務所	R6国道17号渋川西BP金井地区改良舗装その1工事	前田道路株式会社 北関東支店
7	利根川水系砂防事務所	R7片品川流域用地調査等業務	株式会社四門
8	利根川上流河川事務所	R6渡良瀬川右岸伊賀袋築堤その2工事	河本工業株式会社
9	利根川上流河川事務所	R6利根川(鬼怒川)左岸野木崎築堤その1工事 (R6利根川左岸斗合田築堤その1工事)	潮田建設株式会社
10	荒川上流河川事務所	R6都幾川右岸西本宿上築堤他工事	小川工業株式会社
11	大宮国道事務所	R7(仮称)道の駅こうのす調整池その2工事	小川工業株式会社
12	北首都国道事務所	R6国道4号東埼玉道路大川戸地区改良その1工事	金杉建設株式会社
13	北首都国道事務所	R6国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その5)業務	セントラルコンサルタント株式会社 北関東営業所
14	首都国道事務所	R7北千葉道路整備計画検討他業務	八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部
15	千葉国道事務所	R6国道127号川名・富浦地区改良その3工事	睦建設株式会社
16	荒川下流河川事務所	R7荒川下流河川事務所管内下流部左岸維持管理工事	関口工業株式会社
17	相武国道事務所	R6国道20号八王子南BP館地区遮音壁その1工事	国土開発工業株式会社
18	京浜河川事務所	R6西湘海岸深淺測量業務	国際航業株式会社 神奈川支店
19	横浜国道事務所	R6横環南栄・戸塚間改良その2工事	宮内建設株式会社
20	鬼怒川ダム統合管理事務所	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務ダム技術センター・日本工営設計共同体
21	関東道路メンテナンスセンター	R7関東MC管内道路構造物品質確保検討業務	日本工営株式会社
22	荒川調節池工事事務所	R6荒川第二調節池地盤改良その1工事	株式会社植木組 東京本店
23	久慈川緊急治水対策河川事務所	R5久慈川右岸頃藤北地区整備工事	東亜建設工業株式会社
24	横浜港湾空港技術調査事務所	令和7年度 横須賀港新港地区新規ふ頭計画に伴う岸壁(-12m)構造検討業務	株式会社エコー
25	千葉港湾事務所	令和5年度 千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事	若築・本間特定建設工事共同企業体

令和7年度 優良工事及び優秀工事技術者
局長表彰の概要及び表彰理由

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	しみずけんせつかぶしがいいしゃ どぼくとうきょうしてん 清水建設株式会社 土木東京支店		
ふりがな 技術者名	きくち かずひと 菊地 一仁	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんなかがわさがんおぼちくしゅういていちくいていこうじ R4那珂川左岸小場地区周囲堤築堤工事		
工 期	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、城里町下阿野沢地先において大場遊水地の周囲堤築堤盛土を行う工事である。築堤土には水戸市中河内地先において本工事で掘削した土砂を含む、那珂川の流下能力向上のための河道掘削土を活用し、土砂ストックヤードにて土砂改良した改良土を用いて築堤を行う点在型工事である。 土砂改良を行うにあたり、限られたスペースにおいて、複数の工事による改良土母材の搬入や改良土の搬出を行う必要があったが、おおば地区安全協議会の会長として各施工業者と調整するとともに、良好な施工管理により事故なく工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、複数工事との工事間調整を緊密に行い、搬入された土砂を用いて土砂改良を行うとともに、改良土の搬出や、本工事における築堤盛土を実施する等、土砂ストックヤード内の限られた用地において工事を遂行した。 また、ストックヤードにおける安全管理や、現場見学会の開催による周辺住民とのコミュニケーションを図る等、関連工事を含めた事業の進捗に貢献した。		

完成又は施工状況写真



＜写真1 周囲堤築堤＞



＜写真2 土砂改良状況＞



＜写真3 築堤盛土状況＞

優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とうきゅうけんせつかぶしがいいしゃ 東急建設株式会社		
ふりがな 技術者名	あるが かずき 有賀 和樹	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるさんきぬがわうがんだがわすいもん(かしょう)しんせつこうじ R3鬼怒川右岸田川水門(仮称)新設工事		
工 期	(自) 令和3年9月16日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	下館河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、設計変更協議に迅速に対応し、令和7年の出水期までに無事工事を完成させた。特に、家屋隣接箇所のため騒音・振動を計測しながら、また休憩時間を10時と15時に必ずとりつつ定時に作業終了する時間制約のなか計画的に工事を進めていた。 さらに、BIM/CIMを活用し、水門の配筋照査、コンクリートの出荷時間や打ち込み時間をリアルタイムに3Dモデル上で管理、管理橋架設シミュレーションにより施工方法を工夫するなど安全対策にも優れていた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、施工上の課題を把握し、監督職員と的確に設計変更協議を行って計画的に工事を進めていた。 また、BIM/CIMや新技術を用いて施工方法を工夫し、安全衛生面では体験型の安全教育を行う工夫をしていた。近隣小学校の現場見学会(計6回)ではBIM/CIMを活用したVRコンテンツを用いて水門や堤防の役割を伝えており、さらに近隣漁協組合の放流イベント(計5回)に参加して漁協の組合員や近隣住民との地域のコミュニケーションを図るなど、他の工事の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



門柱・操作台・翼壁 施工状況

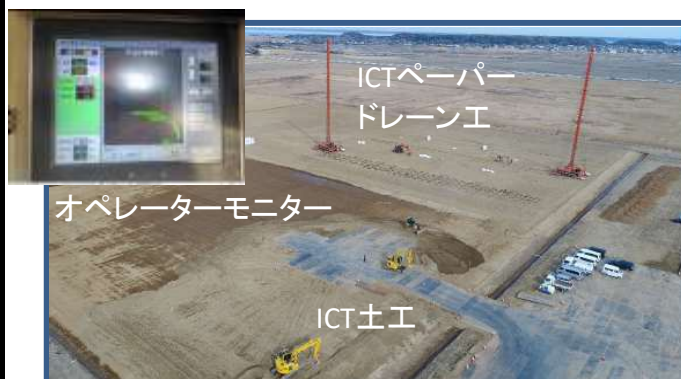


完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	すいごうけんせつかぶしがいいしゃ 水郷建設株式会社		
ふりがな 技術者名	もぎ ひでとし 茂木 秀敏	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるななあまだいりだいじゅうさんちくきばんせいびこうじ R7甘田入第13地区基盤整備工事		
工 期	(自) 令和7年7月1日 (至) 令和8年3月20日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、霞ヶ浦浚渫事業の排泥処理地返還に向けた地盤改良工事であり、土砂搬入に関する地元調整や関係機関との工程調整が必要であった。施工シミュレーションや施工管理アプリを活用し、工程・安全管理を徹底した。バーチャルドレーン工ではGNSSを用いた位置誘導システム「ホール・ナビ」をペーパードレーン打設機に搭載したICTペーパードレーン工を導入し、工期短縮を実現した。また、工事全般にわたりICT（土工）およびCIMを活用することで施工効率化と安全性の向上を図り、トラブルや苦情もなく工事を無事完成させた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、専門的な知識及び技術力をもって、ICT技術を積極的に活用し、適切に施工管理し、安全・円滑に工事を完成させたことは高く評価できるものであり、施工効率化・安全性向上を常に意識し、社内で内製化するICT活用・CIM活用を積極的に提案し、生産性向上が図られた。また、ICT、CIM、施工管理アプリ活用などの取組について、インフラ分野DXの現場見学会を数回企画し、担い手となる地元中学生の他、発注者、管内工事関係者、自治体職員など多数の参加者の意識醸成・普及を図るなど、工事全般を通して積極的な姿勢が顕著であった。		

完成又は施工状況写真



<地盤改良及び盛土作業状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とうこうけんせつこうぎょうかぶしがいいしゃ 東康建設工業株式会社		
ふりがな 技術者名	やす かずのり 安 一則	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくじがわさがんおぬきみなみちさきはいすいひかんしんせつこうじ R6久慈川左岸小貫南地先排水樋管新設工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	久慈川緊急治水対策河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、久慈川緊急治水対策プロジェクトの小貫地区にて堤防と排水樋管の整備とそれに伴う農業排水兼用の堤脚水路の整備を実施した。当該排水樋管は、権限代行区間の中でも比較的断面が大きく、樋管基礎部においては地盤改良工も実施している中、施工上の大きなトラブル等もなく、工事事故や工期延期もなく、順調に工事を完成させた。また、施工箇所周辺においてはいくつかの河道掘削工事や発生土を流用する複数工事が錯綜する現場であり、それらの工事で構成する工事安全協議会の幹事としても適切に対応した。以上より、事業推進に多大な貢献がなされた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、比較的に難易度の高い当該排水樋管整備において、技術的に十分な理解と判断に基いた提案や協議等を行った上で、適切な施工管理を実施し、工事事故や工期延期もなく工事を完成させた。また、複数工事が錯綜する現場において、それら工事で構成される工事安全協議会の幹事として、適切に工事間調整や地元対応を行った。以上のような自工事や工事安全協議会関係工事間の現場統率力と技術力は極めて優秀である。		

完成又は施工状況写真



<写真1 施工中(奥:堤防、手前:排水樋管)>

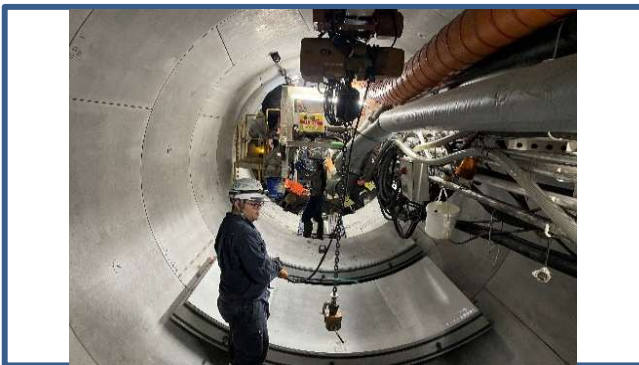


<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃぜにたかぐみ 株式会社銭高組		
ふりがな 技術者名	すえつぐ ゆうき 末次 祐貴	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるよんかすみがうらどうすいいしおかとんねる(だいよんこうく)しんせつこうじ R4霞ヶ浦導水石岡トンネル(第4工区)新設工事		
工 期	(自) 令和5年3月9日 (至) 令和7年12月26日		
事務所名	霞ヶ浦導水工事事務所		
表彰理由 (工事)	工事現場近隣の関係者や隣接工事の受注者等との調整を適切に行い、円滑かつ安全な施工を実現した。また、シールドCIMの活用により、高い掘進精度を確保するとともに、セグメント製作工場との連携体制を構築し優れた品質管理を行った。さらに、施工期間中は多くの現場見学者に対し、工事内容について丁寧な説明、案内を行い、説明方法や内容に工夫を凝らすなど、分かりやすい情報提供に努めた。加えて、地元住民向けの見学会を自主的に開催し、工事内容にとどまらず、導水事業や建設業全体の理解促進・PRにも積極的に取り組んだものである。		
表彰理由 (技術者)	関連するトンネル工事3件のうち、先行して着手した工事を担当する技術者として、他工事の進捗も見据えながら積極的に情報提供や調整を行い、工事全体が円滑に進むよう尽力した。特に、工事終盤においては後続工事へ円滑に現場を引き継ぐことを念頭に置き、工程管理を丁寧かつ計画的に行うなど、周囲への配慮が行き届いた対応を行った。また、工事現場外においても清掃活動を通じた近隣住民とのふれあいや、地元自治体が制作した広報動画の活用など、こうした取組により地域の方々との信頼関係づくり、工事の理解を深めたものである。		

完成又は施工状況写真



＜写真1 セグメント組立状況＞



＜写真2 シールドトンネル完成＞

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	いそべけんせつかぶしがいいしゃ 磯部建設株式会社		
ふりがな 技術者名	おざき ひろゆき 尾崎 宏幸	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくまつきさんぷくこう(しもきりくぼさわ)こうじ R6松木山腹工(下桐久保沢)工事		
工 期	(自) 令和7年8月1日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、松木川流域(下桐久保沢)において、土砂流出防止を目的とした山腹工(落石防止工)と、既設管理用道路の安全確保のための擁壁工を施工したものである。施工箇所は急峻な斜面とその直下の狭隘な地形であり、落石リスクや上下作業の回避など厳しい施工条件下での工事であった。受注者はCIM及びICT技術を積極的に活用し、適切な施工範囲の協議や生産性向上に取り組んだ。これらの実践により工期内に無事故で工事を完成させたことは他の模範となるとして、優良工事として表彰するものである。		
表彰理由 (技術者)	気象及び地形的に厳しい施工条件の中、CIMやICT技術を積極的に採用・活用することで、適切な施工・工程管理を行い無事故で工事を完成させたことは、監理技術者としての役割・能力を十分に発揮されている。 また、作業員への安全教育においては、施工の段階に合わせたCIMを作成・活用することで、作業イメージの共有を図り、工事事故リスク低減及び作業の効率化に貢献した。		

完成又は施工状況写真



<写真1 狭隘な施工ヤードの工夫>



<写真2 施工箇所全景>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	まえばしちけんかぶしきがいしゃ 前橋地建株式会社		
ふりがな 技術者名	くらがね むつみ 倉金 睦	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるろくからすがわうがんねごやちさきやくしざわひかんしんせつこうじ R6烏川右岸根小屋地先薬師沢樋管新設工事		
工 期	(自) 令和6年10月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、烏川の既設堤防と柳沢川の堤防に挟まれた狭隘な現場において、薬師沢川を埋設管と現場打ちコンクリート柵による仮水路工を設置し、作業ヤードと樋管本体設置箇所のドライ状態の環境を確保し確実に施工を行った。樋管本体工の施工にあたっては、BIM／CIMを活用し、施工毎にブロック分けすることでコンクリートの打設順を見える化し、施工性とコンクリート品質の向上を図りながら工事を進めた。また、周辺環境への配慮や地域とのコミュニケーションなどに積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事技術者は、工事内容の意図と地域特性を十分に理解し、監督職員との密な協議調整および関係者調整を的確に行い、工事を完成させた。樋管本体工の品質向上に向けた施工上の工夫やBIM／CIMの活用を推進するとともに、VR・AR技術を用いた安全教育により作業従事者の安全向上を図った。住宅地近接工事では防音シートの設置により騒音対策を実施し、周辺環境への配慮にも努めた。さらに近隣の高崎商科大学の学生を招いた現場見学会でVR・AR技術を体験させ、将来の建設業担い手育成にも貢献するなど、高い企画力を発揮した。		

完成又は施工状況写真



完成(正面から望む)



樋管本体コンクリート全景(築堤工施工前)

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	みやしたこうぎょうかぶしがいいしゃ 宮下工業株式会社		
ふりがな 技術者名	とさか みつひろ 登坂 光裕	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくこくどうじゅうななごうしぶかわにしばいばすかないちくかいりょうそのにじゅうごこうじ R6国道17号渋川西BP金井地区改良その25工事		
工 期	(自) 令和6年10月2日 (至) 令和8年1月30日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は施工箇所が狭隘かつ施工済みの函渠により施工エリアが2箇所に分断された施工箇所を同時に施工管理・進捗を図る工事であった。受注者の施工管理における効率化・適正な工程管理が図られたことにより、輻輳する他工事との調整等を柔軟かつ積極的に実施し、堅実な安全管理により無事に工事を完成させた。 補強土壁工では、BIM／CIMモデルを活用し図面の照査や施工管理の他、立体的な可視化による工事関係者との施エイメージの共有、ARの活用により打合せ時間の短縮、安全教育への活用など効果的な取組がなされ評価できるものであった。		
表彰理由 (技術者)	本工事の技術者は、工事全体において監督職員と密に協議、調整を図るとともに、渋川西バイパス供用を控えた工程を把握し、照査及び工程計画の見直し、施工方法の検討と提案を行い、緻密な工程計画の立案により工期短縮に務めるなど、専門的な知識と経験、技術力を発揮し工事を完成させたことは高く評価出来る。 また、周辺生活道路における緊急的な応急作業対応に率先した活動がなされ、地元住民の安全確保に配慮され、また、清掃活動や地元小学校の通学路除雪に取り組まれるなど、他の模範となるものであ優秀技術者として推薦するものである。		

完成又は施工状況写真



補強土壁施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃあさぬまぐみ 株式会社浅沼組		
ふりがな 技術者名	いのう ゆうすけ 伊能 悠介	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくこくどうごじゅうごうまえばしかさかけどうろかぶらぎがわばしかぶそのにこうじ R6国道50号前橋笠懸道路鐫木川橋下部その2工事		
工 期	(自) 令和6年9月2日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事においてはBIM/CIM活用工事における3次元モデル作成からICT基礎工(場所打杭)およびICT構造物工(橋台)を一貫して実施しており、工事全体の生産性向上や業務軽減の他に、品質においては高い精度のデータの取得を行い先進性の高い試みを行った。併せて、若手技術者が施工管理にあたり、若手技術者育成の取り組みを行った。 また、地域へ環境配慮やコミュニケーション等に積極的に取り組み、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	コンクリート構造物の生産性向上のため、ICT活用による構造物の施工を行ったが、特に場所打ち杭工においては、掘削開始付近から玉石が多く排出され時間を要したが、ICT活用により杭の出来形を向上させ、技術管理の省力化図った。 工事全般を通じて、工程、品質、出来形、安全について優れた施工管理がなされ、無事故で工事を完成させた。 また、地域住民への工事の週間工程などをデジタルサイネージを使用し積極的な周知をはかり良好な関係の構築に努め高く評価できるものであった。		

完成又は施工状況写真



<写真1 表題>



<写真2 表題>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃたけはなぐみ 株式会社竹花組		
ふりがな 技術者名	かわい たけし 川井 剛	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくにごりかわだいいちさぼうえんていこうじ R6濁川第一砂防堰堤工事		
工 期	(自) 令和6年6月10日 (至) 令和7年10月31日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は浅間山南麓の山間地に位置し、季節の天候変動が激しく、12月以降は降雪・凍結により施工可能期間が限られる環境であった。主要工種の砂防ソイルセメント工では、破砕機や土壌改良機を活用して工程短縮と材料ロス削減を実現し、コスト縮減と品質向上を両立した。また、掘削・盛土・法面整形工へのICT施工導入により生産性向上と週休2日を確保した。安全管理面では地域施工業者との安全協議会を通じた調整を徹底し、無事故で工事を完成させた。工程管理の工夫とICT活用による生産性向上・働き方改革への取り組みは高く評価できる。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者は、新技術・ICT施工および遠隔臨場を積極的に活用し、工期短縮と品質確保を図るとともに、現場視察や地域住民向け見学会においても適切な説明・対応を行い、地域との良好な関係構築に寄与した。さらに、浅間山噴火時の火山泥流等に備え、無人化施工機械の講習会を監督職員と密に調整を図って災害協定企業向けに実施するなど、防災対応力の向上にも貢献した。厳しい現場条件下において無事故で工期内に工事を完成させた功績は顕著であり、現場技術者として極めて優秀で他の技術者の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



砂防ソイルセメント工 巻き出し転圧施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	うしおだけんせつかぶしがいいしゃ 潮田建設株式会社		
ふりがな 技術者名	やなしま ちひろ 梁島 千裕	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくとねがわさがんとごうたちくいていそのいちこうじ R6利根川左岸斗合田築堤その1工事		
工 期	(自) 令和6年10月3日 (至) 令和7年6月20日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事の施工範囲において、地域住民が信仰する水神様が点在しており、1箇所統合移設するため、事前調査及び移設調整のための地元自治会・神社・自治体など多くの関係者と調整が必要となり工程管理において課題であったが、各関係者とのコミュニケーションによる綿密な調整を行うことで適切な工事進捗が図れるよう努めた。また、i-construction2.0の取組として、施工機械やダンプトラックの位置情報、稼働状況の把握・分析を行いボトルネックを解消することにより生産性を向上させた。以上のことから、無事故で工期内に工事を完成させたことは表彰に値するものである。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者として、関係機関等との綿密な工事調整等により、施工・工程・連絡調整等細部に至るまで十分な工程管理を行い、各段階において滞りなく進捗管理を行うなど、極めて高い調整能力を発揮した。また、施工箇所等に隣接する地域の方とは、水神様移設調整に伴い密にコミュニケーションを図り良好な関係を保ちながら水神様移設を進めた。i-construction2.0の技術も積極的に活用し工事施工の効率化に取り組んだ。以上のことから、無事故で工期内に工事を完成させたことは表彰に値するものである。		

完成又は施工状況写真



<盛土施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	おがわこうぎょうかぶしきがいしゃ 小川工業株式会社		
ふりがな 技術者名	はやし たかひろ 林 貴裕	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるごときがわうがんくずぶくろちくひかんかいちくこうじ R5都幾川右岸葛袋地区樋管改築工事		
工 期	(自) 令和6年6月6日 (至) 令和8年3月2日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
表彰理由 (工事)	民地が隣接する狭隘な施工条件のもと、既設水路が有していた通水機能の代替え措置を講じながら、優れた施工管理・工程管理を行うとともに、隣接工事と綿密な調整を行い、各々の新設水路を整備・接続し、灌漑期までに通水を完了させた。 また、複数の近隣住民と良好な関係を築き、借地契約及び家屋調査を滞りなく進めた。 さらには有用な新技術を複数活用し、優れた品質管理・工程管理を行った。		
表彰理由 (技術者)	設計図書と現場との相違について、速やかに設計審査会の開催を発議するとともに、優れた課題解決策を提案し、円滑な施工に繋がった。 また、発注者、隣接工事、近隣住民、地元自治体、土地改良区等の関係者と十分にコミュニケーションを図り、円滑な施工に繋がった。		

完成又は施工状況写真



<民地との近接施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃかとうけんせつ とうきょうしてん 株式会社加藤建設 東京支店		
ふりがな 技術者名	すぎもと あつし 杉本 淳司	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくせいしょうかいがんだいにとつていしんにゆうろせいびこうじ R6西湘海岸第2突堤進入路整備工事		
工 期	(自) 令和7年3月12日 (至) 令和8年3月2日		
事務所名	京浜河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、潜水突堤を整備するため、袋詰め根固めの製作および進入路を設置する工事である。施工箇所は西湘バイパスに隣接しており、道路管理者との度重なる協議や日々の交通規制への対応、さらに点在する施工ヤードの管理など、多岐にわたる課題があった。これらに的確に対応し、卓越した施工管理能力を発揮することで、工程の短縮を図るとともに、万全の安全管理に努めた。以上の取り組みは他の模範となるものであり、本工事は優良工事として推薦するにふさわしいものである		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、卓越した技術力と高い調整能力を発揮し、現場の品質向上に大きく寄与した。効率性の高い機械やシステムを積極的に導入し、振動・騒音の低減を図りつつ工程短縮を実現するなど、施工の合理化に主体的に取り組んだ。また、運行管理システムを活用して施工ロスを低減し、安全性および生産性の向上に大きく貢献した。さらに、現場見学会の開催や海岸清掃活動への継続的な参加、SNSによる情報発信を通じた地域とのコミュニケーション促進など、地域貢献活動にも尽力している。以上の功績は技術者として模範的であり、優良技術者として推薦するに十分なものである。		

完成又は施工状況写真



<写真1 袋詰め玉石 設置状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	こくどかい はつこうぎょう かぶしきがいしゃ 国土開発工業株式会社		
ふりがな 技術者名	こなみ しょうじ 小波 渉二	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるごこどう にひやくよんじゅうろくごう あつぎ はだの どうろ あつぎ なかえちくかい りょうこうじ R5国道246号厚木秦野道路厚木中依知地区改良工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年10月31日		
事務所名	川崎国道事務所		
表彰理由 (工事)	工事箇所は狭小でかつ、進入路は大型車両の通行が不可能な狭小幅員の市道であった。この施工条件に対し、施工者は車両進入を可能とするため、最小限の道路改良を提案・実施したが、その影響により工事工程に遅延が生じた。この工程遅延に対し、工事目的物である3連ボックスカルバートの施工において、組み立てた支保工を横方向にスライドさせて転用する施工方法を採用することで、組立解体回数を1回のみとし、狭小な施工条件下における工程短縮を図った。さらに、日々の工程管理を徹底し、無事故で工事目的物を完成させ、厚木秦野道路事業の工事進捗に大きく貢献した。		
表彰理由 (技術者)	現場代理人は条件明示と異なる車両通行不可の施工条件に対し、速やかに対策案を検討し、必要となる市道わきの借地を最小限の面積かつ、最小限の地権者となるよう道路改良案を提案した。また、車両進入路は耕作地へのアクセス道路ともなっていることから、工事工程に影響せず、かつ、耕作にも影響の無いよう、日々の工事内容、工事車両の通行予定を月間工事予定として地域に配布。耕作者とのトラブルを発生させることなく、工事を進めることが出来た。		

完成又は施工状況写真



施工状況(移動式支保工の組立状況)



完成

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	だいしんこうぎょうかぶしがいいしゃ 大新工業株式会社		
ふりがな 技術者名	みやうち ひでかず 宮内 英和	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくあわくらちくかいりょうそのじゅうさんこうじ R6栗倉地区改良その13工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月2日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事において受注者はICT技術や新技術を活用し、丁寧な施工がなされた他、担い手育成を目的に若手技術者の指導・活用を行った。		
表彰理由 (技術者)	令和7年度は栗倉地区において、5工事が発注されており本工事受注者が主体的に企業調整を行い他4工事を含めて事故無く工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



<写真1 土工>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃあしざわぐみどぼく 株式会社芦沢組土木		
ふりがな 技術者名	おたぎり まこと 小田切 充	職種	現場代理人 兼 主任技術者
ふりがな 工事名	あーろくふえふきがわさがんおおのごがんこうじ R6笛吹川左岸大野護岸工事		
工 期	(自) 令和7年9月16日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、山梨県山梨市大野地先の笛吹川において、洗堀防止対策として護岸工、根固めブロックの設置を行う工事である。 施工にあたり、流水の瀬替えや仮締切工、根固めブロックの設置、護岸工の施工について、現場状況に応じた段取りが重要である。 当該受注者は、現場状況を十分に把握し、手戻りもなく無事故・無災害で工期内に工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者は、ICT技術を積極的に活用し、施工及び出来形管理に活用した。また、工事全体を把握し、工程に影響が生じないように確実な施工に努めた。加えて、現場の施工状況を地域住民や通行者等に分かりやすく周知するなど工夫を行った。		

完成又は施工状況写真



<写真1 護岸工施工状況>



<写真2 完成>

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃかくまぐみ 株式会社鹿熊組		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーろくこくどうじゅうはちごうさかきこうしよくばいばすしおざさちくかいりょうじゅうきゅうこうじ R6国道18号坂城更埴BP塩崎地区改良19工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	長野国道事務所		
表彰理由 (工事)	路体盛土工の施工にあたっては、ICT建設機械を使用した施工を実施することにより、生産性の向上を図るとともにTS・GNSSを用いた締固め回数管理を行い品質の向上を図った。 函渠工の施工においては占用企業及び隣接する他工事との調整を密に図り、工程管理に努めた。また、追加工種もあった中、無事故で工事を完成させた。 周辺が耕作地に囲まれた工事箇所となっており、耕作者からの要望に対しても工程調整を行うことで解決を図るなど、地域への貢献も大きかった。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<路体盛土工 (ICT) 施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃたかくみ 株式会社高久組		
ふりがな 技術者名	かたぎり さとし 片桐 賢志	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうよんごうにしなすのにしみしまちくほかほそうほかこうじ R6国道4号西那須野道路西三島地区外舗装他工事		
工 期	(自) 令和7年4月21日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、一般国道4号西那須野道路の拡幅区間の歩道整備等を行う工事であったが、受注者は、安全と地域へのコミュニケーションを図ることを目指し、この取り組みを行うに当たっては、歩行通路の確保、現地安全看板を設置し、完成イメージ図など周辺住民への広報を積極的に実施した結果、大きな交通混乱や苦情もなく無事完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者は、店舗及び住宅が連担する歩道整備を行い、監督職員と協議の上で沿道地権者等に対し精力的に調整を行い連携・協力を得ることができた。また実施に当たっては、冬季の歩道除雪を行うなど地域住民、道路利用者に配慮しながら工事を進めるなど、工事全般を通して積極的な姿勢が顕著であった。		

完成又は施工状況写真



<写真1 舗装施工状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃたけなかどうろ とうきょうほんてん 株式会社竹中道路 東京本店		
ふりがな 技術者名	いいだ おさむ 飯田 修	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうじゅうななごうあげお(に)でんせんきょうどうこうこうじ R6国道17号上尾(2)電線共同溝工事		
工 期	(自) 令和6年9月2日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、国道17号の沿道に住居及び店舗が連坦する市街地において、歩道内に電線共同溝を整備したものである。工事全般を通じて、工程、品質、出来形、安全について、優れた施工管理により工事を完成させた。 導通試験にファイバースコープカメラを用いて動画撮影を行い、管接続部の接着状況や泥碎石等の異物混入の有無など管内部を詳細に確認するなど、品質向上のため新たな試みに積極的に取り組み評価できるものであった。		
表彰理由 (技術者)	施工箇所が市街地であり沿道の住居及び店舗に近接するため、工事を円滑に進めるためには地域住民の理解と協力が不可欠である。 当該技術者は地域住民とのコミュニケーションを図るため、工事内容を記載したPR資料を毎週作成、関係する地域住民に配布又は訪問説明を行うなど積極的に対応した結果、地域からの信頼を得ながら工事を円滑に進めていた。 また、豊富な経験と技術力により、監督職員、占用企業等の関係者と円滑に連絡調整するとともに、施工管理全般においても優れた手腕を発揮し工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



<写真1 表題>



<写真2 表題>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たいゆうけんせつかぶしきかいしゃ とうきょうしてん 大有建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	いざわ ゆうき 井澤 祐輝	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるごこどうようんごうひがしさいたまどうろこしがやちくほかほそうこうじ R5国道4号東埼玉道路越谷地区外舗装工事		
工 期	(自) 令和6年8月1日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	北首都国道事務所		
表彰理由 (工事)	構造物の施工にあたり、三次元設計データを用いて丁張をかけ、自動追尾する測量機を用いて施工完了直後に確認計測することで、その場の据付け直しを可能にする等、ばらつきの少ない精度の高い出来形管理を実施した。また、本工事の工期内に先行改良工事が複数稼働しており、調整の多い工事にも関わらずしっかりと工程管理を行い、追加工種もあったなか、無事工期内に工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事を施工するにあたり、監理技術者は本工事の内容等をデジタルサイネージを活用して分かりやすく説明するとともに、当工事専用のホームページを作成し、工事規制のお知らせ等を随時アップロードすることにより、地域住民と積極的にコミュニケーションを図ったため、苦情等なく円滑に工事を実施できた。また、学生インターシップ見学を実施し、ICT施工を実演する等、担い手確保に向けた取り組みを実施した。		

完成又は施工状況写真



<舗装敷均し>

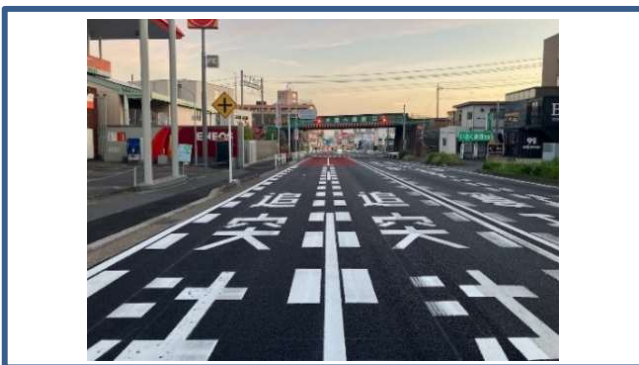


<完成写真>

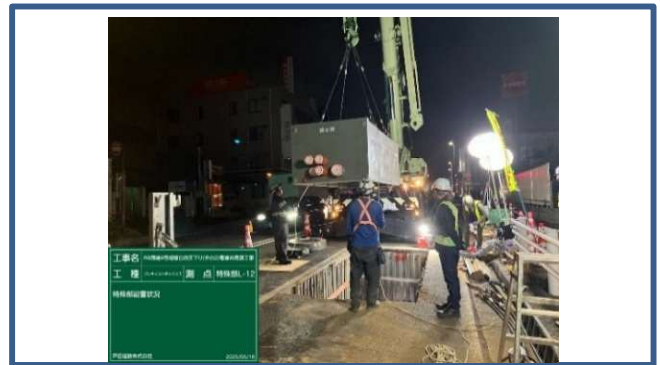
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とだどうろかぶしがいいしゃ 戸田道路株式会社		
ふりがな 技術者名	さわぐち まこと 澤口 慎	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうろくごうこくだいちくくだり(そのに)でんせんきょうどうこうこうじ R6国道6号胡録台地区下り(その2)電線共同溝工事		
工 期	(自) 令和6年10月1日 (至) 令和7年9月30日		
事務所名	千葉国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、歩道部に地下埋設物が輻輳しているため、埋設支障物件について占用企業者と積極的に調整するとともに、占用企業者や京成電鉄などの関係機関と協議を行い、約37,000台／日が通行する国道6号において、夜間施工にて電線共同溝の設置を行った工事である。 工程のフォローアップを積極的に行い、規制日数の短縮に寄与する施工方法や資材の提案を行うなど、優れた施工管理をもって工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、本工事内容を十分に理解し、工程調整に伴う工程管理を的確に実施して施工管理に努めるとともに、占用企業者など関係機関調整を積極的に関与した。 また、施工箇所沿線は家屋が連担していることから、騒音計を設置し環境保全に努めながら施工を行うとともに、道路清掃を積極的実施し、地域に貢献した。		

完成又は施工状況写真



<完成>



<特殊部設置状況>

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	あーるによこかんみなみさかえIC・JCTほんせんたいよんきょうじょうぶこうじよこがわ・ならさき・よこがわえぬえすとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい R2横環南栄IC・JCT本線第4橋上部工事横河・櫛崎・横河NS特定建設工事共同企業体		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーるによこかんみなみさかえIC・JCTほんせんたいよんきょうじょうぶこうじ R2横環南栄IC・JCT本線第4橋上部工事		
工 期	(自) 令和3年4月1日 (至) 令和7年10月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、複数の工事が輻輳し、かつ供用中の道路上に橋梁を架設する工事である。 道路上での架設作業に際しては、現場周辺の点群データと橋梁・吊り足場を3Dモデル化し、 信号機等との離隔確保の確認を行うなど、DX技術を活用したシミュレーションを行った上で、夜 間の通行止め規制等、適切な交通誘導を行いながら万全な安全対策を行い円滑に工事を進め 無事故で完成させた。また、地域のイベントに積極的に参加・協力を行ったほか、学生を対象と した現場見学会に対し、積極的に協力を行い、地域社会や住民、今後の建設業を担う学生に対 し、本工事のみならず事業全体への理解を深めてもらった。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<写真1 完成>



<写真2 施工状況>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃのざきぞうえん 株式会社野崎造園		
ふりがな 技術者名	きむら やすふみ 木村 泰文	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるろくしょうわしせつてつきょおよびいじかんりこうじ R6昭和施設撤去及び維持管理工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	国営昭和記念公園事務所		
表彰理由 (工事)	国営昭和記念公園は令和7年度に約380万人が訪れる日本を代表する国営公園であり、来園者への安全対策が特に重要である。受注者は社会的重要性を十分に理解し、施設改修及び樹木伐採の施工を極力開園前・閉園後に実施する施工体制を整え、来園者の安全を最優先とした。また、開園から40年を経過した同公園では、上水・循環水管の漏水補修や公園施設の補修・点検など多岐にわたる不具合が生じており、公園利用者の迷惑とならないよう施工体制を柔軟に調整しながら迅速に補修を行い、工期内に無事工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	現場代理人は、施行箇所の事前調査を十分に行い、施行箇所毎の現地条件を良く理解したうえで施行計画を立案し工事の施工にあたった。 蛍光灯のLED化では、下請け業者とコミュニケーションを積極的に図り、公園業務に影響が出ない様に配慮した。 また、土壌汚染撤去や建物のアスベスト撤去では、周辺への影響を考慮し、短期間で作業を完了する工程計画を立案した。		

完成又は施工状況写真



<写真1 昭島管理等解体>



<写真2 表題>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	たいせいけんせつかぶしがいいしゃ とうきょうしてん 大成建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	みやもと かずと 宮本 和人	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	こくりつはんせんびょうしりょうかんぞうちくとう(にじゅうに)けんちくそのたこうじ 国立ハンセン病資料館増築棟(22)建築その他工事		
工 期	(自) 令和4年12月1日 (至) 令和7年10月22日		
事務所名	甲武宮繕事務所		
表彰理由 (工事)	計画建物の周囲1辺が敷地境界に近接、2辺が既存樹木を残し、残り1辺が既存棟に近接する施工条件の中、使用重機の選定、工事車両の入構管理、施工ヤードの使用調整により、狭隘な作業エリアで良好な施工管理を行った。また、コンクリートの品質確保のための圧入工法の採用や冬季ジェットヒーターの使用、調湿性能のある内装材の劣化防止のための仮設換気の設置など、様々な施工に関する提案を受注者の発議により積極的に行うとともに、徹底した社内技術検査を行い、出来形に優れ、品質が良好であった。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、収蔵庫棟が求める断熱性能・気密性能・調湿性能等について契約図書及び設計意図を十分に理解し、また防火ラインの連続性を確保するために既存棟接続部の詳細な現地調査を行い提案するなど、高度な技術力をもって対応し、優れた出来形の施設を工期内に完成させた。また、開館中の資料館の運営に支障がないよう関係者と率先して調整するとともに、関連工事を含め現場全体を指揮し、リーダーシップを遺憾なく発揮して関係者が一丸となって品質向上を目指して工事を進めた。		

完成又は施工状況写真



<完成>



<コンクリートの圧入>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃちゅうでんこう とうきょうほんぶ 株式会社中電工 東京本部		
ふりがな 技術者名	かたやま むつし 片山 睦士	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	いちがやけいさつそうごうちょうしゃ(じゅうきゅう) でんきせつぴこうじ 市ヶ谷警察総合庁舎(19)電気設備工事		
工 期	(自) 令和1年9月4日 (至) 令和7年12月12日		
事務所名	東京第一営繕事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、2官署(特科車両体、第五機動隊)が入居する警察総合庁舎であり、24時間活動する警察施設という特殊性もあって、施設の安全性と信頼性について高いレベルで品質を確保する必要があった。また、システムの冗長化や特殊な設備、複雑な与条件なども多く、入居官署との調整が非常に重要であった。 工事受注者は、的確な施工計画、製作図を作成のうえ工事を実施し、工程管理及び安全管理も積極的に取り組み、良好な品質で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、多様な要望を的確に制作及び施工に反映し、工事進捗をよく管理し、安全かつ良好な品質で工事を完了させた。また、積極的な収まり等の検討を行ったうえで、入居官署と調整を実施し、的確に施工に反映させた。 約6年という長い工期のなかでは、コロナ禍や海外有事に伴う資機材の安定調達に支障が生じる期間も発生したが、適切な資材管理及び工程管理を行い、工程に支障を発生させることなく工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



電気室施工状況



発電機室施工状況

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃあいえいちあいいんふらすくえあ 株式会社IHIインフラスクエア		
ふりがな 技術者名	くりばやし ひでのり 栗林 秀典	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくこくどうろくごう ちよだいしおかばいばすたまりこうかきようじょうぶこうじ R6国道6号千代田石岡BP玉里高架橋上部工事		
工 期	(自) 令和6年11月15日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	交差道路を夜間通行止めしての架設作業であり、規制時間の縮減が求められたため、通常よりも短時間で作業を行う必要があったが、3次元モデルを活用した綿密な施工計画の策定と作業員への的確な作業内容の周知により作業を効率的に進め、道路利用者への影響を最小限に抑え工事を完成させた。 また、安全協議会において本工事での安全対策の取組を積極的に発表するなど安全意識の向上に努めており、その活動は他の工事の模範となるものである。		
表彰理由 (技術者)	通行止めの影響を受ける周辺住民や企業に対し丁寧な事前説明を行うなど、地域との積極的なコミュニケーションを図ることでトラブルなく工事を完成させた。 作業内容を十分に理解したうえで、BIM／CIMや新技術を効果的に活用し、施工の合理化と品質・安全の向上を実現した。さらに、地域イベントへの積極的な参加等、創意工夫を図り現場管理を円滑に進めた。		

完成又は施工状況写真



<写真1 桁架設状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	さたけんせつかぶしきかいしゃ 佐田建設株式会社		
ふりがな 技術者名	あおき りょうたろう 青木 稜太郎	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくかやかぶちくあんかーこうじ R6栢ヶ舞地区アンカー工事		
工 期	(自) 令和7年5月26日 (至) 令和8年2月26日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は狭隘で急峻な三波石峡に位置し、資機材搬入に生活道路を利用するため、地元住民の理解と協力が不可欠であった。受注者は地域住民とのコミュニケーションに尽力し、交通への支障を最小限に抑えながら、事故・トラブル・苦情なく施工を進めた。また、施工箇所は生活道路と上下関係にある急峻な斜面であり、掘削やアンカー施工時には落石防止に細心の注意を払い、安全を確保した。施工管理および出来形も良好で、無事に工事を完成させた功績は高く評価できる。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者は、若手ながら専門的な知識及び技術力をもって、適切に施工管理を行い、安全・円滑に工事を完成させたことは評価に値するものである。特に、譲原地すべり事業への地元への理解を深めるため、自ら地元説明会を開催するとともに、DXを活用し残業時間の削減や多くのインターンシップを受け入れ、若手育成に積極的に取り組みながら無事に工事を完成させたことは他の技術者の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



<施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にっとくけんせつかぶしがいいしゃ とうきょうしてん 日特建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	せき しんいち 関 真一	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくこくどうにじゅうごうよしのちくぼうさいそのななこうじ R6国道20号吉野地区防災その7工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	相武国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、一般国道20号の吉野地区における防災工事である。当該箇所は、急峻な地形での施工であり、施工に当たっては作業員のみならず、資機材の墜落対策等の細心の注意が不可欠であるが、適切に安全管理を行い、工事を無事故で竣工させた。また、現場近隣において災害が発生した際は、応急復旧の指示に対し、迅速に体制を整え、速やかに施工を完成させ、更なる災害発生を抑止に貢献した。工事の施工管理も良好であり、他工事の模範となることから、優良工事として推薦するものである。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、現場状況を的確に把握し、墜落事故防止対策などの安全管理及び施工管理を行い、無事故、無災害で工事を完成させた。 また、現場近隣において発生した災害の応急復旧に対しては、積極的に補修方法の検討及び提案を行い、優れた技術力を発揮した。 当該技術者は、技術的に優れており、他の模範となることから、優秀工事技術者として推薦するものである。		

完成又は施工状況写真



<写真1 鉄筋挿入工(施工状況)>



<写真2 鉄筋挿入工(完成)>

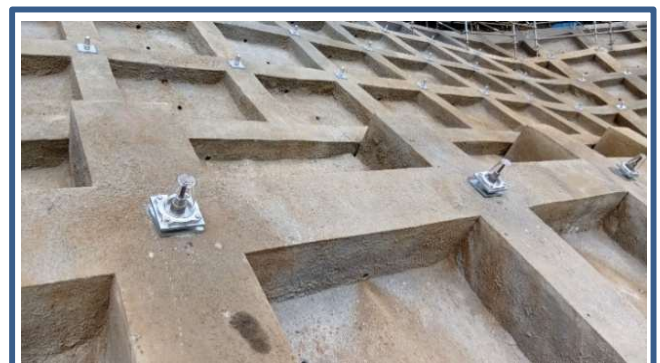
優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にっとくけんせつかぶしがいいしゃ とうきょうしてん 日特建設株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	おおかわら よしのり 大川原 義則	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうにひやくよんじゅうろくごうぜんぱちくさいがいふつきゅうそのいちこうじ R6国道246号善波地区災害復旧その1工事		
工 期	(自) 令和7年2月15日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、令和6年8月に発生した伊勢原市善波地区における法面崩落災害に伴う復旧工事である。急峻な斜面に不安定な土砂が残る中、2万台以上／日の交通量がある国道246号の交通を確保しながら、二次災害に留意して慎重に工事を進める必要があった。また、安全確保のため、通行止め基準を設けていたことから、地盤計測や現場監視を強化のうえ工事を進める必要があったが、現場条件を踏まえ、綿密な施工計画や工程計画のもと、令和7年度内の復旧工事完成に大きく寄与した。		
表彰理由 (技術者)	本工事は、法面崩落災害に伴う復旧工事であり、二次災害の危険性もあることから、安全管理において、現地に設置した地盤伸縮計や雨量計の変動を常に確認し、施工計画書で定めた基準に達した場合は速やかに一時中止するなど、安全第一のもと無事故・無災害で、令和7年度内の工事完成に大きく貢献した。 当該監理技術者は、専門的な知識と技術力により適切に安全管理や工程管理を行い、安全且つ円滑に工事を完成させたことから評価に値する。		

完成又は施工状況写真



<写真1 法面復旧工事全体>



<写真2 グラウンドアンカー工>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃさとうこうしゃ 株式会社サトウ塗工社		
ふりがな 技術者名	さとう ゆうこ 佐藤 優子	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるなわたらせちよすいちびーすいもんとそうこうじ R7渡良瀬貯水池B水門塗装工事		
工 期	(自) 令和7年9月20日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、渡良瀬貯水池機場に付随するB水門の機能維持を目的として塗替塗装を実施したものである。塗装作業や塗装の品質は、気温や湿度など天候の影響を受けやすい作業であるが、板張り防護の設置やヒーターの使用により作業環境を適切に整えた。また、温度計・湿度計による連続管理を行い、最適条件を確保したことで、工程の遅延を防ぐとともに塗装品質の向上にも貢献した。		
表彰理由 (技術者)	本工事において、現場代理人兼管理技術者として、監督職員の指示に対し現地状況を踏まえた適切な提案を行うなど、積極的に取り組んだ。ワイヤーロープ等の塗装不可部を確実に養生し品質を確保した。厳しい工期の中でも他工事と連携し無事故で完了させ、施工・工程・調整の各面で優れた管理を実施したことは、表彰に値する。		

完成又は施工状況写真



<写真1 塗装不可部分の養生状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	しょうわけんせつかぶしがいいしゃ 昭和建設株式会社		
ふりがな 技術者名	しょうじ かつや 荘司 勝也	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろく・あーるななみとこくどうかんないいじこうじ R6・R7水戸国道管内維持工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、国道の維持管理を適切に行うため、突発的かつ多種多様な施工指示に対し、24時間体制で迅速に対応することが求められる工事である。 受注者は、日々発生する複数の施工指示に対し、緊急対応の出来る体制を24時間確保し、迅速かつ適切に工事を実施した。 また、工事に当たっては、施工指示が重なった場合においても現地状況を迅速に把握し、最適な優先順位およびコスト縮減可能な施工方法を監督職員に提案し、効率的に工事を実施した。		
表彰理由 (技術者)	本工事は、日々発生する複数かつ多種多様な施工指示による応急対応が工事の大半を占める。 本工事の現場代理人は、このような施工指示に対し、速やかに現地確認を行ったうえでコスト、耐久性に配慮した施工案資料を作成し監督職員と協議を行い施工を行った。 また、施工に当たり、現場で地域住民から問い合わせが合った場合は丁寧に対応し、発注者に伝えるべき内容は速やかに報告を行った。		

完成又は施工状況写真



<防護柵施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	なかむらどけんかぶしがいいしゃ 中村土建株式会社		
ふりがな 技術者名	たはら たけし 田原 丈司	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるろく・ななきぬがわさがんどうじょうじゅくまちちさきこうすいしきせいびこうじ R6・7鬼怒川左岸道場宿町地先高水敷整備工事		
工 期	(自) 令和6年12月4日 (至) 令和7年8月29日		
事務所名	下館河川事務所		
表彰理由 (工事)	利根川水系連合・総合水防演習において、水防団や消防、警察、自衛隊、関東地方整備局など多数の関係機関が参加し、ヘリコプターや排水ポンプ車を活用した救出・救護訓練が実施された。会場整備では各訓練の目的とねらいを踏まえ、関係機関と積極的に調整を行い、設備設置や水路造成に工夫を凝らした。また、多数の一般来場者を考慮し、見学スペースからの展望に配慮した訓練設備の配置や見学盛土・通路の整備を提案した。その結果、会場整備担当として下館河川事務所は関係機関から厚い信頼を獲得し、準備から片付けまで円滑に演習を終了させることができた。		
表彰理由 (技術者)	本工事の現場代理人として、工事全体を把握するとともに、関係機関との調整内容や発注者の指示内容をよく理解し、施工に反映した。演習開催日程や使用会場の返却期限など、工程に厳しい制約を受ける中、監督職員への報告・連絡を的確に行い、円滑に施工を行った。 また、広範囲に点在する施工箇所全体を把握し安全管理に努めるとともに、施工段階に応じて施工箇所が変化する中、河川敷を利用する一般者への安全配慮も的確に行い、無事に工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



駐車場施工状況



会場整備完成状況

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	まつぎけんせつかぶしがいいしゃ 松崎建設株式会社		
ふりがな 技術者名	おだ かずひろ 小田 和洋	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるななにしのすあまだいりちくせいびほかこうじ R7西の洲甘田入地区整備外工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、霞ヶ浦浚渫事業における浚渫土処理地の維持管理及び返還に必要な工事を行うものであるが、耕作者の意見を踏まえた土壌改良など施工中も関係者への適切且つ丁寧な対応に努め、トラブルや苦情等も無く工事を完成させた。 また、緊急時や突発的な事象においても十分な体制を整え、基盤整備に必要な建設発生土の受入れや、工事用道路の補修など迅速な対応を行った。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は常に工事全体を把握し、地元や関係機関を気にかけてながら適切な安全管理・工程管理及び品質管理により、安全に工事を完成させた。 また、霞ヶ浦浚渫事業の理解を深めるため地元の小学校へ出向き、見学会を企画するなど、行動力に優れており、本見学会は、新聞にも取り上げて頂き、校長からも「このような場を用意して頂き本当にありがたい」と感謝のコメントを頂いた。その他、清掃活動の参加や周辺環境への配慮など、地域への貢献等に寄与した。		

完成又は施工状況写真



<土壌改良(堆肥積込)>



<集水桝不具合解消>

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃたかのこうむてん 株式会社高野工務店		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーるろくじがわひたちおおみやしゅうへんせいびこうじ R6久慈川常陸大宮周辺整備工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	久慈川緊急治水対策河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、久慈川緊急治水対策プロジェクトの常陸大宮市工区において、未着手用地や堤防整備用土砂を仮置きする各ストックヤードの除草・維持管理および土砂受入れ整地作業を実施した。また、プロジェクト全体の残土を受け入れる小貫ストックヤードでは、排水施設や沈砂池等の基盤整備を行った。さらに、仮設借地の返却に向けた農地復旧や地元要望への対応も実施した。直轄・権限代行区間にまたがる広範囲において、多岐にわたる作業や緊急対応を迅速かつ安全に遂行し、事業推進に大きく貢献した。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<写真1 小貫SY施工状況>



<写真2 小貫SY完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	ぬまたどけんかぶしがいいしゃ 沼田土建株式会社		
ふりがな 技術者名	とべ ひろし 戸部 浩	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるろく・あーるなぬまたしゅつちようじょかんないいじこうじ R6・R7沼田出張所管内維持工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、国道17号の群馬県北部から県境までの気象条件の厳しい地域における日々の道路巡回、落下物回収、苦情処理、冬期の除雪等、昼夜間を問わず発生する事案に対し、体制を確保し、迅速に対応し、事故無く工事を完成させた。特に冬期の予防的通行止め時においては、早期の除雪体制の確保を実施するとともに、交通規制要員の確保、迅速な現場への配置を行い速やかな交通開放に努めた。また、急遽生じた橋梁の緊急補修工事や突発的に発生した倒木処理対応など十分な体制を整え、早期の対応を行った。		
表彰理由 (技術者)	当該技術者は、豊富な経験と技術力を生かし、責任を持って監督職員と綿密な協議を行い、維持工事特有の現場に即した施工方法を積極的に提案するとともに迅速な対応に努めるなど無事故で工事を完成させた。 また、突発的に発生した倒木処理対応においては、監督職員との調整、作業体制を迅速に確保し、対応にあたることで速やかな交通開放に寄与した。		

完成又は施工状況写真



大雪時通行止め状況



橋梁補修状況



倒木処理状況

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	おがわこうぎょうかぶしがいいしゃ 小川工業株式会社		
ふりがな 技術者名	のなか たかし 野中 隆	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるななおとねかんいうがんかせんいじこうじ R7大利根管内右岸河川維持工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由 (工事)	利根川右岸の大利根出張所管内において、堤防除草工、堤防養生工、清掃工、維持工及び状況把握業務を行うものである。本工事は多岐に及ぶ工事内容があったが、点在する施工箇所のうち、東武鉄道(株)利根川橋りょう周辺の堤防開口部の盛土を行う等、長年の念願だった箇所の築堤工事を短期間に完成させた。また、栗橋北地区の堤防川裏階段の補修を地元イベント(夏祭り)開催前に完成させる等、地元住民からの要望に適切に対応し、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、遅滞や苦情もなく確実に工事を完成させたことは、評価に値するものである。		
表彰理由 (技術者)	本工事の現場代理人は、点在する施工箇所のうち、東武鉄道(株)利根川橋りょう周辺の堤防開口部の盛土を行う等、長年の念願だった箇所の築堤工事を短期間に完成させた。また、栗橋北地区の堤防川裏階段の補修を地元イベント(夏祭り)開催前に完成させる等、地元住民からの要望に適切に対応し、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、遅滞や苦情もなく確実に工事を完成させたことは、優良工事技術者として表彰に値するものである。		

完成又は施工状況写真



<写真1 堤防開口部の盛土>



<写真2 階段の補修>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とうきょうほそうこうぎょうかぶしがいいしゃ かんとうしてん 東京舗装工業株式会社 関東支店		
ふりがな 技術者名	ふじた さとし 藤田 賢	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	あーるろくあーるななかすかべいじこうじ R6・R7春日部維持工事		
工 期	(自) 令和6年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事においては、管理延長約80km、日最大交通量4万台を超える幹線道路で発生する災害、交通事故や路面悪化等に対応するため、多岐に渡る作業内容を監督職員からの指示に基づき、適切に対応された。 また、令和6年7月に埼玉県越谷市大間野で発生した道路陥没事故においては、迅速に現場に駆けつけ、警察と連携して交通規制を行い、二次災害防止に努めた。 技術者の負担が大きい維持工事において、会社として担当技術者を複数人配置し、技術者の負担軽減にも積極的に取り組まれた。		
表彰理由 (技術者)	行政相談や交通事故処理等、迅速な対応が求められる工事である中、当該技術者は対応方針について積極的に提案すると共に、急な作業内容の変更においても柔軟に対応し、監督職員の期待に応える役割を担った。 また、在職時に経験した路面陥没から、協力会社の作業員に対し安全教育の場において作業現場以外での路面状況の確認に努めるように指導していた結果、作業員が現場からの帰宅中に路面の穴を発見し、技術者へ速やかに報告したことで路面陥没を未然に防止することに貢献した。		

完成又は施工状況写真



＜路面下空洞による流動化材の注入作業＞



＜歩道段差補修作業＞

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	まつうらけんせつかぶしがいいしゃ 松浦建設株式会社		
ふりがな 技術者名	かしわぎ たけし 柏木 健	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるご・ろく・ななえどがわじょうりゅうさがんかせんいじこうじ R5・6・7江戸川上流左岸河川維持工事		
工 期	(自) 令和5年12月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	江戸川河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は江戸川上流部の左右岸の河川堤防の除草工、養生工、塵芥処理や施設の補修や緊急的な維持工が主な工種である。工事施工範囲が広範囲、工事内容が多種多様な中、追加工種等による工期延期により、契約工期27ヶ月と長期に渡る工事であった。地元からの要望、緊急を要する夜間工事での道路補修、江戸川流頭部河床洗掘対策に対しても、速やかに施工体制を整え、柔軟に対応するなど、突発的事象に対する対応を行いつつ、週休2日を確保しつつ、工程管理に関する取り組みが積極的かつ、適切に行われ、事故や苦情等も無く工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	監理技術者は、当所より当該工事の主旨・目的を的確に捉え、従事期間中は、現場状況を適切に把握し、緊急道路補修は限られた期間の制限の中、臨機かつ迅速な対応により計画的な現場管理・工程管理を行い良好な出来形・品質を確保しつつ、事故無く工事を行った。 また、近接する河川占有者や地元住民との調整を丁寧に行い、滞りなく無事に工事を完成させ、十分な能力を発揮し優れた施工管理を行った。		

完成又は施工状況写真



<河道掘削施工状況>



<緊急道路補修完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	きむらこうぎょうかぶしがいいしゃ キムラ工業株式会社		
ふりがな 技術者名	とみた まさお 富田 政夫	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるななあらかわかりゅうかせんじむしょかんないかりゅうぶうがんにじかんりこうじ R7荒川下流河川事務所管内下流部右岸維持管理工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	荒川下流河川事務所		
表彰理由 (工事)	当工事は、散策・マラソン・自転車等の多くの人で利用されている現場条件下において、地元区から高速自転車と河川利用者が接触事故への対策要望に対し、試験施工を行ったうえで段差舗装の構造を検討するとともに、荒川河川敷に合わせた注意喚起の路面標示や看板に関する検討・提案を行い、速やかに施工体制を確保したうえで、安全かつ丁寧な施工で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	当該監理技術者は、専門的な知識および高い技術力を発揮し、適切な施工管理を行うことで、工事を安全かつ円滑に完成させており、その成果は高く評価できる。 特に、要望事項である段差舗装や車止めの改善箇所については、現地状況を十分に確認したうえで図面等の資料を作成し、荒川河川敷の利用者特性など現場条件を踏まえた施工内容を提案した。さらに、速やかに施工体制を整え、本工事を無事故かつ良好な出来ばえで完成させたことは、他の技術者の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



段差舗装



注意喚起看板



路面標示

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃがいあーと しゅとけんしてん 株式会社ガイアート 首都圏支店		
ふりがな 技術者名	かが まさとし 加賀 正俊	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーるろくとうきょうこくどうかんないこうつうあんぜんたいさく(そのよん)こうじ R6東京国道管内交通安全対策(その4)工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和7年12月17日		
事務所名	東京国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事の施工箇所である六ツ又交差点は、国道254号と都道(明治通り)、都道(音羽池袋線)、区道が接続する変則六差路交差点であり、その複雑な形状から出会い頭の事故や追突事故が多発している。 本工事において、事故対策のため、交差点内で輻輳する埋設物の移設調整や支障物の移設を実施し、六差路から五差路への交差点改良を無事故で完成させた。		
表彰理由 (技術者)	工事の施工にあたり、水道、下水道、電気、ガス、通信線など交差点内で輻輳する埋設物の移設調整や、商店街の照明、信号等の支障物の移設等が必要となり、多数の関係者と連絡調整を密に行い、限られた工期内に完成させた。 また、JR池袋駅に近く多数の歩行者が通行する場所であり、歩道を切り回しながらの施工となったが、多言語での看板を設置するなど歩行者への安全対策も実施した。		

完成又は施工状況写真



<写真1 施工状況>



<写真2 完成写真>

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	にっこうけんせつかぶしがいいしゃ 日工建設株式会社		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーるなとうきょうがいかんどうかんきょうせいびこうじ R7東京外環道環境整備工事		
工 期	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	東京外かく環状国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、事業用地の巡回や除草・防塵処理などの予定地管理及び工事ヤードの管理を行うものであり、人家密集地かつ狭隘な箇所での施工や緊急作業を必要とするものである。日々の管理に加え、台風、短時間豪雨対応や降雪対応、突発事象対応などにも周辺住民に配慮しつつ迅速かつ的確に作業を完遂させた。また、地域のイベントの参加や現場周辺の清掃など積極的に行い、地域とのコミュニケーションを図った。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<写真1 防塵舗装施工状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	さんせいそだけんせつかぶしがいいしゃ サンセイ磯田建設株式会社		
ふりがな 技術者名	かみばやし じゅんいち 上林 淳一	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくふたせだむかないせいびこうじ R6二瀬ダム管内整備工事		
工 期	(自) 令和7年9月19日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	二瀬ダム管理所		
表彰理由 (工事)	本工事は二瀬ダム管内において、ダム管理に必要な多様な作業を伴う工事である。また、ダムの貯水池運用により施工時期が限られた中で工事であることから、気象予測や降雨による貯水位の状況、湛水運用の開始時期を考慮した工程管理を求められる工事であった。 本工事では、厳しい現場条件のもと着実に工事進捗を図り、適切な工程管理に努め、無事故で工事を完了させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事は施工箇所が点在していることや道路の幅員は狭く、山間地であるものの家屋が近接している箇所がある。またダムの湛水運用の開始時期による厳しい工程管理を求められた。厳しい現場条件の中、地域住民へ適切な配慮を実施しながら工事進捗を図り、無事故で工事を完了させた。		

完成又は施工状況写真



<写真1 根固ブロック製作工施工状況>

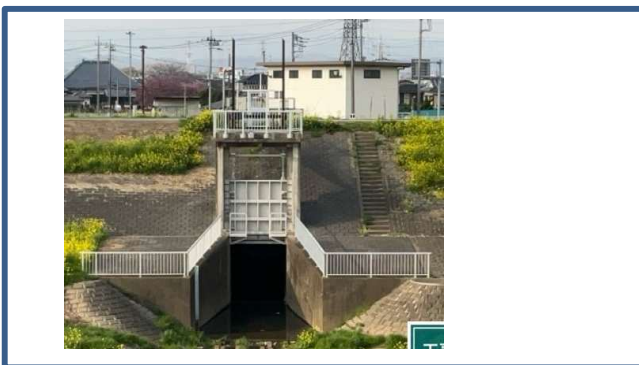


<写真2 根固ブロック製作工完了>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃみぞた 株式会社ミゾタ		
ふりがな 技術者名	おおぐし りょうへい 大串 亮平	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーごほりぐちひかんほかげーとせつびこうしんこうじ R5堀口樋管外ゲート設備更新工事		
工 期	(自) 令和6年3月12日 (至) 令和7年4月25日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由 (工事)	本工事では、扉体が閉まった際の底板戸当の取付精度が樋管機能に大きな影響を与えることから、底板のレベルを均一にするために独自の治具材を作成し、設置時間の短縮、強固な設置、製品の据付精度の向上を自ら行うなど、品質向上に積極的に取り組んだ。 また、堀口樋管の既設戸当部の強度不足への対応も迅速に行うなど、13ヶ月の長期工期を、良好かつ安全な施工により無事に工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者は、専門的な知識及び技術力をもって、適切に施工管理し、安全・円滑に工事を完成させたことは評価に値するものである。 また、通学路となっている、堤防天端道路を通行止めにすることなく施工し、通行者への安全性への配慮では、新技術を取り組みながら無事に工事を完成させたことは他の技術者の模範となるものである。		

完成又は施工状況写真



<写真1 工事完成>



<写真2 施工状況(扉体据付)>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃあいえいちあいいんふらすくえあ 株式会社IHIインフラスクエア		
ふりがな 技術者名	たかはし つよし 高橋 剛	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	あーるよんあらかわだいにちようせつちはいすいもんげーとせつびしんせつこうじ R4荒川第二調節池排水門ゲート設備新設工事		
工 期	(自) 令和5年2月21日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	荒川調節池工事事務所		
表彰理由 (工事)	本工事では、設計当初からBIM/CIM技術を活用し、製作・組立の各段階で3次元モデルを用いて関係者間の情報共有を図り、工事全体の効率化を実現した。また、隣接する土木躯体工事の進捗に合わせ、狭隘部での搬入・仮設ヤードや上下作業など多岐にわたる他工事との調整にも同データを活用し、綿密な施工計画・工程管理を策定した。さらにNETIS登録の新技术を多数採用することで、大規模水門設備の効率的かつ安全な施工を実現するとともに、週休2日(4週8休)の実施など福利厚生面にも配慮した取り組みが行われた。		
表彰理由 (技術者)	本工事の技術者は、当該工事の主旨・目的を的確に捉え、現場状況を適切に把握し、隣接する工事ともBIM/CIM技術を活用した判りやすい資料を作成して積極的に調整を行い、計画的な現場管理・工程管理により良好な出来型・品質の施設を完成させた。また、埼玉県さいたま市という地理的条件を生かし、工業系高校生、土木学会親子見学会他の現場視察について、MRデバイスなど土木工事における新技术の紹介を含めた見学会を行い、地域住民における国土交通事業への理解度工場や建設業の将来の担い手育成に貢献した。		

完成又は施工状況写真



<施工状況>



<完成状況>

優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃまるでん 株式会社丸電		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーろくこくどうよんごうひがしさいたまどうろしーていーぶいせつびほかせつちこうじ R6国道4号東埼玉道路CCTV設備他設置工事		
工 期	(自) 令和6年7月19日 (至) 令和7年5月30日		
事務所名	北首都国道事務所		
表彰理由 (工事)	東埼玉道路R7春の部分供用に必要な追加工種もあったなか、適切な施工管理を実施し、工期内に事故なく工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<CCTVカメラ据付け>

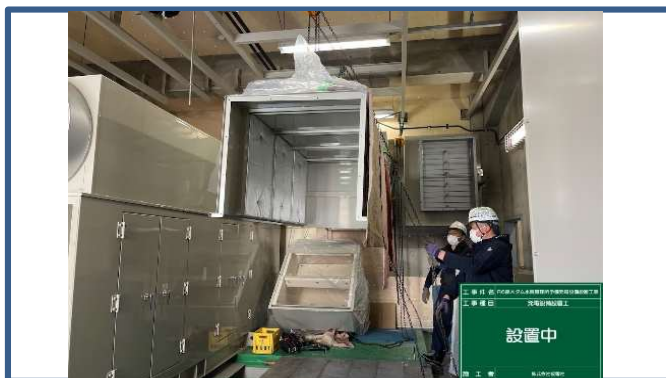


<機側装置据付け>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃおうでんしゃ 株式会社桜電社		
ふりがな 技術者名	いしざか けいいちろう 石坂 桂一郎	職種	主任技術者
ふりがな 工事名	あーろくしなきだむすいしつかんりしよびはつでんせつびせっちこうじ R6品木ダム水質管理所予備発電設備設置工事		
工 期	(自) 令和7年5月2日 (至) 令和8年1月30日		
事務所名	品木ダム水質管理所		
表彰理由 (工事)	本工事は、施工段階において給気ファン、給気ダクト、排風ダクト、排風チャンバー等の空調設備について、現場条件を踏まえた調整対応を要する工事であった。また、発電機室の壁が鉄筋コンクリート構造であることから、各設備の配置による躯体の影響箇所の処理が伴う施工となり、施工計画および工程管理に特段の配慮を要する条件を含んでいた。これらの施工条件下においても、品質および安全性を確保したうえで、施工段階で生じた多様な調整事項を迅速かつ的確な対応により全体工程に影響を与えることなく、工事を完了させた。		
表彰理由 (技術者)	主任技術者は、契約書・設計図書・共通仕様書および関係基準を十分に理解した上で、施工段階で生じた各種調整事項に対し、明確な技術的根拠に基づく解決策を提示した。特に給排気設備については、現場条件を的確に把握し、既設設備の有効活用や合理的な施工方法を主導的に検討することで適切な施工計画を立案した。また、工程を的確に管理し、監督職員との協議や関係者間の調整を円滑に進め、品質・安全性を確保した上で工期内に工事を完了させた。高度な専門知識と現場統括能力を十分に発揮した極めて優秀な成果であった。		

完成又は施工状況写真



<写真1 発電設備施工状況>



<写真2 完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	しよーぼんどけんせつかぶしかいしゃ ショーボンド建設株式会社		
ふりがな 技術者名	いむら たつや 井村 竜也	職種	現場代理人 兼 監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうにひやくきゅうじゅうはちごうかつしかおおはしほしゅうそのいちこうじ R6国道298号葛飾大橋補修その1工事		
工 期	(自) 令和6年9月30日 (至) 令和8年3月25日		
事務所名	首都国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、一般国道298号の江戸川を渡河する葛飾大橋において、損傷したローラー支承を免震ゴム支承に更新する工事である。工事にあたっては、トラス橋面上の狭隘かつ制約・制限がある施工ヤードでの夜間作業であったことから、資材搬出入に伴うトラスへの接触防止、ならびに、支承取替時のジャッキアップに伴うトラスの変形防止について細心の注意を要する現場であったが、事前に協力会社を含めた安全面かつ施工面の検討会を独自に開催するとともに、現場施工時においても、安全管理かつ現場管理を適切に実施し、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	河川区域内であるため護岸撤去と復旧の時期に制約を受ける工事もあったが、適切な工程管理に取組むとともに、現地状況や既設構造物調査の結果に基づき施工内容の変更が生じた案件についても、積極的に対応案を提案するなど適切に対応を行った。また、橋梁点検の追加調査や隣接工事との工程調整も適切に行うことにより、工期内に工事を完成させた。		

完成又は施工状況写真



< 支承搬入状況 >



< 完成 >

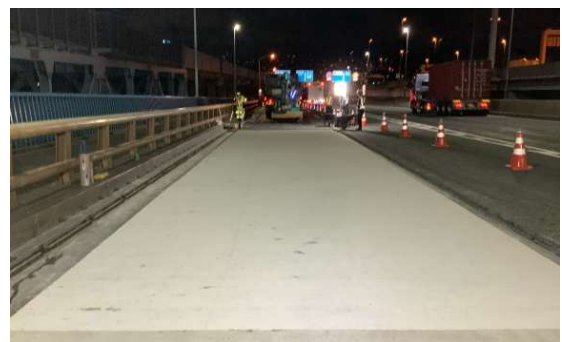
優良工事 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かじまどうろかぶしきがいしゃ とうきょうしてん 鹿島道路株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名		職種	
ふりがな 工事名	あーるごこどうさんびゃくごじゅうななごうあらかわかこうきょうほしゅうこうじ R5国道357号荒川河口橋補修工事		
工 期	(自) 令和5年7月25日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	東京国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事の施工箇所は、交通量及び大型車が多い国道357号で、かつ近隣に大型レジャー施設があることなどから、車線規制に伴う現道利用者への安全確保や渋滞対策など、綿密な対策を講じながら工事を進める必要あった。 一部施工箇所においては、関係機関等との調整を行い、交通量が比較的少なくなる時間帯での昼夜連続車線規制により、車道の交通規制日数の大幅な縮減を可能とし、仮舗装回数の縮減などによる効率的な施工を行いながら、無事故で工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)			

完成又は施工状況写真



<写真1 当て板補修>



<写真2 SFRC舗装>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃふくざわコーポレーション 株式会社フクザワコーポレーション		
ふりがな 技術者名	はま としき 濱 利樹	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	あーろくこくどうじゅうはちごうかんがわばしほしゅうほきょうこうじ R6国道18号神川橋補修補強工事		
工 期	(自) 令和6年8月21日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	長野国道事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、供用中の橋梁における橋梁補修工事及び耐震補強工事であるが、工事全般を通して工程、品質、出来形、安全において適切な管理がなされており無事故で工事を完成させた。また、様々な施工上の工夫を行い作業員の負担軽減を行うとともに、直営施工の強みを生かし熟練技能者と若手技能者でパーティを組ませ若手技能者の育成を行った。さらに学生のインターンシップの受け入れを行い担い手確保の取り組みにも寄与した。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者として工事全体を把握し、適切な施工管理、安全管理を行い無事故で工事を完成させた。また、定期的な「工事だより」の発行やお祭りなど地元行事の参加、周辺清掃活動、さらに小学生を招き現場見学会を開催するなど、地域とのコミュニケーションを積極的に図り地域に貢献した。		

完成又は施工状況写真



<施工状況>



<完成>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	ごようけんせつかぶしきかいしゃ とうきょうどぼくしてん 五洋建設株式会社 東京土木支店		
ふりがな 技術者名	なかむら まさと 中村 将人	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	れいわごねんど かしまこうがいこうちくみなみぼうはていちくぞうこうじ 令和5年度 鹿島港外港地区南防波堤築造工事		
工 期	(自) 令和6年1月23日 (至) 令和7年5月23日		
事務所名	鹿島港湾・空港整備事務所		
表彰理由 (工事)	鹿島港は年間を通じて厳しい気象・海象条件であることから、本工事でも厳しい条件下での施工となり、工程管理や安全管理が重要課題である。特に約5,900tにも及ぶケーソンの据付は潮流の影響を受けやすいため、位置情報と潮流状況をリアルタイムで把握できる仕組みを活用。また、当該情報を作業指揮者と引船船長が共有し、意思疎通を図りながら操船することで、据付時間の短縮と安全性向上を実現した。 さらに事前の海象状況把握と引船配置計画により、確実かつ円滑にケーソン据付を行い、無事故・無災害で工事を完了した。		
表彰理由 (技術者)	本工事の監理技術者として、外洋に面し潮流影響の大きい過酷な海象条件下において、ケーソンを据付け、南防波堤の延伸工事を統括した。 事前に海象の影響を精査し、作業船の配置も含めた適切な計画を立案し、迅速な据付を実現した。また、捨石均しにおいては、機械均しに変更するなど、潜水作業の軽減による安全確保も図った。さらに、工程・安全管理を徹底しつつ協力会社への円滑な技術指導などのほか、地域活動にも積極的に関与し、無事故・無災害で工事を工事完了を成し遂げるとともに、適切な工程管理により休日確保(4週8休)も達成した。		

完成又は施工状況写真



<完成状況>



<ケーソン据付状況>

優良工事及び優秀工事技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	わかちく・ほんまとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 若築・本間特定建設工事共同企業体		
ふりがな 技術者名	いしざき むつみ 石崎 睦	職種	監理技術者
ふりがな 工事名	れいわごねんど ちばこうちばちゅうおうちくがんぺき-9mかいりようちくぞうこうじ 令和5年度 千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事		
工 期	(自) 令和6年3月11日 (至) 令和7年12月5日		
事務所名	千葉港湾事務所		
表彰理由 (工事)	本工事は、周辺事業者への配慮を行いつつ、制限された施工ヤードにおいて、控鋼杭打設や地盤改良等を行う工事である。 荷役車両の交通誘導、土砂等の飛散防止対策を行い、周辺事業者への影響を最小限に留め工事を遂行した。また、既設タイロッドに損傷を与えないようICT地盤改良機を使用し綿密な施工管理のもと、施工を完了させた。 当該請負者は、一般公衆災害の防止、的確な安全管理により事故・トラブルもなく、工事を完成させた。		
表彰理由 (技術者)	本工事現場の特性として、既設の岸壁構造へ損傷を与えないよう留意し、かつ確実な施工を行う必要があり、難易度の高い施工が求められる。当該技術者は、下請業者と密に連携し、そのような厳しい施工条件に対しても優れた施工管理を行い、既設構造へ損傷を与えることなく無事故で工事を完了させた。 また、予期せぬ海底地盤の現状不一致の発覚に対しても、的確な施工法や工程を発注者へ提案し、課題の解決に努めた。そのような施工を進捗させようとする姿勢は高く評価できる。		

完成又は施工状況写真



<写真1 工事完成>



<写真2 中層混合処理工>

令和7年度 優良業務及び優秀技術者
局長表彰の概要及び表彰理由

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー1

ふりがな 会社名	さんようぎじゅつこんさるたんつかぶしがいいしゃ 三陽技術コンサルタンツ株式会社		
ふりがな 技術者名	にのみや あきみつ 二ノ宮 淳充	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくたかさきかせんこくどうかんないどうろだいちようさくせい(そのに)ぎょうむ R6高崎河川国道管内道路台帳作成(その2)業務		
履行期限	(自) 令和6年6月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由	本業務は、国道17号上武道路の4車線化工事完成に伴い、道路台帳を整備する業務である。 道路台帳作成にあたっては、地形測量が必要になってくるが、自社のドローンを活用したUAV測量を実施し、効率的かつ効果的に実施した。 UAV測量の3次元測量データについては、橋梁や木の影など、UAV測量のみではデータが取り切れない欠測部分が発生するが、的確な補備測量が実施されいた。また点群データは、車両等の必要の無いデータを消すなど手作業による修補が必要となるが、的確に修補されており、優良な成果品が納入された。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー2

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃえいてつく ひがしにほんししゃ 株式会社エイテック 東日本支社		
ふりがな 技術者名	きのした やすゆき 木下 康之	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななとうきょうこくどうじむしょかんないこうつうりょうちようさぎょうむ R7東京国道事務所管内交通量調査業務		
履行期限	(自) 令和7年4月24日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	東京国道事務所		
表彰理由	本業務は、道路の整備状況や交通状況など、道路計画を検討する際の基礎データとなる情勢を調査する「全国道路・街路交通情勢調査」に基づく調査であり、東京23区内における直轄国道及び都道の交通量調査、旅行速度調査及び道路状況調査を行い、その結果をとりまとめるものである。現地観測の実施にあたり、約290箇所の現地調査を丁寧に行うとともに、AI観測が適切に実施できることを確認するため、事前に試験観測等を行うことによって品質確保に務め、調査結果においては、データチェックおよびエラー確認等を確実に行うことにより精度の高い成果品を取りまとめた。また、多岐にわたる道路管理者や交通管理者との協議調整を積極的に実施することや工程管理を適切に行うことによって所定の期間内にて調査を実施するとともに、特に車両や歩行者が多い東京23区内の調査において、現地調査を踏まえた調査計画を立てて確実に実行することにより無事故・無苦情にて業務を完遂した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー3

ふりがな 会社名	こくさいこうぎょうかぶしきがいしゃ かながわしてん 国際航業株式会社 神奈川支店		
ふりがな 技術者名	とびた やすひろ 飛田 康宏	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくせいしょうかいがんとしんせんそくりようぎょうむ R6西湘海岸深淺測量業務		
履行期限	(自) 令和7年7月15日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	京浜河川事務所		
表彰理由	本業務は、西湘海岸(海域・陸域)の形状変化把握、土砂移動メカニズムの解明、および海岸保全施設整備の基礎資料収集を目的として、航空レーザ測深(ALB)とナローマルチビーム(NMB)を組み合わせた面的三次元地形測量を実施し、過年度成果である地形変化図及び変化土量の算出を行う業務である。 西湘海岸は、複雑な海底地形であることや高波浪、汀線際の碎波濁り等によりALBやNMB調査実施のタイミング見極めや計測に多くのノイズデータを含むことが懸念されたが、事前の綿密な作業計画及び適正な安全管理のもと、的確に業務を遂行された。さらに西湘海岸の流砂系を考慮した一体的データ作成の提案及びとりまとめを行うなど、技術者一体となって本事業及び業務内容を十分理解したうえで業務遂行し、迅速丁寧な対応と省力化・迅速化を図るためAIを活用しノイズ処理を行う取り組みを行うなど技術力は高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー4

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃかわこん 株式会社カワコン		
ふりがな 技術者名	たかはし ゆうと 高橋 優斗	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるななどうろうこうつうちょうさ(こうつうりょうちょうさそのいち)ぎょうむ R7道路交通調査(交通量調査その1)業務		
履行期限	(自) 令和7年5月15日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	横浜国道事務所		
表彰理由	交通量調査に当たっては、現地状況を十分に把握し、通行車両、通行人への安全対策を適切に実施し、事故トラブル等なく実施した。 また、関係機関との協議の結果、当初調査箇所から変更が生じたが、迅速に協議先との協議を整えたうえで、調査を実施し、発注者からの指示による速報値の報告も迅速に行われ、適切に本業務を完了させた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号—5

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃばすこ よこはましてん 株式会社パスコ 横浜支店		
ふりがな 技術者名	いしだ たく 石田 大功	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるななみやがせだむちよすいちそくりようぎようむ R7宮ヶ瀬ダム貯水池測量業務		
履行期限	(自) 令和7年11月5日 (至) 令和8年3月20日		
事務所名	相模川水系広域ダム管理事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、水中域の計測をスワス音響測深により実施するためダム貯水位に大きく影響を受ける。履行時期は例年貯水位が高いが、本業務においては少雨により急速な水位低下が発生するなかの作業となったが、スワス回転機能を有効に活用するなど、浅瀬部の地形取得を効率的に進めた。 また、本業務は測量結果からダム堆砂量を算出することを目的としているが、標高差分図や微地形表現図を作成して土砂移動の動向の可視化に努め、視覚的にわかりやすい成果の取りまとめを行った。 このように、本業務の目的を十分に理解し、高い技術力、企業の体制と創意工夫をもって業務を実施し優れた成果となっており、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号—6

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃばすこ ぐんましてん 株式会社パスコ 群馬支店		
ふりがな 技術者名	おりはら ゆうや 折原 雄也	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるななしきだむしよぶんじょうよていちちけいそくりようとうぎようむ R7品木ダム処分場予定地地形測量等業務		
履行期限	(自) 令和7年12月3日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	品木ダム水質管理所		
表彰理由	本測量業務の対象地域は冬季に積雪が生じるため、降雪後は地表面のレーザ計測が困難となる。このため、積雪前の限られた期間内に確実に計測を完了させる工程管理が重要であった。受注者は、UAVレーザ計測に先立ち、独自に空中写真撮影や現地踏査を早期に実施するなど、工程計画を工夫した。さらに、作業の安全性と精度管理を確保した上で、計測に必要な条件を整理し、適切な計画を立案した。また、基準点測量においては、上空視界等のGNSS測量時の精度への影響を確認するとともに、後続の用地測量や工事施工を見据えた基準点位置の選定、並びに道路除雪作業等を考慮した基準点の埋設方法を採用した。計測の実施に当たっては、気象状況を日々確認し、最適な計測日を判断の上で作業を実施するなど、高度な知識と技術力により円滑に業務を遂行した。その結果、厳しい気象条件および制約のある工期の中においても、業務を工期内に確実に完了させた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー7

ふりがな 会社名	にちわえんじにありんぐかぶしがいいしゃ 日和エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	さいとう けんたろう 齋藤 健太郎	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あんぜんえいせいそうごうかいかん・じょせいしゅうぎょうしえんせんたー(にじゅうよん)けんちくせつびかいしゅうせつけいぎょうむ 安全衛生総合会館・女性就業支援C(24)建築設備改修設計業務		
履行期限	(自) 令和6年9月20日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	営繕部		
表彰理由	本業務は、安全衛生総合会館・女性就業支援センターの機械設備に係る改修設計を行うもので、各施設ともに施設を使用しながら工事を行うなど、施工条件を踏まえた設計とする必要があった。 特に、地下階に設置されている大型熱源機器等は、更新時に搬入寸法や搬入質量に制約があるために、詳細な機器搬出入計画などの仮設計画において、高い技術力を必要とするものであった。 本設計者は空気調和設備の高い知見を有しており、改修計画を詳細に検討し、かつ施設利用者に影響のない優れた設計を責任感を持って実施した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー8

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃまつだひらたせつけい 株式会社松田平田設計		
ふりがな 技術者名	わたなべ かずたか 渡邊 一隆	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	よこはまほうむそうごうちょうしゃ(にじゅうに)せつけいぎょうむ 横浜法務総合庁舎外(22)設計業務		
履行期限	(自) 令和4年12月27日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	営繕部		
表彰理由	本業務は、横浜法務総合庁舎の建て替え整備の設計を行うものである。計画地は狭隘ながらも都市景観協議地区に位置し、神奈川県庁や開港記念館に隣接した横浜市内でも特に景観配慮が求められる地域であり、関係機関との慎重な景観協議が必要であった。 本業務の設計者は、景観協議においてBIMモデルから作成したパースに加え、街並みや歴史的建造物との調和を確認するため、敷地周辺の点群データを収集し、BIMモデルと合成したウォークスルー動画を用いて説明することで、景観協議期間の大幅短縮を実現した。また、制約のある敷地における機能的な建築計画を提案し、入居官署の要望へもきめ細かに対応した。さらに、発注者及び入居官署への説明用VRを作成し、建物の重要動線(エントランス、一般来庁者動線、業務専用動線等)の完成後の空間イメージを視覚的に共有することで、円滑な合意形成に寄与した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－9

ふりがな 会社名	えあろとよたかぶしきかいしゃ エアロトヨタ株式会社		
ふりがな 技術者名	いいの かつひろ 飯野 勝博	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくさいたまこういきぼうさいきょてんおくじょうへりぽーとかいしゅうけんとうぎょうむ R6さいたま広域防災拠点屋上ヘリポート改修検討業務		
履行期限	(自) 令和7年11月15日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	防災室・災害対策マネジメント室		
表彰理由	本業務では広域防災拠点のヘリポート改修検討を行うにあたり、航空法、建築基準法、消防法等多くの知識が必要とされ、防災対応に極力影響を与えない改修工程の検討、各種申請手続きについて取りまとめている。 都市部における地上高100m以上に位置して鉄道に近接する屋上ヘリポートの特性を十分理解して安全対策を満足する仮設検討、工期短縮を意識した工程計画、ライフサイクルコストを十分意識した改修工法など、課題を的確に整理して成果を取りまとめている。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－10

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃかたひらにつぼんぎけん とうきょうほんてん 株式会社片平新日本技研 東京本店		
ふりがな 技術者名	まえむら おさむ 前村 治	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななじゅうたくすつくのてきせつなかんりとうのかくほにむけたちょうさぎょうむ R7住宅ストックの適切な管理等の確保に向けた調査業務		
履行期限	(自) 令和7年6月24日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	建政部		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、確実な履行に向けた業務実施体制が十分に確保されるとともに、管理技術者の豊富な経験と知見を活かした積極的な提案により、業務は確実かつ効率的に進められ、良好な進捗管理が行われた。住宅ストックが過去最大となる中、その将来にわたる適切な維持管理の確保が重要な課題となっており、本業務はこうした社会的課題を的確に踏まえ、高い専門知識と豊富な経験を有する技術者により着実に遂行された。自治体へのアンケート調査等を通じて、空き家対策における財産管理制度や公的賃貸住宅でのPFI事業の活用状況と課題を的確に把握し、今後の制度活用に向けた問題点の整理及び解決策の抽出が行われた。さらに、マンション管理に関し重点的に対策を講じるべき地域の分析を行うなど、住宅ストックの類型ごとに適切な管理を確保するための制度活用促進に効果の高い資料が取りまとめられた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－11

ふりがな 会社名	かぶしがいいしやにつすいこん とうきょうししよ 株式会社日水コン 東京支所		
ふりがな 技術者名	はねだ のりゆき 羽田 紀行	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくじがわかどうせいびほうさくほかけんとうぎようむ R6久慈川河道整備方策他検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月17日 (至) 令和8年3月26日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由	河川整備基本方針の検討については、既存施設の有効活用、自然遊水地の貯留・遊水機能の確保を幅広く整備メニューとして検討し、効果検証を行い河道と洪水調節施設の最適案を作成し計画高水流量を設定した。また、河川環境、河川利用、総合土砂管理、流域治水の推進等を整理し、維持流量、正常流量の検討を実施した。 業務遂行には高度な技術を要するとともに多岐にわたる検討項目に対し、企業の技術力とマネジメント力を発揮し、調査職員の指示等に対しても積極的かつ迅速に対応するなど、円滑で的確な業務遂行が行われ、優良な成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－12

ふりがな 会社名	あーるろくじがわ・なかがわ かんきようせいびじぎょうとうけんとうぎようむ りばーふろんとけんきゅうじょ・につすいこんせつけいぎょうどうたい R6久慈川・那珂川環境整備事業等検討業務リバーフロント研究所・日水コン設計共同体		
ふりがな 技術者名	かざま さとし 風間 聡	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくじがわ・なかがわかんきようせいびじぎょうとうけんとうぎようむ R6久慈川・那珂川環境整備事業等検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月24日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由	河川整備基本方針の環境に関する検討として、各区間の目指すべき河川環境の保全・創出目標とする環境要因、指標種の候補、保全・創出メニューを検討し、地盤高等と環境要因の形成条件を検討した。また、那珂川の塩水遡上検討では、塩水遡上解析モデルにて近年渇水時の塩水遡上状況の再現性を確認し、同モデルを用いて河川整備計画及び河川整備基本方針における河道掘削による塩水遡上の変化予測・計算分析を実施した。 業務遂行には高度な技術を要するとともに多岐にわたる検討項目に対し、企業の技術力とマネジメント力を発揮し、調査職員の指示等に対しても積極的かつ迅速に対応するなど、円滑で的確な業務遂行が行われ、優良な成果をとりまとめた。		

優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－13

ふりがな 会社名	いであかぶしがいいしゃ いであ株式会社		
ふりがな 技術者名	たきぐち ひろき 滝口 大樹	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくなかがわかどうせいびほうさくほかけんとうぎょうむ R6那珂川河道整備方策他検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月19日 (至) 令和8年3月25日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由	気候変動を踏まえた河川整備基本方針の変更では、新たに構築した流出解析モデルを用い遊水地は可動堰(転倒堰)を考慮した配置の最適化を行い基本高水流量を設定し、断面形状や洪水調節施設の検討を踏まえコストカーブ評価により計画高水流量を設定した。また、導流堤撤去影響検討、涸沼川治水対策検討、緊急治水対策プロジェクト施設効果検討などを実施した。 業務遂行には高度な技術を要するとともに多岐にわたる検討項目に対し、企業の技術力とマネジメント力を発揮し、調査職員の指示等に対しても積極的かつ迅速に対応するなど、円滑で的確な業務遂行が行われ、優良な成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－14

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃ ちょうだい つくばしてん 株式会社長大 つくば支店		
ふりがな 技術者名	のじりとしひろ 野尻 敏弘	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくひたちかせんこくどうかんないこうつつあんぜんけんとうほかぎょうむ R6常陸河川国道管内交通安全検討他業務		
履行期限	(自) 令和6年5月24日 (至) 令和7年9月30日		
事務所名	常陸河川国道事務所		
表彰理由	本業務は、常陸河川国道事務所管内の事故データに基づき、事故多発区間の抽出から要因分析、対策立案、効果検証までを一貫して実施した。対策実施箇所においては、ETC2.0やAIによる危険挙動分析、利用者アンケート等の多角的な分析により、実効性の高い対策を導出した点が優れている。また、ゾーン30プラスの検証を通じて生活道路の安全性向上に大きく貢献した。これらの成果は、事故ゼロプラン推進に資するとともに、継続的な事故対策マネジメントの仕組みを構築した点も高く評価できる。 管理技術者は、豊富な知見と組織力により突発的事象にも的確に対応し、優れた成果を挙げ調査推進に大きく貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－15

ふりがな 会社名	あーろくきぬがわ・こかいがわかせんかんりしせつかんりけんとうぎょうむかせんざいだん・けんせつぎじゅつけんきゅうじよせつけいきょうどうたい R6鬼怒川・小貝川河川管理施設監理検討業務河川財団・建設技術研究所設計共同体		
ふりがな 技術者名	やつき ひろと 八木 裕人	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーろくきぬがわ・こかいがわかせんかんりしせつかんりけんとうぎょうむ R6鬼怒川・小貝川河川管理施設監理検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月18日 (至) 令和7年5月30日		
事務所名	下館河川事務所		
表彰理由	本業務の三次元計測技術を用いた堤防除草の試行とマニュアルの作成において、作成した計画書を基に三次元展開図の作成方法、除草面積の出来高算出方法、試行における課題、課題に対する対応策、技術的工夫等を幅広く検討し積極的な取り組みが見られた。その他、事務所内の堤防点検のスケジュールを考慮した業務推進の調整や、突発的な多種多様な業務を並行して精力的に行い、河川管理業務の遂行に寄与した。 管理技術者は、専門的な知識や技術力をもって堤防除草等の河川管理への三次元計測や図面等の技術適用を積極的に行い、その成果は高く評価出来るものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－16

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじよ とうぎょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	やました かずとも 山下 千智	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななきぬがわ・こかいがわりゅうきょうかいせきけんとうぎょうむ R7鬼怒川・小貝川流況解析検討業務		
履行期限	(自) 令和7年5月9日 (至) 令和8年3月23日		
事務所名	下館河川事務所		
表彰理由	気候変動を踏まえた利根川水系河川整備基本方針に基づく鬼怒川河川整備計画変更において、河川特性をふまえた整備項目の検討に対して一連でトライアル計算可能なモデルを構築するなど迅速に対応出来るよう工夫した。また、関係機関との調整にむけた資料作成だけでなく、委員会開催中の時間が限られた中においても迅速に適切な資料作成が出来るよう積極的に社内体制の確保し、円滑な業務遂行がなされた。 管理技術者は、専門的な知識や技術力をもって上記の一連計算可能なモデル構築による迅速化や関係機関や対外説明用のパンフレット(案)等わかりやすい資料作成しその成果は高く評価出来るものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－17

ふりがな 会社名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	たけむら ひとし 竹村 仁志	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくかすみがうらぼうさいかんけいけんとうぎょうむ R6霞ヶ浦水防災関係検討業務		
履行期限	(自) 令和6年7月12日 (至) 令和7年8月22日		
事務所名	霞ヶ浦河川事務所		
表彰理由	本業務では、住民の防災意識を定量的に評価・把握し、沿川住民の防災力向上に必要な具体的取組みを特定した。特に防災への関心が低い住民に対して「気づき」を促すツールを作成するとともに、生成AI動画を活用することで地域が自律的に講習会を継続できる仕組みを構築し、効果的・効率的な防災力向上活動に貢献した。堤防決壊時の緊急対策検討においては、浸水が長期に及ぶ霞ヶ浦特有の現象を踏まえた的確な対策を立案し、発注者の今後の災害対応を見据えた提案も行った。また、これまでの緊急対策検討を体系的・視覚的に整理し、道路交通状況や空間監視、樋管・樋門の操作状況など実災害時に必要な情報を一元化した「復旧活動支援ツール」をPC環境に依存しない汎用性の高い仕組みで構築し、災害対応力の向上に大きく貢献した。指示事項についても速やかかつ的確に履行され、業務目的に対する成果および取り組み姿勢は総じて高く評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－18

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	ふるの たかし 古野 貴史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくじがわきんきゅうちすいたいさくちくていとうしゅうせいせつけい(そのいち)ぎょうむ R6久慈川緊急治水対策築堤等修正設計(その1)業務		
履行期限	(自) 令和7年5月17日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	久慈川緊急治水対策河川事務所		
表彰理由	本業務は、久慈川にて堤防護岸及び樋管の修正設計を行ったものであるが、堅磐町地区の築堤修正設計については、家屋隣接箇所における軟弱地盤解析や、堤防線形の見直しに伴う修正設計等について、また上大賀地区・高渡町地区にあたっては、周辺施設の移設設計について、迅速かつ的確にとりまとめを実施した。また小貫地区の樋管修正設計では、用地取得困難地干渉に伴う修正設計を実施したが、工事実施に伴う設計成果の早期引渡しを求められる中、適切に業務体制を確保し、迅速に業務を遂行したことで、事業推進に多大な貢献がなされた。 以上のことから、業務全体を通して、責任感をもって迅速に業務を遂行し、その成果は高く評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－19

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	わたなべ たかし 渡邊 敬史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろく・あーるななかすみがうらどうすいもにたりんぐちようさぎようむ R6・R7霞ヶ浦導水モニタリング調査業務		
履行期限	(自) 令和6年10月5日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	霞ヶ浦導水工事事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的と内容を十分に理解し点在した調査箇所かつ多岐にわたる調査内容において、夜間の調査もある中で安全に配慮し、高度な技術力と調整力を発揮し円滑かつ的確に調査を進めた。また、調査結果をわかりやすく整理しており品質の高い優れた業務成果であった。 仔アユの降下盛期の把握検討では、河川水温等から予測した降下生態を基に採水日を設定し、アユの環境DNA濃度分析結果から仔アユの降下数の増減傾向を把握するなど、採捕によらない降下盛期の推定や過年度データ等による検証を行い慎重かつ丁寧なデータ収集・分析に努めている。 また、今後の調査計画の効率化も検討し、環境DNA研究の実績がある研究機関にヒアリングを行い検討結果の妥当性を確認するなど品質向上を図る上で特に優れたものであり高く評価できることから、他の業務の模範となるべき業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－20

ふりがな 会社名	とうきょうこんさるたんつかぶしきがいしゃ 東京コンサルタンツ株式会社		
ふりがな 技術者名	いけぶち みのる 池淵 稔	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななけんおうどうこうざきたいえいかんどうろしゅうせいせつけいほかななけーななぎようむ R7圏央道神崎大栄間道路修正設計他7K7業務		
履行期限	(自) 令和7年7月16日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	常総国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたり、現地精査等に伴う追加設計において、厳しい工程条件下のもと、課題を的確に整理し、発注者(設計及び工事担当)との調整、関係機関との協議資料作成等を迅速かつ適切に行い、円滑な業務推進に努めた。 また、電話、メール、WEB会議等を活用した的確な意思疎通と、分かりやすい資料作成により合意形成を円滑に進めるとともに、工程全体を考慮した調整を行い、業務遅延を生じさせることなく確実に業務を完了させた。 さらに、十分な照査および基準書の的確な活用により、現地作業を最小限に抑え、安定した事業推進に大きく貢献した。 以上の理由により、本業務の遂行状況は他の模範となるものであり、優良業務及び優良技術者として推薦するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－21

ふりがな 会社名	みついきょうどうけんせつこんさるたんとかぶしきがいしゃ 三井共同建設コンサルタント株式会社		
ふりがな 技術者名	いおろい かずふみ 五百蔵 一史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななわたらせがわかんないていぼうせつけいぎょうむ R7渡良瀬川管内堤防設計業務		
履行期限	(自) 令和7年6月25日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、追加業務による業務計画の見直しの中、発注者との設計条件の綿密な打合せを実施し、打合せにおける協議指摘事項に対しても、着実に設計成果へと反映して手戻りが発生しないように努め、業務のマネジメント管理に大きく評価できるものがあった。 また、設計課題に対して、検討案を積極的に提示をするなど、成果品の向上に対する真摯な姿勢が見られた。 もって、本業務に対する積極的な取り組みと、業務量の追加に対して迅速に対応し、技術力と業務遂行能力を遺憾なく発揮し的確に業務を進め、特に優れた成果を納めたものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－22

ふりがな 会社名	さぼうえんじにありんぐかぶしきがいしゃ 砂防エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	おさき じゅんいち 尾崎 順一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくにつこうさぼうかんないこびやくちくほかさぼうしせつせつけいぎょうむ R6日光砂防管内小百地区外砂防施設設計業務		
履行期限	(自) 令和7年6月4日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	日光砂防事務所		
表彰理由	本業務では、日光砂防事務所管内の土砂生産及び流出による土砂災害を防止するため、砂防堰堤予備設計、道路概略設計、道路詳細設計、一般構造物予備・詳細設計、施設配置計画を行った。現場は、急峻かつ河川流量が大きく施工条件が厳しいため、砂防堰堤予備設計の配置設計検討においては、発注者が提示した範囲を超え数kmにわたって地形を把握し調査を行った。現場条件を鑑み、所定の効果量を確保しつつ、施工アクセスの優位性も踏まえて複数の施設位置を提示した。また、施設位置の妥当性を確認するため、工事用道路概略設計を併せて実施するなど、仮設及び施工計画検討の視点を業務序盤から関連付けることで、実現性の高い砂防施設設計を行った。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－23

ふりがな 会社名	ばしふいつくこんさるたんつかぶしきがいしゃ しゅとけんほんしゃ パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社		
ふりがな 技術者名	さわだ えつし 澤田 悦史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななにつこうさぼうだいきぼどしやさいがいこういきれんけいたいせいけんとうぎょうむ R7日光砂防大規模土砂災害広域連携体制検討業務		
履行期限	(自) 令和7年8月20日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	日光砂防事務所		
表彰理由	本業務は、広域的かつ大規模な土砂災害を想定し、他機関の支援と連携した複合的体制下において、事務所が効果的な災害対応を行うための計画を検討した。検討に当たり基礎資料収集に加え、近年の災害対応実務の経験知として、平成27年9月関東東北豪雨及び令和6年能登半島地震にて応援派遣の実務に当たった職員50名以上(他地整、退職者を含む)から幅広い意見を収集、課題及び対応策を整理し、「日光砂防事務所受援計画(案)」として災害時の体制と平時から準備すべき事項をまとめた。また、計画(案)各項目の目標に対し、事務所の現状体制を点数化した「評価レポート」を作成、体制の充実に向けて今後進めていくべき整備の方向性を取りまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－24

ふりがな 会社名	ちゅうおうふっけんこんさるたんつかぶしきがいしゃ とうきょうほんしゃ 中央復建コンサルタンツ株式会社 東京本社		
ふりがな 技術者名	たけばやし まさはる 竹林 正晴	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくこくどうひやくにじゅういちごうにつこうかわじぼうさいとんねるしょうさいせつけいほかぎょうむ R6国道121号日光川治防災トンネル詳細設計他業務		
履行期限	(自) 令和6年9月25日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
表彰理由	本業務は、国道121号日光川治防災事業において近接する既設トンネルへの影響、湧水によるダム水位への影響、大規模崩壊地への影響といった技術的課題があるトンネルの詳細設計を行う業務である。 また、トンネルに関する学識者等の専門家からなる「トンネル技術検討委員会」を設置し、上記課題の検討を行い、その審議結果をトンネル設計に反映することも必要となる業務であった。 技術的課題の検討にあたり、通常の補助工法で対応することだけではなく、委員会での審議を参考に、トンネル線形を見直すことを含めて、影響低減・課題解消が可能となる提案がなされた。 このように高い技術力、経験及び知識をもって業務遂行しており、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー25

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃかたひらしんにつぼんぎけん とうきょうほんてん 株式会社片平新日本技研 東京本店		
ふりがな 技術者名	たかはし やすし 高橋 靖司	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろく・ななうつのみやこくどうかんないきようりょうてんけんぎょうむ R6・7宇都宮国道管内橋梁点検業務		
履行期限	(自) 令和6年5月14日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解した上で、道路橋の定期点検及び第三者被害予防措置を効率よく実施するとともに、調査職員の指示等に対しても積極的、かつ迅速に対応するなど、円滑で的確に業務を遂行した。 特に、歩道橋への一般車両接触事故が発生した際においては、速やかに体制を整えて現地調査を実施し歩道橋の安全性を確認したうえで、歩行者の通行に支障が無いことを報告するなど、迅速かつ的確な対応により、通行止めに伴う道路利用者への不便を最小限とすることができた。 このように、業務への取り組み姿勢と技術力は特に評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号ー26

ふりがな 会社名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	むらの ゆうたろう 村野 祐太郎	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくけんないどうろけいかくけんとうぎょうむ R6県内道路計画検討業務		
履行期限	(自) 令和6年6月11日 (至) 令和7年5月30日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由	群馬県が進める「前橋クリエイティブシティ県庁～前橋駅都市空間デザイン 国際コンペ」と連携し、本町二丁目五差路交差点改良計画の具体化に向けて、平面对策の効果検討の整理等を実施するとともに、交通量推計やマイクロシミュレーションを実施し、今後の地元や関係機関協議等で活用できる資料を作成した。また国道18号安中松井田地域や管内道路事業の検討において、旅行速度やBN指数、マイクロシミュレーション等により地域の課題を抽出し、課題の解決方法について資料を作成した。さらに、十石道路勉強会資料作成においては、地形・地質の観点から資料を作成した。その他の資料においてもわかりやすくまとめられており、高く評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－27

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃとうきょうけんせつこんさるたんと とうきょうほんしゃ 株式会社東京建設コンサルタント 東京本社		
ふりがな 技術者名	はやし なおや 林 直也	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななたかさきかないみずべげんちちようさ(ていせいどうぶつ)ぎようむ R7高崎管内水辺現地調査(底生動物)業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	高崎河川国道事務所		
表彰理由	本業務は、5年に1回実施している底生動物調査を実施するもので、調査実施前及び実施後のアドバイザーへのヒアリングが必須となっており、過年度の調査結果や当該年度の調査計画及び調査実施結果について、調査の留意点などアドバイザーの助言を受け、適切に調査を実施した。また、調査結果を踏まえ、自主的に追加調査を実施し調査精度の向上に努めた。 更に、来年度から始まる今後10年間の「河川水辺の国勢調査の全体調査計画」立案においても、関係する事務所職員及び受注者間の調整などを行うと共に、有識者アドバイザーからの信頼を得るなど、要望等に対しても丁寧かつ迅速な対応をしていた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－28

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしきがいしゃ きたかんとうじむしょ 日本工営株式会社 北関東事務所		
ふりがな 技術者名	おかべ たかゆき 岡部 貴之	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくいなといちようせつちせいびすいしんほうさくけんとうぎようむ R6稲戸井調節池整備推進方策検討業務		
履行期限	(自) 令和6年7月9日 (至) 令和7年6月27日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由	稲戸井調節地における地下水位検討のため、井戸調査を行った。井戸調査に当たっては、地元市と調整を行い、井戸所有者把握を行い調査を実施した。 各戸の井戸調査にあたっては、該当範囲に井戸の所有有無の手紙を作成しつつ、現地調査前に所有者と丁寧な調整を行い、トラブルなく井戸の把握ができ、稲戸井調節地事業実施のための基礎的なデータが取得できた。 関係者への丁寧な対応等を行い苦情もなく工期内に業務を完了させたことは高く評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－29

ふりがな 会社名	ちゅうおうこんさるたんつかぶしきがいいしや とうきょうしてん 中央コンサルタンツ株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	のがわ ひろき 野川 浩生	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくしゅとけんはんらんくいきていぼうきょうかたいさくけんとうぎょうむ R6首都圏氾濫区域堤防強化対策検討業務		
履行期限	(自) 令和6年5月9日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由	I 期区間では五霞地区の樋管箇所における堤防高確保対策検討及び栗橋地区の仮施設の復旧検討を行い、関係機関への円滑な調整に資することが出来た。また、II 期区間の羽生・行田地区では、計画堤防断面に対する裏法面勾配の統一化の検討を行い、ICT施工を見据えた計画の取りまとめを行う事が出来た。 堤防強化対策の安全性評価の検討では、I 期区間の代表4断面において、学識経験者の意見を踏まえた堤防安全性評価を実施し、基準を満足する結果を取りまとめることが出来た。 当該業務は、検討対象範囲が広域に点在しており、検討内容也多岐にわたるが、各担当技術者を適切に配置し、計画的な工程管理を行う事により、優良な業務履行がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－30

ふりがな 会社名	かぶしきがいいしやけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしや 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	くろだ なおき 黒田 直樹	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるなとながわじょうりゅうかんないちすいたいさくけんとうぎょうむ R7利根川上流管内治水対策検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月25日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	利根川上流河川事務所		
表彰理由	利根川水系における治水機能増強検討において高度な計算かつ計算条件が多岐にわたる水理計算を短時間で正確に実施した。 水理計算における条件設定にあたり、調査職員への提案を行うなど、積極的・効率的に業務を進めていた。 本業務の履行にあたっては、業務の目的と内容を十分に理解しており、多岐にわたる検討内容において、高度な技術力と調整力を発揮し、円滑かつ的確に進め、業務成果のとりまとめについても、わかりやすく整理されており、品質の高い優れた成果であった。 また、管理技術者の黒田氏においては、業務遂行体制の確保など業務を進めるうえで優れたマネジメント能力を有している。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－31

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	すか りゅうたろう 須賀 龍太郎	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくあらかわじょうりゅうすいりかいせきけんとうぎょうむ R6荒川上流水理解析検討業務		
履行期限	(自) 令和6年5月9日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
表彰理由	荒川水系における気候変動を踏まえた新たな治水計画の検討においては、あらゆる河道・洪水調節施設の整備メニューを抽出し比較検討する必要があったが、実現性の高い複数の対策案を提案した上で比較検討を行い、検討結果を適切にとりまとめた。更に、当面の整備内容の検討においては、荒川における課題とその解決策を積極的に提案し、洪水調節施設の配置案をとりまとめた。また、複数の追加検討項目についても、目的を十分理解し、作業期間を確認しながら、迅速に的確な手法で検討を進めた。以上のことから、多岐に渡る検討項目を適切な執行管理のもと、業務成果としてとりまとめたことは特に評価ができる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－32

ふりがな 会社名	せんとらこんさるたんとかぶしがいいしゃ きたかんとうえいぎょうしょ セントラルコンサルタント株式会社 北関東営業所		
ふりがな 技術者名	たかはし あきら 高橋 晃	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくあらかわだいに・さんちょうせつちしきりていほかしょうさいせつけいぎょうむ R6荒川第二・三調節池仕切堤他詳細設計業務		
履行期限	(自) 令和6年12月3日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	荒川調節池工事事務所		
表彰理由	本業務では、既往の設計成果に基づき、仕切堤、囲繞堤、樋管等の設計及びJR川越線架替に伴う暫定対策の検討、並びに関連する付帯施設の設計等を実施した。特に、仕切堤や囲繞堤の設計では、多くの関係機関と設計調整が必要とされる中、近接するJR川越線への影響確認を行った上で複数の工法を立案し、比較検討を経て最適な工法、構造及び施工計画を決定した。また、関係機関との設計協議に向け、CIMデータを活用するなど分かりやすく説明資料をとりまとめた。多岐にわたる設計と対外調整を適切な執行管理のもと、発注者からの指示や修正対応について迅速かつ的確な対応は、特に評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－33

ふりがな 会社名	いっばんしゃだんほうじんかんとうちいきづくりきょうかい 一般社団法人関東地域づくり協会		
ふりがな 技術者名	みやざき かずゆき 宮崎 和幸	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくいるまがわりゆういききんきゅうすいたいさくぶろじえくとじぎょうかんりとうぎょうむ R6入間川流域緊急治水対策プロジェクト事業監理等業務		
履行期限	(自) 令和7年3月26日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	荒川上流河川事務所		
表彰理由	令和7年度が最終年度となる入間川流域緊急治水対策プロジェクトの事業促進を図るため、毎月実施している事業調整会議では、各地区における事業推進上の課題に対し、これまで培った豊富な知識と経験を基に解決策を積極的に提案し、スピード感をもって業務を実施した。また、プロジェクト完了後の維持・管理を見据えて、管理や占用手続きの状況、今後のスケジュールを分かりやすく一覧で整理し共有することで、関係機関調整等の見える化を図った。 以上のことから、難易度の高い業務に対して高い技術力をもって迅速に業務を遂行し、プロジェクト推進に多大な貢献がなされたことは極めて高く評価ができる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－34

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃえいとにほんぎじゅつかいはつ どうきょうししゃ 株式会社エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな 技術者名	なかの まさき 中野 雅規	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろく こくどうじゅうななごう さいたまけん ほくぶちいき どうろけいかくけんとうぎょうむ R6国道17号埼玉県北部地域道路計画検討業務		
履行期限	(自) 令和6年10月18日 (至) 令和7年7月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
表彰理由	本業務は、国道17号(深谷バイパス・熊谷渋川連絡道路)の地域特性、交通特性を踏まえ、ETC2.0プローブデータ等による現状課題の要因分析を行うとともに、当面の短期的な渋滞対策案と中長期的な対策案を段階的に計画立案したものである。計画立案にあたっては、交通シミュレーションを実施し効果を可視化し、現行道路ネットワークの状況から効果的なステップ検討を実施するなど、実効性のある検討を行った。また、WISENET2050の実現に向けた局所渋滞対策の取組の一環として、最新の知見を用い広域的な視点から埼玉県内における今後の優先整備の考え方の指標となる検討を実施し、事務所の事業推進に大きな貢献が認められた。以上から、本業務の成果は高く評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－35

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃかたひらしんにつぼんぎけん とうきようほんてん 株式会社片平新日本技研 東京本店		
ふりがな 技術者名	たかはし やすし 高橋 靖司	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななおみやこくどうかんないこうぞうぶつてんけんほしゅうとうせつけいぎようむ R7大宮国道管内構造物点検・補修等設計業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	大宮国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたり、業務の目的及び内容を十分理解し、横断歩道橋の点検に対し、有用な提案を行うなど、取組の積極性・責任感に対して特に評価できるものであった。 急遽必要となった道路陥没リスク箇所の地下埋設物107箇所の現地調査を、短期間にまとめるなど、迅速に対応した。 また、前例の少ない腐食したコルゲート管の補修設計などの、多岐にわたる設計項目に対し、業務内容を効率よく実施し、調査職員の指示等に対しても積極的、かつ迅速に対応するなど、円滑で的確な業務遂行が行われ、優良な成果をとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－36

ふりがな 会社名	だいにつぼんだいやこんさるたんとかぶしきかいしゃ かんとうししゃ 大日本ダイヤコンサルタント株式会社 関東支社		
ふりがな 技術者名	しのはら てるゆき 篠原 輝之	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくこくどうよんごうひがしさいたまどうろきょうりょうしょうさいせつけい(そのいち)ぎようむ R6国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その1)業務		
履行期限	(自) 令和6年8月9日 (至) 令和7年12月15日		
事務所名	北首都国道事務所		
表彰理由	東埼玉道路は一般部は開通済み及び施工中の区間があるとともに、専用部は全線高架区間となり、現在橋梁毎に詳細設計を進めている状況である。 本業務では施工性、経済性、維持管理、走行性及び環境面等について総合的な検討を加え、橋梁上・下部工工事に必要な設計及び、修正設計を行った。 業務履行にあたり、進行中の業務とも調整を図り、的確な条件整理を行った。加えて、大規模交差点の近接等の煩雑な地理的制約条件に伴う困難な課題に対し、高い技術力を発揮して解決策を検討した。 上記のほか、業務の目的・内容を把握し、調査職員の指示の内容にも臨機応変に対応して積極的に提案を行うなど、業務に対する取り組む姿勢は高く評価できるものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－37

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃけんせつじゅつけんきゅうじょ とうきょうしてん 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	しいがい たつや 椎貝 達也	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるなけんおうどう(さいたま・いばらき)じぎょうかんりぎょうむ R7圏央道(埼玉・茨城)事業監理業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	北首都国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、国道468号圏央道整備の関係機関との協議調整などを適切・的確に行い、事業監理業務を実施した。 特に当事務所の圏央道の4車線化整備は完成に近づき圏央道周辺の機能補償道路の整備や圏央道の建設施工に必要であった借地の返還が主になってきていることから、圏央道本線の将来管理者へ引継ぎ等はもちろんのこと機能補償道路の管理者となる県・市町等の関係自治体、また周辺の土地改良区・近隣地権者等との協議など、業務量が多岐に渡る調整項目に関して、調査職員と一体となった効率的な事業マネジメントの実施が行われた。 以上、業務の目的と内容を十分理解・把握したうえで、高度な技術力とマネジメント力を発揮し、円滑で正確な業務遂行により業務の推進に多大な貢献がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－38

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしきがいしゃ とうきょうししゃ 日本工営株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	おおたき さとし 大瀧 諭	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくえどがわかりゅうぶていぼうもりどけんとうせつけいぎょうむ R6江戸川下流部堤防盛土検討設計業務		
履行期限	(自) 令和6年11月29日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	江戸川河川事務所		
表彰理由	本業務は高規格堤防の工事实施に向けた施工手順の検討や盛土設計等を行うものである。当該業務対象の篠崎公園地区においては複数事業の共同事業のため、円滑に事業を進捗させるためには関係機関と密に協議調整を行い各事業の課題解決を図りながら全体工程に影響がないよう的確な施工手順の検討のもと迅速に設計を進める必要があった。 受注者の日本工営株式会社においては、優れた技術力と豊富な経験に基づき、コスト縮減、工期短縮のほか周辺環境や安全性の観点も踏まえ、迅速かつ的確に設計業務を遂行した。事業の合意形成を図り円滑化に貢献したことは他の模範となるものであり極めて高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－39

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	ふるの たかし 古野 貴史	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくえどがわすいこうもんかいちくおよびしゅうへんせいびけんとうぎょうむ R6江戸川水閘門改築及び周辺整備検討業務		
履行期限	(自) 令和6年8月10日 (至) 令和7年9月30日		
事務所名	江戸川河川事務所		
表彰理由	本業務は関東地方整備局河川事業では初の技術提案・交渉方式(ECI方式)であり、限られた期間の中で、優先交渉権者の技術提案内容の確認及び評価を行う必要があった。 特にI期工事で実施する鋼管矢板による仮締め切りについては施工ヤードが軟弱地盤であるほか、仮設構造が複雑になることが想定され、これらの厳しい現場条件を踏まえ詳細設計を進めていく必要があったが、優先交渉権者から出された施工計画の検討や工法についての提案に対し、設計者として社内の体制を確保した上で、高度な技術力をもって確認及び評価を行い、詳細設計の対応を行った。短期間に複数回にわたる協議を行うため、調査職員と綿密な連携を図り円滑に業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－40

ふりがな 会社名	ばしふいつくこんさるたんつかぶしがいいしゃ しゅとけんほんしゃ パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社		
ふりがな 技術者名	むらまつ かずや 村松 和也	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるご・あーるろくさわらこういきこうりゅうきよてんかんみんれんけいしさくけんとうしえんぎょうむ R5・R6佐原広域交流拠点官民連携施策検討・支援業務		
履行期限	(自) 令和5年4月15日 (至) 令和8年1月30日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
表彰理由	佐原広域交流拠点は防災ステーション、川の駅や道の駅など複数の機能を持ち合わせた施設であり、維持管理にあたっては共同管理者との調整が重要になる。維持管理計画の検討にあたっては既存施設を熟知したうえで共同管理者から意見聴取、調整を自主的に行うとともに課題及び役割分担の整理を行い、今後の維持管理計画案の提案を行った。		

優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－41

ふりがな 会社名	いであかぶしがいいしゃ いであ株式会社		
ふりがな 技術者名	おかむら せいじ 岡村 誠司	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくとねがわかりゆうぶかどうくつきけんとうぎようむ R6利根川下流部河道掘削検討業務		
履行期限	(自) 令和6年6月25日 (至) 令和7年8月29日		
事務所名	利根川下流河川事務所		
表彰理由	本業務において、利根川下流部の治水安全度向上を図るため、現状の把握及び課題の整理にあたり、既往資料の収集・整理を行うとともに、関係機関へのヒアリングを主体的に実施した。これにより、現状の問題点、関係機関ごとの役割や調整事項を明確化し、今後の方向性を整理した。これらの成果は、今後の検討に役立つ有用なとりまとめであった。 以上の理由により、主体的に業務に取り組み、業務目的を十分に満足する成果をあげたことは高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－42

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃきんだいせつけい 株式会社近代設計		
ふりがな 技術者名	ひぐらしこうへい 日暮 浩平	職種	担当技術者
ふりがな 業務名	あーるろくきたちばどうろ(いちかわ・まつど)でんせんきょうどうこうよびせつけいぎようむ R6北千葉道路(市川・松戸)電線共同溝予備設計業務		
履行期限	(自) 令和7年3月26日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	首都国道事務所		
表彰理由	本業務は、北千葉道路(市川・松戸)の無電柱化の検討において、既存の電線等の機能維持や支障移設について関係機関と調整を行い、電線共同溝の構造形式の検討及び設計を行うものである。 本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、関係機関との調整を円滑に進めるため、無電柱化の調整を計画的かつ積極的に複数回実施し、調整結果をもとに基本計画を作成した。 また、電線共同溝の構造検討については、維持管理や経済性等を整理し、合理的な構造形式を提案するなど、業務に積極的に取り組み、専門的な知識と迅速な調整力を発揮した優れた履行がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－43

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしがいいしゃ ちばじむしょ 日本工営株式会社 千葉事務所		
ふりがな 技術者名	しろの ゆうすけ 城野 裕介	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくちばこくどうかんないかんきょうちようさじーいちろくぎようむ R6千葉国道管内環境調査G16業務		
履行期限	(自) 令和7年3月20日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	千葉国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、目的と内容を十分に理解し、調査職員と綿密な連携を図る実施体制を確保し、的確に環境調査、予測・評価の業務が進められた。 また、追加業務の地下水調査においては、関係機関との協議を通じて、意見を反映しながら協議資料を纏め、調査計画立案、結果報告、汚染除去計画までの協議を円滑に進めた。 このように、高い技術力、幅広い経験及び知見をもって業務を実施しており、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－44

ふりがな 会社名	とうきょうこんさるたんつかぶしがいいしゃ 東京コンサルタンツ株式会社		
ふりがな 技術者名	はらき いさお 原木 功	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくあらかわかりゅうもりどせいびけんとうぎようむ R6荒川下流盛土整備検討業務		
履行期限	(自) 令和6年4月19日 (至) 令和7年5月30日		
事務所名	荒川下流河川事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務目的および内容を十分に理解し、検討項目に応じた適切な解析・検討を実施するなど、高い技術力をもって対応した。加えて、業務量の変更に對しても支援体制を柔軟に確保し、積極的かつ適切に業務を遂行した点が評価できる。 また、共同事業者、関連自治体、ライフライン管理者、交通管理者、道路管理者など多岐にわたる関係機関との協議を円滑に進め、課題を的確に抽出・整理したうえで検討を行い、その結果を設計へ適切に反映させるなど、特に優れた成果を挙げた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－45

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃちょうだい とうきょうししゃ 株式会社長大 東京支社		
ふりがな 技術者名	みずかみ ひろし 水上 博	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるくとうきょうこくどうでいーえつくすけんとうぎょうむ R6東京国道DX検討業務		
履行期限	(自) 令和6年10月9日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	東京国道事務所		
表彰理由	本業務では、行政相談情報の入力作業を自動化し、プルダウン入力や地図・距離標の自動入力機能を導入することで、従来システムと比較して作業量が大幅に削減され、相談受付担当職員の負担軽減が実現した。また、受け付けた相談内容を位置情報・種別・処理状況等により地図上で可視化できるため、過去の問い合わせ状況の確認が容易となり、業務効率化に貢献している。相談内容の入力においては、地図上で位置を指定するだけで住所の一部と距離標が自動入力される仕組みにより、従来必要であった別途地図等での確認作業が不要となった。検索機能についても要素が充実し、データ分析が行いやすくなったほか、CSV・Excel・GeoJSONの3形式でのデータ抽出が可能となり、GISプラットフォームとの連携など、データの更なる活用が可能となっている。さらに、相談への対応状況を地図上で一目で把握できるため、対応漏れの防止にも寄与しており、道路管理業務の効率化に多大な成果をもたらした。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－46

ふりがな 会社名	おきまさえんじにありんぐかぶしきがいしゃ 沖昌エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	えじり きしお 江尻 岸生	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるなとうきょうこくどうどうろきょにんかしんさ・てきせいかしどうぎょうむ R7東京国道道路許認可審査・適正化指導業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	東京国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたり、東京国道事務所管内の特殊車両通行許可申請の審査・指導等及び特殊車両通行指導取締り等について、管内の通行可否箇所を把握したうえで、申請件数が多い中、自社によるシステムを活用し、審査・許可処理の迅速化に寄与するとともに、各道路管理者への協議において、正確な手続き及び早期回答を得られるよう適切にフォローアップを行い年間約30,000件の許可手続きを行った。また、中立公平性を保持し申請者への適切な対応を実施した。 本業務の目的を十分に理解し、豊富な技術力とマネジメント力を十分に発揮した優れた成果となっており極めて優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－47

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	むらかみ りょう 村上 亮	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくじえいそうぶこくどうかんばんいぼうさいけんとうほかぎょうむ R6J相武国道管内防災検討他業務		
履行期限	(自) 令和7年2月26日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	相武国道事務所		
表彰理由	業務計画、マニュアル等の改訂のほか、「冬期道路管理体制(予防的通行止め)」の体制強化検討や各種訓練の企画など、多岐にわたる検討を担当技術者の適切な配置と執行管理により履行した。 また、各種訓練にも臨場し、改善を要する箇所の提案や「振り返り」で確認した課題を速やか整理、検討しマニュアルに反映するなど、積極性と高い責任感を持って業務に取り組み、有益かつ実効性ある成果にとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－48

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃきんだいせつけい 株式会社近代設計		
ふりがな 技術者名	ひぐらし こうへい 日暮 浩平	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくでいーそうぶこくどうじむしょかんばんいでんせんきょうどうこうせつけいほかぎょうむ R6D相武国道事務所管内電線共同溝設計他業務		
履行期限	(自) 令和6年12月11日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	相武国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、確実な履行のための業務実施体制を確保するとともに、管理技術者が中心となり積極的に発言・提案を行うなど、確実かつ効率的に業務が進められ、提案された業務実施工程に沿って良好な工程進捗管理が行なわれた。 西府・谷保地区の詳細設計では、参画企業者や水道等の占用企業者との調整及び地上器機の設置に関しては警視庁協議といった多数の関係機関との調整を確実に実施し、業務全般において効率よく実施した。 また、詳細設計全般で、経済性、施工性及び維持管理性を考慮し設計するなど、業務の目的と内容を十分理解しており、調査職員の指示等に対しても積極的、かつ迅速に対応するなど、高い技術力と調整力を発揮し、円滑に業務を遂行した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－49

ふりがな 会社名	やちよえんじにやりんぐかぶしきがいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	はら まさなり 原 昌成	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくとうきょうがいかんちかすいほぜんけんとうぎょうむ R6東京外環地下水保全検討業務		
履行期限	(自) 令和6年7月17日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	東京外かく環状国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分に理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、迅速に業務が進められた。 特に、各JCT地区の施工時における地下水保全の確認・評価等においては、関連する工事の施工状況について適宜確認を行うとともに、路線周辺の地下水位観測データに基づき、工事進捗と降水量、地下水面分布の変化を時系列的に分析し、工事影響評価をとりまとめ、適切に業務のとりまとめを行った。 また、供用後の維持管理方法の確立に向けた調査・検討にあたっては、類似事例の調査を行うとともに、有識者等の委員説明にあたっては、わかりやすい資料作成や委員への事前ヒアリング対応を適切に実施するなど円滑な事業推進に努めた。 以上により、業務目的と内容を十分理解把握のうえ、調査職員の指示等に対して迅速に対応するなど、円滑で正確な業務遂行がなされた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－50

ふりがな 会社名	ばしふいつくこんさるたんつかぶしきがいしゃ しゅとけんほんしゃ パシフィックコンサルタンツ株式会社 首都圏本社		
ふりがな 技術者名	まつだ こういち 松田 浩一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななけいひんかせんかんないこうずいぼうさいじょうほうけんとうぎょうむ R7京浜河川管内洪水防災情報検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月15日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	京浜河川事務所		
表彰理由	本業務は京浜河川事務所管内における防災業務を円滑に行うため、重要水防箇所等の検討、大規模氾濫減災協議会等の会議・訓練の開催及び洪水等の防災に対する啓発等実施する業務である。 重要水防箇所等の検討においては、関係機関との連携のために実施する共同点検の説明資料において、今年度評価と昨年度評価を重ねて表示することで、変更内容を直感的に把握できる図面に更新した。 また、大規模氾濫減災協議会においては、今年度が最終年である5か年の取組方針の質的評価をこれまでの4段階から6段階で評価する事により詳細に把握し、次年度以降の5か年計画を適切に提案するなど、多岐に渡る検討項目を計画的な業務遂行により、効率的かつ的確な資料のとりまとめを実施した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－51

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃおりえんたるこんさるたんつ かながわじむしょ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 神奈川事務所		
ふりがな 技術者名	ありむら けんたろう 有村 健太郎	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくこくどうじゅうごうこうがやほどうきょうしゅうせいせつけいぎょうむ R6国道15号幸ヶ谷歩道橋修正設計業務		
履行期限	(自) 令和7年3月14日 (至) 令和8年3月25日		
事務所名	横浜国道事務所		
表彰理由	本設計においては、幸ヶ谷歩道橋架け替えに係る修正設計において、関係者(首都高、警察、横浜市)と複数回に及ぶ綿密な調整を実施した。 特に、首都高との近接施工協議のために、3次元の架設動画作成やFEM解析を短期間でとりまとめ、警察との協議においては、先方からの要望により歩道橋架設時のう回路設定のための交通量調査を急遽追加で実施した。また、下部工工事発注後は、地元から施工上の騒音に対する心配が寄せられたため、騒音予測を行い、工事説明会向けの説明に必要な基礎資料をとりまとめた。 以上のように、工事発注が迫る中、急遽かつ多様な追加業務にも柔軟に対応し、迅速に業務を遂行させ、事業の推進に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－52

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃけんせつぎじゅつけんきゅうじょ とうきょうほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	かわかみ むつお 川上 睦夫	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくかわさきこくどうじぎょうせいびこうかけんとうぎょうむ R6川崎国道事業整備効果検討業務		
履行期限	(自) 令和6年8月1日 (至) 令和7年12月26日		
事務所名	川崎国道事務所		
表彰理由	本業務は、川崎国道事務所における複数の事業に関して、整備効果の検討や委員会資料作成、基礎データの収集・整理、交通量推計を実施するものであったが、受注者は、業務の目的と内容、事業が抱える課題を十分に理解したうえで、幅広い知見を基に業務遂行にあたった。 特に、蒲田駅周辺整備事業に関する整備効果検討では、過年度からの課題をわかりやすく整理したほか、発注者側と密に連携し、迅速かつ丁寧な資料作成を実施した。 上記以外の他事業に関する検討においても、発注者からの指示に対して、豊富な経験と高い技術力、企業体制と創意工夫をもって丁寧に業務を実施した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－53

ふりがな 会社名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	えがみ だいすけ 江上 大介	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくふじかわすいけいこうずいはんらんかいせきけんとうぎょうむ R6富士川水系洪水氾濫解析検討業務		
履行期限	(自) 令和7年4月25日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、国の管理する河川だけでなく、県が管理する河川や市町が管理するその他河川を含めた氾濫解析を実施する必要がある。 受注者は、氾濫解析を実施するにあたって、関連する県や市町に業務の目的を十分に説明した上で必要なデータを取得した。 また、氾濫解析にあたっては、各河川の計画を踏まえた上で、外力設定を行い、関係機関への説明を実施するなど、綿密な調整を行った。 さらに、氾濫解析にあたっては、過年度に行われた氾濫解析との整合を確認するなど、過去の業務との関連についても精査を実施した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－54

ふりがな 会社名	かぶしがいいしゃえいとにほんぎじゅつかいはつ どうきょうししゃ 株式会社エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな 技術者名	あの ともひさ 阿野 智久	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななしんささごとなねるしゅうせいせつけいぎょうむ R7新笹子トンネル修正設計業務		
履行期限	(自) 令和7年7月25日 (至) 令和8年3月20日		
事務所名	甲府河川国道事務所		
表彰理由	国道20号新笹子トンネルの避難路については、技術的課題を整理し構造を決定するため、有識者をからなる技術検討会を開催しており、本業務において課題を整理し詳細な比較検討を行ったうえで技術検討会に諮ったものである。 資料作成においては、これまでの検討経緯をまとめ、全国の事例を調査、優れた技術力から、わかりやすく各案の課題整理を行ない、有意義な技術検討会を開催を行うことができた。 また、調査職員の指示等に対して迅速に対応するなど適切な進捗管理を行い、各関係者への事前説明など円滑に進め、業務の目的を十分に満足する優れた成果を得ることができた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－55

ふりがな 会社名	かぶしがいしゃけんせつじゆつけんきゆうじょ とうきようほんしゃ 株式会社建設技術研究所 東京本社		
ふりがな 技術者名	かわさき たくみ 川崎 巧	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくあーるななふじかわさぼうかんだいさぼうしせつせつけいぎようむ R6・R7富士川砂防管内砂防施設設計業務		
履行期限	(自) 令和6年7月19日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	富士川砂防事務所		
表彰理由	本業務は、砂防の多種多様な工種を設計するものであり、また設計箇所も富士川砂防事務所管内の各所に及びそれぞれの地形地質などの地域特性・環境特性に応じて設計を実施する必要が生じた。これに対して、適切な工程計画、工種に対応した技術者の配置を行い概ね遅延することなく業務を実施した。また砂防堰堤の修正設計では、工事発注の必要性がかなり限られた期限での成果の提出を求められたが、他工種の業務を一時休止させるなどして技術者を増員して柔軟に対応することで期限内に設計を完了させるなどした。 本業務において、1年3カ月の工期で多種多様な工種の設計を実施できたことは、効率的な業務発注に大いに役立つものである。 このことは、今後の砂防事業を実施するにおいて、設計ストックの確保及び速やかな事業進捗に役立つことから、優良表彰として推薦するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－56

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしがいしゃ ながのじむしょ 日本工営株式会社 長野事務所		
ふりがな 技術者名	かとう やすひろ 加藤 靖広	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくちゆうぶおうだんどうかんきようえいきよう・ほぜんけんとうぎようむ R6中部横断道環境影響・保全検討業務		
履行期限	(自) 令和7年1月10日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	長野国道事務所		
表彰理由	中部横断自動車道(長坂～八千穂)長野県区間に関する環境影響評価準備書(事業者案)の作成にあたり、多種多様な予測、結果の対応や最新の音響モデルによる騒音予測などを迅速な対応し、関係機関調整や技術的専門家などの指摘対応などを行い、優れた業務成果であったため。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－57

ふりがな 会社名	やちよえんじにありんぐかぶしきかいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	たにぐち かずあき 谷口 和昭	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくながのこくどうかんないきようりょうほしゅうせつけいほか(そのさん)ぎょうむ R6長野国道管内橋梁補修設計他(その3)業務		
履行期限	(自) 令和6年12月21日 (至) 令和8年2月27日		
事務所名	長野国道事務所		
表彰理由	本業務は、作業内容が多岐にわたるなか、対象橋梁・歩道橋数が多いにも関わらず、補修対策を適切な時期までに計画し設計成果として完成させた。そのほか、関係機関協議との合意形成を図るための資料作成を、補修工事の時期に影響を与えないよう迅速に行い対応した。 また、発注者支援ツールとして、橋梁修繕工事の計画・予算平準化の効率化を目的に、既存データベースを活用した、優先度を明示した修繕計画管理表と運用マニュアルを作成し、発注者の業務効率化に貢献した。 業務目的・業務内容を十分に理解し、業務全般にわたり責任感を持ち、積極的に取り組み、業務全般として高く評価できるものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－58

ふりがな 会社名	あーるななかわまただむがんばんびえすこうせつけいけんとうぎょうむ だむぎじゅつせんたー・にほんこうえいせつけいきょうどうたい R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務ダム技術センター・日本工営設計共同体		
ふりがな 技術者名	よしだ ひとし 吉田 等	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななかわまただむがんばんびえすこうせつけいけんとうぎょうむ R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務		
履行期限	(自) 令和7年5月21日 (至) 令和8年3月13日		
事務所名	鬼怒川ダム統合管理事務所		
表彰理由	本業務では、過年度の検討経緯、川俣ダム岩盤PS工技術検討委員会での指摘事項などを踏まえ、アンカー配置の見直しを行い、見直し後の岩盤等の安定性を断層が入り組む複雑な岩盤内の地質条件を考慮し、高度な解析を行い優れた成果を上げた。特に岩盤内に作用する応力について3次元モデルを活用し、標高ごとに3次元FEM解析を実施することにより評価し、その解析評価により、アンカー本数を削減することができ、工事コストの縮減に寄与したことは高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－59

ふりがな 会社名	やちよえんじにやりんぐかぶしがいいしゃ 八千代エンジニアリング株式会社		
ふりがな 技術者名	ふじわら たかし 藤原 崇	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななふじわらだむゆうこうかつようけんとうぎようむ R7藤原ダム有効活用検討業務		
履行期限	(自) 令和7年6月14日 (至) 令和8年3月23日		
事務所名	利根川ダム統合管理事務所		
表彰理由	本業務はダム治水機能増強検討調査に必要な堤体・放流設備等の幅広い項目が業務の対象となり、治水効果の早期発現に向けた短期間での作業が必要な業務であったが、各分野で高い技術力を有する担当者の配置を行うなど、本業務に対する会社全体の取組姿勢は非常に高いものがあった。 検討過程では、国総研等と複数回の協議の中での指摘事項や社会情勢等による条件変更等に対しても、その都度、発注者との対応方針の確認を入念に行い、様々な視点から適切な代替案の提示や課題の抽出、迅速な対応に努めた。 最終的に提出された成果も非常に質の高いもので、優良表彰に該当する業務内容であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－60

ふりがな 会社名	かぶしがいいしやにゆーじえつく 株式会社ニュージェック		
ふりがな 技術者名	やまのしゅんろう 山野 旬郎	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななふたせだむみずげんちちようさ(ぎよるい)ぎようむ R7二瀬ダム水辺現地調査(魚類)業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	二瀬ダム管理所		
表彰理由	本業務では、通常の魚類調査以外に二瀬ダムにおける周辺環境調査として、魚類環境DNA調査や、外来魚であるコクチバスの防除調査、ダム見学会時における利用実態調査など多岐にわたる調査を詳細にとりまとめた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－61

ふりがな 会社名	みついきょうどうけんせつこんさるたんとかぶしがいいしゃ 三井共同建設コンサルタント株式会社		
ふりがな 技術者名	だいじま たかお 代島 隆夫	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくかんとうえむしーかんないきょうりょうとうほしゅう・ほきょうせつけいほかけんとうぎょうむ R6関東MC管内橋梁等補修・補強設計他検討業務		
履行期限	(自) 令和6年8月1日 (至) 令和7年6月30日		
事務所名	関東道路メンテナンスセンター		
表彰理由	本業務の履行に当たっては、業務の目的を十分に理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、高度な技術を必要とする補修設計及び必要な調査等を適切に実施した。 特に、外面からは把握できないコンクリート桁内部に配置された鋼材の腐食状態等について、適切な調査を行い、その損傷状態を反映させた解析を行うことで、補修設計結果の品質を向上させた点は高く評価できる。 また、BIM／CIMを活用した拡張現実(AR)技術を活用して、コンクリート内部の鋼材等の位置情報を橋面から確認できるようにしたことで、当該橋梁の路面の損傷と桁内部の損傷を関連づけて観察できるようになり、効果的な維持管理及び安全性の確保に貢献した。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－62

ふりがな 会社名	さんこーこんさるたんとかぶ サンコーコンサルタント株式会社		
ふりがな 技術者名	たけの こういち 竹野 浩一	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるななこくえいひたちかいひんこうえんかんきょうちようさぎょうむ R7国営常陸海浜公園環境調査業務		
履行期限	(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	国営常陸海浜公園事務所		
表彰理由	当事務所では、動植物調査を継続的に実施し、その結果を管理運営への確に反映することで、環境保全の推進及び都市公園の価値向上を図っている。本業務において受注者は、過年度の成果及び既存の調査手法を適切に踏襲しつつ、調査手法の精査・改善を行い、得られた結果から課題を的確に抽出したうえで、環境保全に資する具体的な提案を行った。さらに、公園管理者をはじめ、公園ボランティアや有識者等とのヒアリング及び調整を丁寧かつ綿密に実施し、合意形成を図りながら対策を着実に推進した。これにより、絶滅危惧種の繁殖確認や、特定外来生物の駆除など、生物多様性と在来種生息環境の保全において顕著な成果を挙げた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－63

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしがいいしゃ とうきようしてん 日本工営株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	おかざき じょう 岡崎 丈	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくほうかいせいじすべりちにおけるちしつちようさかいせきぎょうむ R6崩壊性地すべり地における地質調査解析業務		
履行期限	(自) 令和7年2月20日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	河川部		
表彰理由	本業務の履行にあたっては、有識者や関係機関、地元住民との円滑な調整が図られる等、適切かつ的確に業務が進められ、過年度までの成果も含め業務の目的及び内容を十分理解した上で複数手法による物理探査が実施された。特に、崩壊性地すべり地のブロック特定手法の検討においては、既往検討を踏まえた素因の整理、微地形分類に加え、崩壊性地すべり地において実施した物理探査結果の比較検証を行うことで、崩壊性地すべりブロック特定手法の試行案として取りまとめたことは高く評価できる。 このように、課題に対して高い技術力を発揮し的確に業務が遂行され、模範となるような優れた成果を上げたことは表彰に値するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－64

ふりがな 会社名	かわさきちしつかぶしがいいしゃ かんとうししや 川崎地質株式会社 関東支社		
ふりがな 技術者名	かわい やすあき 川井 康右	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくせいしやうかいがんえんがんどしつちようさぎょうむ R6西湘海岸沿岸土質調査業務		
履行期限	(自) 令和7年2月26日 (至) 令和8年3月20日		
事務所名	京浜河川事務所		
表彰理由	本業務は、西湘海岸保全施設整備事業を進めるにあたって、地質調査は基礎的な資料収集を行うための業務である。 西湘海岸の複雑な海底地形及び地質について、既往の論文等を収集するなど西湘海岸の特徴を十分理解のうえ調査計画を作成し作業及びとりまとめにあたった。また、調査結果について、周辺地質データを見極めたうえで、施設設計を行う際の注意点や必要な調査等についてわかりやすく提案し、調査職員の問い合わせや指示及び進捗状況報告など対し迅速的確に対応していた。さらに、地元2者の漁協の船舶を使用した調査時は事前に丁寧な説明を行い、コミュニケーションを密にとりながらスムーズに調査を行っており、国土交通省が行う事業のイメージアップにもつながった。 また、発注者の若手職員向けに土質試験見学会を開催するなど、発注者の人材育成にも寄与するなど、これらの取り組みは他の模範となる事から推薦するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－65

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃえいとにほんぎじゅつかいはつ とうきょうししゃ 株式会社エイト日本技術開発 東京支社		
ふりがな 技術者名	わたなべ しゅんいち 渡辺 俊一	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろくこくどうにじゅうごうちしつちようさぎようむ R6国道20号地質調査業務		
履行期限	(自) 令和7年2月28日 (至) 令和8年3月31日		
事務所名	長野国道事務所		
表彰理由	国道20号諏訪バイパスにおける設計・施工上の地質リスクに影響する活断層を把握するための調査、解析の他、「諏訪バイパス水文環境技術及びトンネル設計施工検討委員会」開催に向けた対応をが優れていたもので、表彰推薦に相応しい。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－66

ふりがな 会社名	にほんこうえいかぶしきがいは きたかんとうじむしょ 日本工営株式会社 北関東事務所		
ふりがな 技術者名	いちかわ たけし 市川 岳志	職種	主任技術者
ふりがな 業務名	あーるろく・あーるななやんぱだむちよすいちしゃめんかんそくひようかぎようむ R6・R7ハッ場ダム貯水池斜面観測評価業務		
履行期限	(自) 令和6年7月4日 (至) 令和7年7月31日		
事務所名	利根川ダム統合管理事務所		
表彰理由	本業務の履行にあたり、ハッ場ダム周辺地域の地下水位や坑内傾斜計等の精度の高い観測継続のため、各観測所の地形、観測開始からの挙動などを充分把握し、計測された挙動の分析、考察などを適切に行い、機器異常の際には迅速な原因の究明、欠測期間の短縮に取り組むなど観測データ精度確保に高い意識で業務に臨んだ。現場観測では過去の業務経験から現場状況を関係者に共有し、事故・トラブルを未然に防ぐ対応を実施した。ハッ場ダムの第3期移行に向けた国総研等協議準備ではデータ分析を適切に行い、観測項目・頻度の規模縮小や管理基準値の見直し等有効性の高い提案を行った。 また、追加検討を行った堤体観測の漏水量では、社内でする関連情報や技術的知見を活用し、会社全体で取組状況の把握、原因究明に努めた。 よって、優良表彰に該当する業務内容であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－67

ふりがな 会社名	にっしょうそくりょうせつけいかぶしきがいしゃ 日昌測量設計株式会社		
ふりがな 技術者名	せきざわ ゆうた 関澤 雄太	職種	主任担当者
ふりがな 業務名	あーるろくねりさわさぼうえんていようちちようさとうぎようむ R6楡沢砂防堰堤用地調査等業務		
履行期限	(自) 令和6年12月12日 (至) 令和7年11月28日		
事務所名	渡良瀬川河川事務所		
表彰理由	山間部特有の課題を適切に理解した作業計画書の立案がなされ、現地踏査により詳細に現地の状況を把握し、特に境界立会を円滑に実施するための安全対策等について顕著であった。 境界立会においては現地での目視確認に対応する安全施設の設置のほか、360度写真及び三次元地形重ね図を使用したリモート併用方式(録画方式)による間接確認への対応、また、危険野生動物対策、熱中症予防対策においても独自の対策を徹底して行うなど地権者の安全確保に対する取組み姿勢及び実施体制は高く評価できるものである。 境界立会時における丁寧な対応及び安全対策を確実に実施することで地権者等との信頼関係も構築され、事業推進に大きく貢献するものであった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－68

ふりがな 会社名	かぶしきかいしゃしもん 株式会社四門		
ふりがな 技術者名	かとう ゆみ 加藤 裕美	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	あーるろくやいたおおたわらばいばすほかようちちようさとう(そのに)ぎようむ R6矢板大田原バイパス外用地調査等(その2)業務		
履行期限	(自) 令和7年6月14日 (至) 令和8年3月23日		
事務所名	宇都宮国道事務所		
表彰理由	本業務において、国道4号矢板大田原バイパス事業の用地調査を実施する業務であり、山林地帯を中心とする広範な区域の境界立会に際し、リモート境界確認(録画方式)を積極的に導入した。UAVレーザー測量により取得した高精度な点群データおよび現地写真を活用し、権利者が現地を目視確認することなく土地境界の状況を的確かつ分かりやすく説明する取り組みを行った。 これにより、高齢者が多い地権者の身体的・時間的負担を大幅に軽減するとともに、境界確認作業の安全性および効率性を向上させ、短期間での境界立会完了を実現した。これらの取り組みは、業務の円滑な実施および事業進捗に寄与しており、優良な業務であった。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－69

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃしもん 株式会社四門		
ふりがな 技術者名	みやでら はやと 宮寺 隼人	職種	主任担当者
ふりがな 業務名	あーるろくかたしながわりゅういきほかようちちようさとうぎようむ R6片品川流域外用地調査等業務		
履行期限	(自) 令和6年8月23日 (至) 令和8年3月19日		
事務所名	利根川水系砂防事務所		
表彰理由	当該受注者は、初回打合せ後速やかに境界立会の基礎データとなる割付図を作成し、問題点等を整理して、1週間後に2回目の打合せを実施するなど初動作業が非常に優れていた。また8月末からの工期であったが道路距離で約80キロ離れた2つの現場の境界立会及び現地作業を短期間に実施し、降雪前に完了させた。現地立入に強く難色を示す行政不信の地権者に対し、現地で顔を合わせる度に粘り強く対話を重ねることで地権者の強固な不信感を払拭し、境界立会への協力を得た。業務全般において強い責任感で業務を履行し、国有林の測量においても関係機関との調整を粘り強く行い、民地と国有林が混合した難易度の高い業務を完遂した技術力は高く評価できる。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－70

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃにゅーじぇっく 株式会社ニュージェック		
ふりがな 技術者名	やまもと けん 山本 健	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	れいわりくねんど ちばこうかいがんふなばしちくふなばしはいすいきじょうよびせつけいぎようむ 令和6年度 千葉港海岸船橋地区船橋排水機場予備設計業務		
履行期限	(自) 令和6年8月2日 (至) 令和8年2月20日		
事務所名	千葉港湾事務所		
表彰理由	本業務は、第1段階として既設排水機場の代替施設となる排水量18m ³ /sの能力を持つ先行部排水機場を整備した後に、既設排水機場エリアに、既設排水機場撤去後に、排水量31m ³ /sの能力を持つ増設部排水機場を、先行部と一体構造として整備するという内容であると共に、整備期間において現在の排水量18m ³ /sの排水能力と防潮ラインとしての施設の機能を維持するという制約条件を有しているため、複雑な整備手順を踏まえた難易度の高い設計内容となるが、本業務の管理技術者は、本業務の土木・建築・機械設備・電気設備という多岐にわたる各担当技術者を高い技術力をもって適切に管理し、高い水準の業務成果完成に導いた。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－71

ふりがな 会社名	かぶしきがいしゃおりえんたるこんさるたんつ かんとうししゃ 株式会社オリエンタルコンサルタンツ 関東支社		
ふりがな 技術者名	ないとう やすし 内藤 靖	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	れいわろくねんど とうきょうこくさいこうこうじんこうじばんよびけんとうぎょうむ 令和6年度 東京国際空港人工地盤予備検討業務		
履行期限	(自) 令和6年7月18日 (至) 令和7年12月15日		
事務所名	東京空港整備事務所		
表彰理由	人工地盤は、首都高・国道357号線及び空港構内道路を上空に整備される施設のため、各既往道路の建築限界確保(桁下クリアランス確保)をしつつ、既存空港施設の現況高さへの影響を最小限にするために上部工桁高さを抑制を要する検討などの厳しい課題があった。これらの課題に対し、解決策を複数案抽出し、経済性、構造的性、施工性等の総合的な比較検討を行った。更に、人工地盤に隣接する空港南トンネルの航空機荷重に対する補強検討について、専門的な知識や高度な技術力を用い、円滑で確実な業務遂行がなされた。以上の理由により業務に対する積極的な姿勢について、他の業務の模範となるものであり、優良業務及び優秀技術者として表彰するものである。		

優良業務及び優秀技術者 局長表彰の概要及び表彰理由

業務番号－72

ふりがな 会社名	れいわななねんどりんこうどうろ(こうきょう)におけるひろうたいさくけんとうぎょうむえんがんぎじゅつけんきゅうせんたー・おりえんたるこんさるたんつせつけいこうどうたい 令和7年度臨港道路(鋼橋)における疲労対策検討業務沿岸技術研究センター・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体		
ふりがな 技術者名	さとう まさひろ 佐藤 昌宏	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	りんこうどうろ(こうきょう)におけるひろうたいさくけんとうぎょうむ 臨港道路(鋼橋)における疲労対策検討業務		
履行期限	(自) 令和7年8月4日 (至) 令和8年3月27日		
事務所名	横浜港湾空港技術調査事務所		
表彰理由	鋼道路橋における支点部の疲労亀裂は、ソールプレート前面のすみ肉溶接したフランジ側支点部から発生している事例が多いが、発生した亀裂は前例のないものであった。支点部の疲労亀裂は、通常の設計計算では考慮されない要因により発生するため、既往の研究成果を参考に二次応力や局部応力が再現可能で各部を詳細にモデル化できるFEM解析を構築、現地橋梁の状況や現地計測時の状況を踏まえた不確実要因を分析・検討し、再現性の高い解析モデルを構築した。再現性の高い解析モデルを用いて応力状態を把握することで、亀裂要因を明らかにし、効果的な補修対策を立案するなど、優れた技術力をもって適切に業務を履行し、業務目的を十分に満足する成果を上げた。		

関東インフラDX大賞
局長表彰の概要及び表彰理由

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道6号工事千代田石岡BP玉里高架橋上部工事
受注者	株式会社IHIインフラスクエア 関東支店
発注者	常陸河川国道事務所

工事・業務概要
本工事は、国道6号千代田石岡バイパスと国道355号が交差する橋長42.1mの跨道橋(PC橋)工事であり、国道355号の夜間通行止め規制を行い、架設作業を実施したものである。 当該通行止め規制においては、交通への影響を最小限とするため、規制時間の縮減が強く求められており、通常よりも短時間での架設作業が必要であった。そのため、綿密な施工計画の策定と、作業員への周知・理解の徹底が重要な課題となった。 そこで、本工事では、現地条件および施工ステップの確認にあたり、3次元モデルに工程情報を反映させて可視化することで、関係者間の認識共有および理解促進を図った。 さらに、主桁や架設機械にタブレット端末等から確認可能な傾斜計を設置し、挙動をリアルタイムで可視化することで、安全性の向上を図るとともに、作業の効率化を実現した。
表彰理由
<有効性> 本工事では、夜間の通行止め規制下という厳しい施工条件に対応するため、4Dタイムライナーを用いた3次元モデルによる施工ステップの可視化を行った。これにより、関係者全員が作業手順や留意点を事前に共有でき、短時間施工においても手戻りや認識不足によるトラブルを防止し、無災害での架設を達成した。 また、主桁および架設機械に傾斜計を設置し、リアルタイムで状態を把握することで、従来必要であった測量作業の人員を削減するとともに、数値による客観的管理が可能となり、安全性と施工効率の向上を同時に実現した。 <先進性> 本取組は、4Dタイムライナーにより施工工程と3次元モデルを連動させ、従来の2次元図面では表現が困難であった施工手順や時間的变化を直感的に示した点に先進性がある。 さらに、傾斜計を用いたリアルタイムモニタリングを導入し、タブレット端末等で即時確認可能としたことで、ICT技術を活用した高度な安全管理体制を構築している。 これらの技術を単独で活用するのではなく、計画・施工・安全管理を一体的にDX化した点は、現場運営の在り方を変革する先進的な取組である。 <波及性> 本取組で活用した4Dタイムライナーおよび傾斜計による管理手法は、特定の条件に依存しない汎用性の高いものであり、他の橋梁工事や夜間施工を伴う工事にも容易に適用可能である。 また、ベテラン技術者の暗黙知を3次元モデルで可視化したことで、若手技術者や外国人技能実習生に対する教育・周知ツールとしても有効であり、技術伝承の促進にも寄与している。 このことから、個別現場にとどまらず、建設業界全体の生産性向上とインフラDX推進への波及効果が期待できる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7甘田入第13地区基盤整備工事
受注者	水郷建設株式会社
発注者	霞ヶ浦河川事務所

工事・業務概要
本工事は、茨城県稲敷市甘田入地区において、霞ヶ浦浚渫事業の排泥処理地の返還のため甘田入第13地区の地盤改良を実施するものである。 主な工種は、基盤整備（ICT盛土8,600m³）、河川土工（ICT盛土23,300m³）、地盤改良工（ICTペーパードレーン工11,548本）、地下排水溝工（L=3,657m H=800 W=350）を実施。新技術を活用し、パーチカルドレーン工において、ペーパードレーン打設機にホール・ナビ（GNSSを用いた位置誘導システムの活用）を搭載しICTペーパードレーン工を実施した。また、工事関係者間の情報共有および施工計画の理解向上を図るため、「3次元モデルを利用したBIM/CIMコミュニケーションシステムTREND-CORE」を活用し、盛土工・掘削工においては、出来高・出来形管理システムを活用した施工管理を実施した。
表彰理由
<有効性> ①打設機にホール・ナビを搭載しICTペーパードレーン工を実施。従来手作業だった位置出し及び出来形管理をGNSSと2軸傾斜計による自動計測に変えたことで、打設位置の明示や施工機械の誘導作業を省略（省人化）でき、打設位置のミスを防止することができた。 ②TREND-COREを活用し、施工手順や周辺状況を立体的に可視化することで、施工計画の確認や関係者間の打合せに活用した。また、施工前に干渉確認や施工手順の検討を行うことで、作業内容の理解を深めるとともに手戻り防止が図られた。 ③盛土工・掘削工において、出来高・出来形管理システムを活用した施工管理を実施し、施工前にTLSにより3次元データを取得、設計データと連携させたうえでMCブルドーザによる施工を行った。また、建機が稼働した施工履歴とドローン測量システムによる点群データをクラウドに反映し、日々の施工量や進捗状況を可視化した。 <先進性> ①測量に係る作業を省人化したため、労務費が軽減し、経済性が向上した。施工中の位置出し作業が不要となったことで、位置出し及び誘導時間が短くなり、工程が短縮した。また、重機と作業員の接触を未然に防止でき、かつ本技術の活用により、情報化施工に伴い安全性および施工性が向上した。 ②3次元モデルでの現場のシミュレーションを活用することで、従前の資料作成の時間が短縮され、関係者間の打合せ資料や新規入場者向けの施工ステップ動画、現場の干渉確認など、図面等の作成資料の精度が向上した。 ③日々の施工量や進捗状況を可視化し、さらにシステムのハッチング表示により高低差や施工状況を把握することで、盛土・掘削の進捗管理に活用するとともに、運搬台数から算出した土量とシステム上の施工量を照合することで、施工計画の管理精度が向上した。 <波及性> ①ホール・ナビのシステムは、2台同時に施工履歴管理ができ施工曜日による色分けや3次元モデルによる可視化によって、現場状況の把握や情報共有が容易となり、内業の削減・無駄のない施工管理・工程管理が期待出来る。 ②3次元モデルの活用により施工イメージの共有や関係者間の合意形成を迅速化し、BIM/CIMを活用した施工管理の高度化と生産性向上が期待される。 ③ICTデータを活用することで施工状況の可視化が図られ、効率的かつ精度の高い施工管理の実現につながる。 ④中学校を対象としたDX現場見学会を開催し、ICT施工や測量技術の体験を通じて将来の担い手育成に寄与した。また、約250名を対象にDX技術の活用事例を発信し、本工事をモデルケースとして行政・企業への横展開を促進するなど、地域全体のDX推進と担い手確保に向けた波及効果を発揮した。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6圏央道下総大栄地区改良その2工事
受注者	石井工業株式会社
発注者	常総国道事務所

工事・業務概要
本工事は、一般国道468号首都圏中央連絡自動車道の千葉県成田市成井地先から千葉県成田市吉岡地先において、地盤改良工、石・ブロック積工、橋梁付属物等の施工を行ったものである。 本工事では各工種にてCIMモデルを活用し、様々な職種の中小受託事業者との施工段取りの打合せや安全教育に活用した。また石・ブロック積工、擁壁工、橋梁付属物工にて施工後3次元計測技術を用いた出来形管理を実施した。
表彰理由
<有効性> 従来、図面を用いた打合せでは完成イメージの共有が難しく、合意形成に時間を要していた。本工事ではCIMモデルとARを活用し、現場にてタブレットで3Dイメージを共有することで、元請と中小受託事業者間の認識のズレを解消し、打合せ時間の大幅な短縮と手戻り防止を実現した。 また、橋梁付属物工の排水管の出来形測定では、点群測量による3次元計測技術を導入することで従来必須だった高所作業車と専用工事用道路を廃し、高所作業の墜落リスクを排除して安全性を飛躍的に高めるとともに、広範囲の一括測定による工程短縮と生産性向上に寄与した。 さらに、土砂運搬時の土量集計に携帯端末を用いたRTK3次元計測技術を活用。作業土工や運搬時にリアルタイムかつ正確な土量データを取得し、工程管理や運搬計画の最適化に直結させることで、現場管理の大幅な省力化を達成した。 <先進性> 本取組では、ICTおよびBIM/CIMにかかる一連のプロセス(3D設計データの作成から施工、出来形管理、土量計算、データ納品まで)を外注に依存せず、自社職員による「完全内製化」を実現した点にあり、全工程を自社内で完結し、その先進性は高い。 施工データはクラウド上で一元管理し、リアルタイムな情報共有環境を構築。現場の安全性および品質向上と省人化をもたらし、残業時間の削減という働き方改革に直結した。 具体的に、内製化により以下の通り圧倒的な業務のスピードアップ(外注待ち時間の排除)を達成している。 ・3次元計測からの設計データ作成: 外注5営業日⇒【即日対応】 ・天候不良等に伴う再計測: 外注3営業日⇒【即日対応】 ・点群出来形測量: 外注3営業日⇒【即日対応】 <波及性> 本取組の成果は自社内にとどまらず、多面的な波及効果を生み出している。 第一に、地域・業界への波及である。ICT経営者セミナー等で自社の完全内製化事例を公開し、地域の建設業全体へ生産性向上を啓発している。また、ICT施工ノウハウを中小受託事業者と共有することで、隣接工事への技術波及やサプライチェーン全体の働き方改革に繋がっている。 第二に、社内の若手技術者への波及である。内製化により、若手職員が日常的に設計データ作成や点群測量等の最新技術进行操作・完結できる環境が整い、モチベーションの向上とスキル定着に直結している。 第三に、次世代への波及である。インターンシップや現場見学会を積極的に受け入れ、学生に最新のICT施工を体験する機会を提供。建設業を「先進的な産業」へとイメージアップさせ、新規入職者の確保に大きく貢献している。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道121号日光川治防災トンネル詳細設計他業務
受注者	中央復建コンサルタンツ株式会社 東京本社
発注者	宇都宮国道事務所

工事・業務概要
本業務は、一般国道121号日光川治防災事業(直轄権限代行)のうち、過年度に実施された地質調査、道路予備設計、トンネル予備設計を基に、トンネル詳細設計を実施するものである。 本業務では、日光川治防災(直轄権限代行区間)全域の三次元データを活用し、①ルート見直し検討や既設トンネルとの離隔確保の検討、②発注者との設計打合せや対外協議の円滑化を図るためBIM/CIMモデルを活用した。
表彰理由
<有効性> ①当該トンネルの技術的な課題の「既設トンネルとの近接影響」「湧水影響」「大規模崩壊地(地すべり地形)への影響」が懸念され、新設トンネルのBIM/CIMモデルを作成するにあたり、既設トンネルの情報、地山地下水位の情報、地すべり地形の情報を反映した。これにより、当初線形における問題点が視覚化でき、これらの課題への影響を低減・回避するための新たな線形検討に活用し複数案のメリット・デメリットが明確になった。 ②上記の検討結果を対外機関に説明するため、BIM/CIMモデルを用いたアニメーション動画を作成し、既設トンネルとの離隔や地すべり地形との位置関係について、当初線形と修正線形の相違箇所が分かるようにし、対外協議の円滑化を図れた。 <先進性> ①本業務で使用したBIM/CIMモデルは地質調査業務・トンネル予備設計業務・橋梁詳細設計業務で作成された統合モデルを組み合わせたものがベースである。前段階の業務においてBIM/CIMモデルが作成されていたことから、着手段階からBIM/CIMモデルを用いて各種検討を行うことができた。また、既設トンネル等の構造物に加え、地山地下水位等の目に見えない情報もモデル化することで、各種検討に活用することができた。 ②BIM/CIMモデルの閲覧には専用ツールや高性能PCが必要であるが、アニメーション動画に取りまとめることで、一般的なPCやタブレット端末に保存した動画を再生するだけでBIM/CIMモデルを用いた説明を実施することができた。 <波及性> ①近年は予備設計段階からBIM/CIMモデルを作成することが多く、様々なデータが揃った状態から詳細設計に取り組むことができるため、本業務と同様の設計手法を取りやすく、波及効果が高い。 ②アニメーション動画は市販ソフトを用いて容易に作成することができるため、比較的導入しやすい。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7日光砂防清滝地区外砂防施設設計業務
受注者	国土防災技術株式会社 宇都宮支店
発注者	日光砂防事務所

工事・業務概要
本業務では、砂防堰堤及び工事用道路の設計を実施した。砂防堰堤の設計対象箇所は、狭隘な地形に民家が近接し、さらに現用送水管や旧送水管等の地下埋設物が存在する複雑な条件であった。これに対し、3次元点群測量成果を活用するとともに、地下埋設物について探査機による位置推定を行った上で、砂防堰堤及び溪流保全工の詳細設計を実施した。工事用道路の設計対象箇所は、急峻な山間部において、既設工事用道路の搬入制約や地すべり地形の影響を踏まえ、リスクマップ作成、干渉SAR解析、微地形判読による崩壊機構の推定を行い、コンクリート使用量抑制のため補強土壁工法の比較および、基礎工の検討を実施した。また、山腹斜面からの流水対策として排水計画の最適化を図り、工事用道路および一般構造物の詳細設計を行った。両箇所においてBIM／CIMを活用し、砂防堰堤設計箇所では景観変化予測モデルによる視認性確認、工事用道路設計箇所では施工排水計画の最適化を検討した。さらに、砂防堰堤および溪流保全工について砂防事業におけるBIM／CIM積算を試行し、3次元モデルに積算コード属性を付与した。
表彰理由
<有効性> 砂防堰堤設計箇所では、狭隘、人家近接かつ地下埋設物の錯綜した複雑な現地状況に対して、現地調査結果をBIM/CIMモデルに組み込むことで、工事目的物のみならず施工中の各段階における空間的な位置関係の確認が容易となった。また、工事用道路設計箇所では、急峻な山間部において、現地調査に加えて地すべり変動状況をBIM/CIMモデルに組み込み、さらに、3D 地形モデルと道路ラインを連動させることで、地形変化(掘削影響範囲)と道路擁壁高さの関係等を即座に確認することができた。これにより、複雑な地形的制約下でも効率的に検討を進めることができた。 このように砂防BIM/CIMの活用により、地形・地物が複雑な現場において重機配置や砂防設備の配置シミュレーションを可視化し、さらに設計者から施工者までイメージを共有することで、過酷な現場条件下でも「安全な施工体制」を構築することが期待できる。 ※計画道路の比較案作成に当たり、3Dモデルによることで土工数量及び土工影響範囲が即反映され、従来手法(平面図・縦断図・横断図)に比べて作業時間が約3割程度削減された。 <先進性> 従来の2D図面は、関係者間で「立体構造の把握」と「リスク認知」にズレ(認識の非対称性)を生じることがあった。3次元モデルで微地形表現図を提示することで対象地の地形条件をスムーズに共有するとともに、切土影響範囲や計画構造物の大きさをARも活用しながら客観的に把握することができた。さらに、BIM/CIMモデルを打合せに活用することで、受発注者間でのイメージ共有だけでなく、勾配・土量・崩壊リスクなどを数値と可視化で即座に共有することが可能となり、「その場での即時合意」への転換が図られ、設計上の課題解決への時間短縮が可能となった。今後は、BIM/CIMを「意思決定インフラ」として活用することで、設計段階でのリスクシミュレーション(予防的合意)や住民説明会における直感的理解の促進が期待される。 <波及性> 砂防事業の設計業務における狭隘、物件の錯綜、急峻な地形や地盤不安定区間など「複雑なリスク環境への対応」について、BIM/CIMを活用することによって、関係者間でイメージを共有しながら確実かつ効率的に検討を進めることができた。この手法は、砂防事業に限らず山間部の土木設計において、他現場への適用も十分可能である。すなわち、「どこでも安全に設計・施工するための共通言語」としてのBIM/CIMの役割を示した。今後は、砂防 BIM/CIMの活用事例を「山間部土木全体のベストプラクティス」として危険現場における設計検討手法として展開させるとともに、設計から施工に至る各プロセスにおいて事業関係者全体が BIM/CIMを用いた包括的リスク管理を採用することで、山間部の土木事業をめぐる業界全体の安全性と生産性の向上が期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道17号渋川西BP金井地区改良舗装その1工事
受注者	前田道路株式会社 北関東支店
発注者	高崎河川国道事務所

工事・業務概要
本工事は、供用開通を向かえる群馬県渋川市内の交通渋滞の緩和と渋川・吾妻地域の連携及び地域活性化の支援を目的とした、高規格道路「上信自動車道」の一部を構成するバイパス事業において、路床盛土から付帯構造物を含んだ舗装まで行う改良舗装工事であった。 事業全体におけるクリティカルパス工事であり、施工内容も多岐に渡る内容で、かつ、排水構造物工において増工を必要としたこともあり、工程短縮を図る工夫により、本工事の全体工程に余裕を持たせるため、張りコンクリート（法肩部）施工に、「スリップフォーム工法」を提案し、同一断面の構造物を連続的に施工することにより、構造物の施工精度・出来映えを向上させつつ、大幅な省人化・省力化を図り、i-constructionを推進した。
表彰理由
<有効性> 建設業の就業者数は年々減少傾向かつ高齢化さらには担い手不足の課題がある。張りコンクリート（法肩部）施工は当初、従来のクレーン機能付きバックホウによる施工であったが、工程上、工法変更による省力化と工程短縮を必要としていた。本工事では、「スリップフォーム工法」（以下、SF工法という。）を採用することにより、従来工法ではコンクリート打設に要する人工数49人／1,000m²当たりを、SF工法では、20人／1,000m²当たりで省人化し、工程日数（養生は除く）も1,000m²当たりで、従来工法では10.7日要するところを、4.0日に工程短縮を実現し、大幅な省力化と、i-constructionを推進する成果が得られた。張りコンクリートにおける工期短縮は、供用を控えた全体工程に余裕を持たせ、安定した出来映えの向上と安全施工に寄与した。 <先進性> 渋川西バイパス事業において、これまでSF工法の採用はなく、初めての導入であった。 既存技術である。 昨今の暑熱環境は人力作業にとって過酷であるため、今後ますます歩掛りと実施工の乖離は大きくなっていくことが予想される。 省人化の点からも今後も採用されていくべき工法であるが、高コストで専用の機械導入には相応の理由と成果が必要になる点は今後の課題として残るが、担い手の減少や、環境が過酷になる状況で本技術の先進性は高い。 上記人工数の比較では49人工→20人工と59.2%の省人化が出来ており、施工条件によっては15人/1,000m²当たりまで省人化が期待できる。これは、69.4%の省人化になり今後の活用に大きく期待できる。 <波及性> 建設現場における生産性向上として、他のプロジェクトにも効果が発揮できるものである。 発注者側から付加価値を持たせるなどの競争を促す施策は必要であるが、参入業者の増加による競争により市場価格の低下をもたらす可能性はある。 上記の先進性の点でも述べた通り、省人化の期待値は高く、業界に波及することで課題となっているコスト面の解決が期待され、高齢化や建設業離れによる担い手不足の状況に対応するためにも業界内に波及していくべき技術である。 この技術がより一般的になることで、施工機械の小型化や施工形状に柔軟性を持たせるような技術革新が進めばより適用できる現場が増え、広く普及していける技術になることが期待できる。また、ICT技術を活用して高さ制御も可能なため作業者の習熟度に係わらず取り入れることも可能である。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7片品川流域用地調査等業務
受注者	株式会社 四門
発注者	利根川水系砂防事務所

工事・業務概要
本業務は、群馬県片品村井戸沢および白井沢地区における砂防堰堤事業に伴い、極めて過酷な環境下で実施された。対象地域の約8割が傾斜地であり、クマ出没多発地帯という身体的危険に加え、公図と現況が一致しない「公図混乱地」が事業の大きな障壁であった。これに対し、UAVで取得した高精度3DデータをAI解析し、オルソモザイク画像、フォールスカラー画像、樹高分布図、林相識別図、微地形表現図の「5つのAI解析データ」を生成。さらに林班図や過去・季節別の航空写真等「3つのオープンデータ」をGIS上で統合し重ね合わせることで、個別データだけでは判別不能な地形や過去の境界痕跡を可視化した。これらのデータを活用しデジタルツインを整備し、高齢地権者への「リモート境界確認」や、客観的証拠に基づく合意形成プロセスを確立し、大幅な面積減少が生じた地権者を含む対象者32名全員から100%の同意を取得し、事故や遅延なく業務を完遂したものである。
表彰理由
<有効性> 本取組は、山間部用地調査における安全性と精度の向上において顕著な成果を上げた。地上測量結果との比較検証により、AI解析データによる机上検討のみでも不動産登記に耐えうる精度（公差区分乙1～乙3）を実現した。デジタルツインを活用した「リモート境界確認」では、井戸沢地区の対象者21名中12名が同手法を選択し、身体的負担を大幅に軽減した。特筆すべきは、登記簿面積が約5,000㎡の土地において実測面積が約4,000㎡に減少した権利者に対し、客観的証拠を提示することで十分な納得を得た点である。これにより、対象者32名全員から同意を得る承諾率100%を達成した。また、リスクアセスメントの徹底により、事故「ゼロ」も達成した。以上のとおり、本取組はプロジェクト全体の目的達成に寄与しており、有効性が認められる。 <先進性> 本手法は、単なる現況調査にとどまらず、不動産登記を目的とした境界確定にAI解析技術を一連の流れとして一体的に組み込んだ点において高い先進性を有する。従来、類似の手法は森林管理や境界明確化事業等に限定されがちであったが、本業務では「用地」の視点で登記完了までを視野に入れた技術の再構築を行った。技術面では、従来の地形データ中心のモデルから脱却し、5つのAI解析データと3つのオープンデータを複合的に重ね合わせた新たなアプローチを採用した。植物の活性を可視化するフォールスカラー、樹高の差異をAIで特定した樹高分布図及びこれらをAIで複合的に解析して樹種を判別した林相識別図を活用するプロセスは、従来の「目視判読」の限界を打破し、過去の土地の変遷をデジタル上で復元することを可能にした。特定分野にとどまっていた技術・手法を用地調査に積極的に導入した点にある。 <波及性> 本取組で実証されたデジタルツインによるリモート境界確認は、山間部に限らず全国的な課題である高齢化に伴う地権者対応や遠隔居住者への説明など有効な解決策となり得る。UAV取得データから得られる詳細な地形・地物・傾斜情報等は、業務費積算の精度向上や災害時のリスク箇所の特定に直結する。さらに、用地調査における立竹木調査への応用など、用地測量の枠を超えた他分野への展開も期待される。本手法を標準化し、「用地調査等業務共通仕様書」等への適合整理を進めることで、全国の公共事業における生産性向上と危険業務のデジタル化を推進することができる。以上のとおり、複数の業務や地域で応用が可能であり、広く普及が期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6渡良瀬川右岸伊賀袋築堤その2工事
受注者	河本工業株式会社
発注者	利根川上流河川事務所

工事・業務概要
本工事は、埼玉県加須市伊賀袋地先の約230m区間において、渡良瀬川右岸堤防の嵩上げ・拡幅を実施。 ・工期：令和7年7月3日～令和8年3月31日 ・工事概要：盛土工（ICT）約46,900m³、法面整形工（ICT）約15,470m²、附帯道路工（ICT含む）約1,880m² ・本工事では、建設現場の情報をリアルタイムに見える化し、工程の見直しや作業の効率化を行うことで更なる省人化を目指す「ICT 施工Stage II」の取り組みを実施。 ・また、ネットワークを使用した遠隔重機を活用し、盛土箇所付近の操作室から2km程度離れた土砂採取箇所の遠隔重機を操作し、土砂の積込を実施。
表彰理由
<有効性> ・ICT施工Stage IIの取り組みとして、土砂運搬のルート・施工量等の情報を元に最適なダンプ台数や使用機械台数を算出し施工段取りを最適化。また、ダンプの運搬状況をリアルタイムに把握し、運搬のボトルネックを解消することで、さらに効率的な土砂運搬を実施した。これにより、ダンプトラックの運搬回数向上（1日平均1回程度向上）等の効果が確認された。 ・また、ICT建機の施工履歴により施工進捗を日々管理し、工程遅延の早期発見と対策・改善を実現した。 ・遠隔重機を活用し、盛土箇所付近の操作室から2km程度離れた土砂採取箇所の遠隔重機を操作し、土砂の積込を実施。土砂採取箇所での積込後、オペレーターが盛土箇所へ移動する時間を減らす事で、施工が効率化された。また、盛土箇所の施工状況を確認しながら積込作業を行うことにより積込、運搬の効率化を実現。 <先進性> ・「ICT 施工Stage II」は建設現場における建設機械の位置情報や稼働状況、施工履歴など様々な施工データをリアルタイムに集約し活用することで、建設現場のデジタル化・見える化を進めるとともに、必要な資機材配置や作業工程などを見直すことで作業の効率化を図り、更なる省人化を目指す取り組みであり、国土交通省により令和6年度に試行工事が開始された。本工事では「ICT 施工Stage II」の取り組みをいち早く取り入れ、実際の工事において施工の効率化を実現した。 ・AIにより最適なダンプ台数や使用機械台数を算出し、それらを施工前に把握することで、施工段取りを無駄なく最適化した。 ・遠隔重機について、実際の施工現場においてに本格的に活用する取り組みは、関東で初となる。 <波及性> ・「ICT 施工Stage II」の取り組みにより実施工においても施工の効率化が確認された。本工事の取組事例を参考とし、今後多くの工事で活用が期待される。 ・遠隔重機の活用については、築堤箇所と土取場が離れている等、河川工事において有効なケースが多いと想定され、今後活用が期待される。 ・本工事では、国土交通省職員、群馬県職員、大学関係者等向けにICT施工Stage II・遠隔施工に関する工事現場見学会を開催し、上記の取り組みに関する普及啓発を図っている。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6利根川(鬼怒川)左岸野木崎築堤その1工事
受注者	潮田建設株式会社
発注者	利根川上流河川事務所

工事・業務概要
本工事では、茨城県守谷市野木崎地先の約260m区間において、利根川左岸の堤防等の整備を実施。 ・工期: 令和6年10月18日～令和7年7月31日 ・工事概要: 盛土工 (ICT含む) 約30, 790m³、土砂改良工 (ICT活用) 約33, 400m³、法面整形工 (ICT含む) 約15, 050m² ・本工事では、建設現場の情報をリアルタイムに見える化し、工程の見直しや作業の効率化を行うことで更なる省人化を目指す「ICT 施工Stage II」の取り組みを実施。
表彰理由
<有効性> ICT施工Stage II の取り組みとして、機械、ダンプトラックの位置情報、稼働状況をリアルタイムに把握することで施工を効率化。また、把握した情報を取得・分析することにより、積込・運搬作業におけるボトルネックを解消。これによりダンプトラックの運搬回数向上(2割程度)等の効果が確認された。 従来、スタビライザ攪拌で施工する土砂改良をICTバックホウを用いた施工方法にて行い、その進捗状況をリアルタイムで取得することで攪拌面積・深さを確実に把握することが可能となった。これにより従来の改良工法に対し確認頻度を減ずることができ、15%の施工速度向上に繋がった。 現場設置カメラのリアルタイム映像を活用し、複数の現場管理を効率的に実施した。監理技術者(特例監理技術者)は、往復で約4時間近くかかる現場の管理を同時に行っていたが、当該技術を用いたことにより、現場間の往復回数を8割減ずることができた。(80%の生産性向上) <先進性> 「ICT 施工Stage II」は建設現場における建設機械の位置情報や稼働状況、施工履歴など様々な施工データをリアルタイムに集約し活用することで、建設現場のデジタル化・見える化を進めるとともに、必要な資機材配置や作業工程などを見直すことで作業の効率化を図り、更なる省人化を目指す取り組みであり、国土交通省により令和6年度に試行工事が開始された。本工事では「ICT 施工Stage II」の取り組みをいち早く取り入れ、実際の工事において施工の効率化を実現した。 ・土砂改良においてICT技術の活用を図った先進事例であり、途中で施工を止めて確認する手間を減ずる効果も確認できたことから、今後同様の工事を実施する上で先進的な事例である。 <波及性> 本工事での土砂改良においてICT技術の活用を図った先進事例として、今後同様の工事で導入されることが期待できる。 現場設置カメラのリアルタイム映像の活用については、特例監理技術者制度(令和2年度に制度化)で2現場を兼任するようなケースで非常に有効であることが確認され、同制度の普及にあたりモデルケースになると思われる。 ・本工事をモデルケースとして、国土交通省職員向けにICT施工Stage IIに関する工事現場見学会を開催し、上記の取り組みに関する普及啓発に寄与した。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6都幾川右岸西本宿上築堤他工事
受注者	小川工業株式会社
発注者	荒川上流河川事務所

工事・業務概要
本工事では、埼玉県東松山市西本宿地先(都幾川右岸5.0k付近)の堤防整備、及び、埼玉県坂戸市横沼地先(越辺川右岸1.7k付近)の河道掘削を行った。 横沼地区で河道掘削した土砂などを西本地区まで運搬し、築堤盛土を行う工事である。 工事実施にあたり、河川内の工事ということもあり非出水期に河道掘削を開始する必要があったため、土運搬・盛土・出来形管理まで効率よく行うことが本工事の課題となったが、様々なDX技術を駆使することで高精度で効率的な施工が行え安全性も高めた施工を実現した。
表彰理由
<有効性> 築堤工事全体において工期短縮・効率的な帳票作成が可能で、安全性も確保できる。 ①土砂等運搬施工の取り組み 車載専用GPS端末をダンプトラックに取り付けることで、警備員、重機オペレーターの携帯端末で到着予定時間を把握することができ、重機オペレーターはダンプトラック到着の合間に他の作業に従事できたため、作業効率が50%向上した。警備員に関してもダンプトラックの位置を把握することで、1時間あたり10分程度の小休憩を確保することができ、警備員の負担軽減につながった。 ②土量管理システムの取り組み 現場での盛土や切土、転圧回数等の施工履歴データを収集・可視化し、盛土や切土の進捗状況を一目で把握することができた。 ③遠隔施工バックホウの取り組み 遠隔操作可能なバックホウを導入し、掘削作業や法面整形作業時に不安定な足場や急斜面での作業ではオペレーターが搭乗せずに安全な場所から操作し作業することができた。 <先進性> 業界内で一部のみで使われている技術や手法を積極的に導入 ①ダンプトラックの走行ルートや走行速度をリアルタイムで見える化することにより、危険運転の抑制に繋がる。 ②重機の稼働状況、どの機械がいつ・どこで動いたかを把握できるため、機械の稼働効率や生産性管理に繋がる。 ③遠隔操作により施工状況を見える化し、施工状況や稼働状況のリアルタイム把握に繋がり生産性向上に寄与する。 <波及性> 全国で築堤(盛土)工事の建設基準の一部で採用される可能性がある ①ダンプトラックの運搬進捗管理を自動化することで、帳票作成時間を作業日当たり1時間程度削減することができた。 ②従来は盛土作業終了後に現地測量を行い、土量計算を行い出来高管理を行っていたが、土量管理システムの活用により、現場での施工履歴データからリアルタイムで切土工、盛土工の進捗状況の把握ができるため、現地測量:1時間、土量計算:30分程度の作業時間削減を行うことができた。 ③遠隔操作可能なバックホウを導入することにより、オペレーターが搭乗せずに安全な場所から操作し作業することができた。従来は合図者を配置し作業を行っていたが、本取組ではオペレーター自らバックホウのバケットを目視し作業を行えるため、合図者の配置が不要となり要員配置の省人化となった。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7(仮称)道の駅こうのす調整池その2工事
受注者	小川工業株式会社
発注者	大宮国道事務所

工事・業務概要
本工事は、埼玉県鴻巣市箕田地区における「道の駅こうのす」事業予定地において、調節池の掘削を実施する工事であり、掘削後、自走式土質改良機にて改良し、土砂仮置場へ運搬・整地を行ったものである。 当該工事箇所は農地に囲まれ、国道17号熊谷バイパスに面しており、土砂運搬時の粉塵及び車両の出入りなど交通管理に留意が必要であった。そのため「ダンプ運行管理ソリューション Solution Linkage Mobale」「車両自動運転システム」を活用し安全性及び環境対策の向上に努めた。
表彰理由
■ダンプ運行管理ソリューション Solution Linkage Mobale <有効性> 本システムの導入により、ダンプトラックの運行状況および運搬回数をリアルタイムで把握でき、運搬回数把握率100%を達成し、運搬管理の効率化が図られた。 また、車両接近時の通知機能により、交通誘導員が常時監視を行う必要がなく、1時間あたり10～15分程度の小休憩を確保できたことから、作業負担の軽減および安全性の向上につながった。 さらに、運行履歴が自動で記録されることで、危険運転の抑制及び発生率0%を達成した。進捗管理や苦情等があった場合も、確認に要する時間が従来の半分程度となり、迅速な対応が可能となった。 帳票作成についても自動カウント機能により、作業効率が約60%向上した。 <先進性> 本システムはモバイル端末および車載用GPS端末を活用し、ダンプトラックの運行管理を自動化・可視化することで、【ICT施工 Stage II】における進捗把握やボトルネック分析を可能とし、現場管理におけるICT活用の高度化を図った。 <波及性> 本システムは、特別な設備工事を伴わず、車載端末およびスマートフォンの活用のみで導入可能であることから、他現場での活用も容易である。・運搬管理および安全管理手法の標準化が可能となり、同様の土砂運搬工事を伴う現場での活用が期待される。・さらに、ICTを活用した効率的な施工管理の推進により、業界全体の省力化および安全対策の向上につながると考えられる。 ■車両自動運転システム <有効性> 本システムの導入により、敷鉄板上の粉塵清掃作業を従来は数名要していたところ、監視1名のみで対応可能となり、作業員0名で省人化が図られた。 また、休憩時間を活用した清掃が可能となり、1日あたりの清掃作業時間が1時間削減された。さらに、作業員を他作業へ再配置できるようになり、現場全体の作業効率向上につながった。 <先進性> 本システムはGNSSを活用し搭乗型清掃機を自動運転させ、省人化とICT活用につながる。 <波及性> 本現場と同様に敷鉄板の仮設道路を使用した工事において、粉塵対策として活用可能である。ICT活用による省人化や環境対策の向上につながり、技術の進展により他機械の自動化も期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道4号東埼玉道路大川戸地区改良その1工事
受注者	金杉建設株式会社
発注者	北首都国道事務所

工事・業務概要
本工事は、国道4号東埼玉道路のうち、埼玉県北葛飾郡松伏町田島～埼玉県北葛飾郡松伏町大川戸において、法面工、舗装工、排水構造物工、縁石工、調整池工を施工したものである。また、埼玉県越谷市増森地区において、市道交差点部における、法面工、舗装工、排水構造物工、縁石工、区画線工、道路付属施設工、道路照明設備工、信号設備工、構造物撤去工を施工したものである。 本工事を進めるにあたり、3次元測量から得られた点群データと設計モデルを統合し、施工ステップの可視化による最適な施工方法の検討、取付道路の勾配に関する3次元的検討、既設構造物との離隔の立体的可視化を実施した（請負業者の創意工夫）。
表彰理由
<有効性> ①施工ステップの可視化による最適な施工方法を検討 3次元測量から得た点群データと3Dモデルを統合し、施工ステップ毎に資材置場や重機を3次元的に配置・可視化して、現場条件を反映した最適な施工方法を検討した。その結果、本線を横断する埋設管路の敷設について、限られた作業ヤード内で施工しながら大型車等の通行を確保することは困難であることが判明し、当初の開削工法から非開削の推進工法へと変更した。 ②取付道路の勾配に関する3次元的検討 最適な取付道路の勾配を検討するため、3～7%の範囲で勾配を変化させた3Dモデルを作成。これらを現況の点群データに重ね合わせ、既設構造物（民地出入口や排水構造物）への影響を可視化した。その結果、当初想定3%では取付道路端が民地の駐車場出入口に至り、民地側へ水が流れることが判明し、取付道路の勾配を5%に変更した。発注者との打合せ時にも活用することで、迅速かつ確実な合意形成を図った。その結果、対面協議の回数および移動時間を削減でき、合意形成に要する時間が従来手法より70%短縮された。 ③既設構造物との離隔の立体的可視化 重機の3Dモデルを3次元地図上に配置し、近接作業する重機の施工範囲や既設構造物との離隔を立体的に可視化した。その結果、現場作業員の安全教育の理解度が深まり、ヒヤリハット報告数が前年同期比で10%減少した。 <先進性> 他社が開発した事後評価済み技術（KK-210003-VE：事後評価年月R6年3月28日）ではあるが、本技術を活用することで、施工の可視化、協議の円滑化及び、現場作業員のKY活動に対する理解の向上が図れた。 <波及性> NETISにおいて有用な新技術（活用促進技術）として位置付けられており、業界全体で広がる可能性が高く、標準化されることが期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道4号東埼玉道路橋梁詳細設計(その5)業務
受注者	セントラルコンサルタント株式会社 北関東営業所
発注者	北首都国道事務所

工事・業務概要
本業務は、東埼玉道路のICに位置する本線橋(鋼5径間連続少数钣桁橋)の詳細設計を実施したものである。架橋位置は一般部が供用中で沿道には民家や商業施設の利用があるほか、大型水路や埋設管等の交差物件が存在する。 本設計の実施にあたっては、関係者間での業務調整(発注者・並行業務)や、関係機関との合意形成、施工中における一般部交通や沿道利用の機能や安全確保が必須であった。これに対して、BIM/CIMを単なる可視化ツールではなく「共通理解の基盤」として活用し、設計打合せや合同現地踏査、関係機関協議において効果的に活用して円滑な業務進行を行った。また、本業務においては、過年度に作成された統合モデルを基に、並行業務成果も反映した統合モデルの作成を行った。 各施工段階における現地情報をDX技術により効果的に取得・加工して、設計・施工段階に応じて3Dモデルによる照査を実施した。更に、オープンデータ等の先進技術を積極的に取り込み、その有効性及び後工程への波及効果を明確に示した。
表彰理由
<有効性> 大型排水路の測量情報不足のため、LiDARを用い点群取得、3D地形図を補完した。水路立入なく作業時間が1日から1時間となり、安全性や取得情報量が向上した。 360°カメラで全天球動画を撮影し現地情報を漏れなく把握、動画をASPで共有し、設計や協議における省力化、生産性の向上が図れた。 近接交差物件との関係を設計段階毎に確認するため、BIM/CIMモデルを更新、交差物件との離隔や付属物と隣接橋の取合いを3D空間で照査した。作業日数の約5日短縮と協議円滑化が図れた。 一般道路切回しに伴い仮設調整池や施工ヤードが段階的に変化するため、施工段階毎に3Dモデルへ反映した。資材吊上げ時俯角照査や調整池容量自動算出を協議資料に活用、二次元図面と比べ作業日数の約2日短縮と協議円滑化が図れた。 統合モデルの作成で沿道施設出入口確保や道路付属物移設に配慮した工区全体の施工計画を立案でき、施工計画の品質確保に寄与した。 <先進性> 沿道利用に関する設計打合せや関係機関協議において、沿道状況をより直感的に理解できるようにするため、オープンデータ「PLATEAU」を3Dモデルに取り込み、さらに建物情報を実態にあわせて加工・更新することで現地をリアルに再現した3Dモデルを作成した。結果、設計や施工計画について任意の角度から描写説明が可能となり、パースやフォトモンタージュの作成に比べてコストが約25万円縮減、作業面において3日/1視点が一日/自由視点へ省力化され生産性の向上が図れた。 360°動画閲覧は撮影機材に紐づく専用のビューアが必要となるが、一般的なブラウザ上でオフライン動作・配布可能なHTML形式ビューアアプリを開発しASPで共有したことで、新たな動画へも対応可能で、誰でも閲覧可能な環境を構築でき、現地情報取得において有効な360°動画の活用の幅を広げた。 <波及性> 設計着手段階から、不足する点群データの補完や埋設物・地上物件の整理、オープンデータ(PLATEAU)の取り込みを行い、設計・協議に活用可能な三次元の情報基盤を早期に整備した。これを基に、隣接橋を含めた統合モデルを随時更新し、省力化による生産性向上と協議の円滑化を図った。本取組は、今後の同様の業務においても有効と考えられる。 360°カメラ取得情報のストリートビュー化やAR(拡張現実)を活用し、情報密度の高い現地情報を手軽に共有可能とすることで、協議の円滑化を図るとともに、後工程において、現地把握や施工検討に活用可能な閲覧環境を構築し、提供した。 統合モデルを作成することで沿道施設出入口の確保や道路付属物の移設等に配慮した工区全体の施工計画を立案が可能となり、施工計画の品質確保に寄与した。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7北千葉道路整備計画検討他業務
受注者	八千代エンジニアリング株式会社 事業統括本部
発注者	首都国道事務所

工事・業務概要
国道464号北千葉道路(市川・松戸)の構造は、外環北千葉JCT接続部から専用部(トンネル構造及び高架構造)と一般部があり、地中部のトンネルから高架構造に移る区間で一般部と専用部が上下で輻輳する。また、国道464号～県道市川柏線区間において、ランプ擁壁施工と重なる箇所もあり現道の切り替え等施工が複雑で全体工期の長期化が想定される。そこで、用地買収の進捗状況を考慮し、用地取得が完了した箇所から順次着工するものとして、全体施工工程を作成した。そのため、用地取得状況によっては施工順序や施工箇所を変更する必要がある。 上記の事業計画の変更に対応する手段として、本業務では、BIM/CIMを利活用した事業マネジメントの準備、用地買収状況を含めた事業計画を3次元及び4次元モデルで可視化し、計画から施工まで一元管理できるプラットフォーム試行モデルを構築し、情報共有システムを用いたモデル・事業計画について受発注者間の共有を行った。
表彰理由
<有効性> 将来の深刻な職員不足(ベテラン職員の一斉退職や新規採用難)を見据え、業務の省人化・効率化を図るため、用地買収・工程・道路事業計画を3D/4Dモデルで統合・一元管理するプラットフォームを構築した。これにより用地取得状況を反映した事業進捗が可視化され、受発注者の拠点からプラットフォームを確認しながら協議が行えることから、移動時間(往復2時間程度)が短縮でき、合意形成や意思決定の時間および費用を大幅に圧縮できる。また、設計・施工に関する接続部(土工部と橋台の取り合い等)の不整合を発注前に検知することで手戻りリスクを抜本的に低減する。 本プラットフォームは、将来の職員減少局面においても過去～将来を含めた事業経緯を踏まえた最適な事業監理を維持できる「BIM/CIMを利用した持続可能なマネジメントプラットフォーム」として機能する。資料が一元管理されているため、貸与依頼から資料検索までの時間を3日程度短縮できる。最新データを用いた整合性確認(照査)が迅速に行えるだけでなく、業務プロセスがシステム上に蓄積されることでベテラン職員の「暗黙知の形式知化」にも寄与しており、事業の効率化において有効な取り組みである。 <先進性> 従来のBIM/CIMは構造物の可視化が主であったが、本業務では「事業計画の動的マネジメント」をデジタル空間で実現している点が先進的である。具体的には、用地買収の進捗状況を3次元モデル上にリアルタイムで色分け投影し、道路や橋梁といった構造物の工種毎の施工ステップが自動シミュレーションされる「4次元モデル(3D+時間軸)」を構築した。これにより、用地取得の遅延が全体工程に及ぼす影響を瞬時に把握し、クリティカルパスの変化に応じた最適な施工順序の変更案を即座に導き出すことが可能となった。試算の結果、1回の施工順序変更に要する時間を2日短縮できる。 また、今回の整備後に施工される後施工区間や維持管理までを見据えたデジタルツイン環境を構築し、発注者・受注者が同一プラットフォーム上で将来の制約条件を事前検証(フロントローディング)する仕組みを確立し、単なる3D化の域を超え、事業の不確実性をデジタル上で制御する「道路事業マネジメント」の先進的な取り組みである。 <波及性> 本業務で構築したプラットフォームは、北千葉道路の制約条件を整理した体系的な仕組みに基づきつつ、システム自体は高度な汎用性を備えている。同様の課題を抱える都市部の道路事業はもちろん、時間軸を伴う進捗管理手法は、用地補償と工事が同時期に重複する事業や、複雑な工程管理を要する事業など、「公共事業の事業監理全般」に広く横展開が可能である。また、本モデルを標準テンプレートとして他事務所へ提供することで、従来の経験と勘に頼った属人的管理(暗黙知)から、誰もが共通データに基づいて判断できる「データ駆動型マネジメント」(形式知)への迅速な転換が可能であり、工程管理の高度化による生産性向上と円滑な事業継続に寄与することが期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道127号川名・富浦地区改良その3工事
受注者	睦建設株式会社
発注者	千葉国道事務所

工事・業務概要
本工事は、千葉国道事務所が進める国道127号防災事業のうち、川名・富浦地区4車線化事業の一環として、館富トンネル北側における道路改良工事を実施したものである。 施工にあたっては、切土法面工（地山掘削・法面整形）において、起工測量から施工、出来形管理、電子納品までの全工程でICT施工を導入した。さらに、TLS（地上型レーザースキャナ）等による点群データとBIM/CIMによる3次元設計データを一体的に活用し、施工管理の高度化と生産性向上を実現した。
表彰理由
<有効性> ① 施工日数の大幅な短縮 3次元設計データを活用したICT建設機械による施工により、従来必要であった丁張り設置作業を大幅に削減するとともに、重機の据え替え回数を低減した。その結果、切土法面施工に要する日数を13日から7日に短縮（約46%削減）させた。 ② 運搬効率の向上 バックホウに搭載したペイロードシステムにより積載重量をリアルタイムで管理し、ダンプトラックの平均積載率を従来の約80%から95%へ向上させた。これにより運搬回数を削減し、運搬作業の生産性向上と燃料使用量の低減に寄与した。 ③ 品質確保と安全性向上 点群データを活用した出来形管理を導入し、非接触による出来形計測を実施した。これにより法面への立入りを最小限とし、安全性を向上させるとともに、出来形精度±50mm以内を確保し、品質の安定化を実現した。 <先進性> ① 点群データを活用したアンカー工の高度な出来形管理 アンカー工において、TLS（地上型レーザースキャナ）で取得した高密度点群データを活用し、アンカーおよびロックボルトの偏心量を計測した。従来の個別測定に比べ、広範囲を一括で計測・記録できるため、検測作業の効率化と記録精度の向上を実現した。 ② パノラマ点群による施工管理の高度化 点群データとパノラマ写真を連携させた可視化技術を導入し、現場状況を高精度かつ直感的に把握できる施工管理を実現した。これにより、施工状況や安全管理上の課題を現場全体で迅速に共有でき、管理効率の向上に寄与した。 ③ 熟練技能に依存しない高精度施工の実現 3次元設計データを建設機械へ搭載し、自車位置をリアルタイムに表示することで、曲線部や複雑な法面形状においても設計どおりの施工が可能となり、施工精度の向上とともに、省人化にも効果を発揮した。 <波及性> ① 汎用建設機械への展開が可能 チルトローテータ等のアタッチメントは、一般的なバックホウへ後付け可能であり、道路・河川・造成工事など幅広い現場への展開が期待できる。 ② 土工全般への適用による生産性向上 ペイロードシステムは土工全般で活用可能であり、比較的容易な導入により積載管理の省力化と運搬効率向上が図れることを確認した。 ③ 高所・法面施工における安全性向上 ICT建設機械による自車位置管理により、急峻な法面や高所条件下においても安全かつ高精度な施工が可能となった。本技術は同種工事への水平展開が期待され、建設現場全体の安全性向上に寄与するものである。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7荒川下流河川事務所管内下流部左岸維持管理工事
受注者	関口工業株式会社
発注者	荒川下流河川事務所

工事・業務概要
本工事は、荒川下流河川事務所小名木川出張所管内の左岸側において、堤防除草、塵芥処理、河川管理施設の維持修繕及び出水・地震等発生時の状況把握を行う工事である。 堤防除草作業においては、作業員の減少や高齢化など担い手確保が喫緊の課題となっている。 これらの課題を解決するため、受注者自らの発案により「生産性向上チャレンジ工事」の取り組みとして、「リモコン型小型草刈り機」を活用した急勾配箇所（法勾配1:1.9未満）における除草作業の遠隔化を行い、生産性（省人化、効率化、安全性、軽労化）向上や働き方改革を実現に向け、新たなDXの取り組みにチャレンジした。
表彰理由
<有効性> ○堤防除草作業の効率化 【省人化】 従来工法（肩掛け式）と比べリモコン型小型草刈り機の活用により、作業人員が約8割削減。堤防天端などの安全な場所から操作者が遠隔操作することで作業員の省人化を実現。 【効率化】 従来工法（肩掛け式）と比べリモコン型小型草刈り機の活用により、施工日数が約5割削減。作業環境が厳しい急斜面の法面においても、効率的に除草作業が可能。 ○安全性・軽労化 【作業員の安全性向上】 ・堤防天端などの安全な場所からの遠隔操作により、作業員が急斜面に立ち入る必要がなくなり、転落事故・熱中症・ハチ刺されなど、従来の除草作業に伴う危険を大幅に低減。 ・作業環境の改善により、軽労化にも寄与。 【第三者への安全性向上】 ・飛石防止機能の採用により、河川利用者への飛石リスクが低減。 ・河川利用者が多い環境下においても、複数人の飛石防護要員を配置する必要がなくなった。 <先進性> 2024年4月からの建設業における時間外労働の上限規制施行を契機に、建設業の働き方改革が強く求められている。加えて、人口減少・少子化・高齢化により建設業全体で技術者・技能者の担い手確保が喫緊の課題となっている。 一方、酷暑の頻発や河川利用者が多く起伏の激しい過酷な現場条件での堤防除草においては、さらなる効率化・軽労化及び安全性の向上が求められている。 本取り組みは、遠隔操作が可能な「リモコン型小型草刈り機」の新技术を活用することで、堤防除草の生産性向上・安全性向上及び作業負担の軽減を図るものであり、都市河川における堤防除草のDX（変容・変革）を推進するとともに、将来的な堤防除草の自動化技術へとつながる取り組みである。 <波及性> 堤防除草における作業員の減少や高齢化など、担い手確保は全国共通の課題である。本工事で活用した遠隔操作による「リモコン型小型草刈り機」の新技术を活用することで、堤防除草作業の生産性・安全性の向上や働き方改革の実現が期待できる。 この新技术を全国的に横展開することで、都市河川における堤防除草のDX（変容・変革）が促進され、堤防除草の自動化に向けた技術開発の契機ともなる波及効果が極めて高い取り組みである。 また、過酷な現場条件における作業の遠隔化技術を取り入れることで、働き方改革にも寄与し、将来を担う若者からも選ばれる、魅力ある建設業としての発展も期待できる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6国道20号八王子南BP館地区遮音壁その1工事
受注者	国土開発工業株式会社
発注者	相武国道事務所

工事・業務概要
本工事は、八王子市域の東西約9.6kmをつなぎ交通混雑の緩和や交通安全の確保、圏央道のアクセス道路として行動範囲の拡大や移動時間の短縮などを目的とした国道20号八王子南バイパス事業のうち、東京都八王子市館町地先において、一般国道20号八王子南バイパス館高架橋の遮音壁工事を行うものである。 本工事は、高架橋上部の高所での施工となり、高架橋の下部には終日にわたり交通量の多い、都道47号線町田街道との交差点が存在している。現道との交差点であり、工事によって影響を受ける範囲の確認は2次元図面のみでは把握が難しいことから、関係者が工事内容をより具体的にイメージできるように3次元モデルを作成し、施工時に想定される課題を事前に把握することで、効率的な施工かつ適切な防護施設対策を行い、公衆災害防止を図るとともに施工計画、工程管理の最適化を図った。
表彰理由
<有効性> 遮音壁工事の製作、製品出荷・現場搬入、現地施工の各工程において、3Dモデルを活用することで、橋梁伸縮部やトンネル区間との接続部などの形状に最適化した部材の部材を製作し、設置における調整、加工作業を削減、現地の施工ステップに合わせブロック毎にパレットに纏めて現地へ搬入し、製作から設置まで作業を最適化することで、工期を2ヶ月短縮及び残業時間を20%削減した。 ・事前測量成果を元に工場製作・・・・・・・・省力化 - 設置作業における調整・加工作業を削減 ・設置部材をブロックごとに管理・・・・・・・・効率化 - ブロック毎纏め小運搬作業軽減 ・移動架設の採用・・・・・・・・簡略化 - 移動架設の採用により落下防止対策・通行止削減 <先進性> 3Dモデルと周辺レーザースキャナデータを組み合わせ、現地での高架橋の形状、現道との位置関係などを事前に把握することで、製作・設置等各工程において手戻りを防止し、施工中の安全確保を図るなど、先進性の高い施工を実現した。 ・事前測量データと3Dモデルにより、現地状況に合わせた部材製作を実施。 ・3Dモデルとレーザースキャナデータにより、施工状況の安全性確保と施工工程の簡略化を実施。 ・3Dモデルから、施工ブロック分けし構成部材を抽出することで、ブロック毎にパレット管理 <波及性> 3Dモデルを設計以外に、動画に活用することで、工事の進捗にあわせて現地の変化が一目でわかり、現地作業員への施工イメージ共有による対象構造物への理解促進、近隣住民への説明会や現地見学で誰でもわかりやすい説明、各施工段階での工事関係者のイメージ共有・意思統一などの効果があり、様々な現場での活用が期待できる。 ・近隣住民や現場見学者 - 工事目的や完成形状を誰でもわかりやすく！ ・社内関係者 - 設計者・製作者・施工者が、各製作・施工の段階で、意思統一が容易！ ・現地作業員 - 構造を理解し安全作業かつ効率的に！

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6西湘海岸深浅測量業務
受注者	国際航業株式会社 神奈川支店
発注者	関東地方整備局京浜河川事務所

工事・業務概要
本業務は、西湘海岸（海域・陸域）の形状変化把握、土砂移動メカニズムの解明、および海岸保全施設整備の基礎資料収集を目的としている。航空レーザ測深（ALB）とナローマルチビーム（NMB）を組み合わせた面的三次元地形測量を実施し、地形変化を可視化した差分図作成や変化土量の算出を行った。 技術的な特徴として、NMBデータのノイズ除去工程に3次元点群解析AIを導入した。NMBデータは気泡や魚群、音響ノイズ等のエラーデータを多く含み、その判別は熟練技術者の目視判断に依存している現状である。本取組では熟練者の解析を教師データとしてAIに学習させることで、エラー判別の自動化と、品質の均一化、工期短縮を図った。
推薦理由
<有効性> ①解析時間の飛躍的な短縮 従来、高密度なNMBデータのノイズ除去は熟練技術者が目視で行っており、本取組みでは5日分の測量データに対して約2週間（測量データの質、地形条件等の影響により、解析時間は変動する）の解析時間を要していた。本AIワークフローの導入により、この工程を自動化し、解析時間は約10分（削減率約99.95%）と飛躍的に短縮し、生産性の向上を実現させた。 ②品質の均一化 熟練技術者の目視判断ロジックをAIがトレースすることで、技術者の目視判断に依存し、手作業に膨大な時間を要していたノイズ除去工程における処理品質を均一化した。 ③熟練技術者による最終検測を組み合わせたハイブリッド型解析手法 AIによる判別はスクリーニング（一次処理）と位置付け、熟練技術者による最終検測を実施することで公共測量成果としての品質を担保した。 <先進性> ①点群直接入力モデル「PointNet」の採用 点の順番がバラバラな3次元点群（X、Y、Z）をそのまま入力し、空間的な連続性から「形」を認識して海底面と孤立ノイズを自動判別する点群処理に特化した深層学習モデルを採用した。 ②公共測量に資する、人間が「正解」を教え、学習したAIが大量データを処理する「教師あり学習」の選択 公共測量成果としてのデータの正確性と再現性を重視し、生成AIで見られる「ハルシネーション（AIが事実と異なる情報を生成する現象）」のリスクを排除し、成果品の真実性と再現性を厳格に確保するため、熟練者の判別ロジックを学習させる手法を選択した。検証の結果、熟練技術者のエラー判別に対して正解率約70%を達成し、AI判別後のデータに対してを技術者が最終検測（確認）を行うハイブリッド型の解析手法として有効であることを確認した。 ③困難な海域特性への対応 日本有数の高波浪特性と急峻な海底地形を持つ西湘海岸において、急峻な地形をノイズと誤判定しやすいシステム課題に対し、周囲の点との関係性を見ることで精度を高める解析フローを構築した。 <波及性> ①測量業界の「働き方改革」を促進 熟練技術者の目視作業をAIで補完することで、技術者不足の解消や長時間労働の是正、さらにはコスト削減への寄与が期待できる。また、高密度データ処理というボトルネックを解消することで、業界全体の生産性向上にも貢献する。 ②他分野への高い展開可能性 本取組みは海岸測量に留まらず、河川深浅測量、港湾点検、さらには陸域の点検業務など、幅広い分野への展開が期待できる。 ③標準化への寄与 比較的汎用的なPCスペック（Ubuntu、GPU搭載等）での解析環境を構築しており、特定の専門業者に限らず広く普及可能な取組みである。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6横環南栄・戸塚間改良その2工事
受注者	宮内建設株式会社
発注者	横浜国道事務所

工事・業務概要
本工事は、圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の一部で、横浜環状道路の南側区間である『横浜環状南線』における高盛土の安定を目的とした地盤改良工事を行ったものである。 BIM/CIMをはじめとするDX技術を仮設計画及び施工段階において積極的に活用し計画・施工を行い、作成した3次元データを発注者等との打合せ資料等に積極的かつ有効的に活用した工事である。なお、BIM/CIMによる3次元モデルの作成を施工会社が自らが行ったことで、作業時間の短縮や工事技術者の技量の向上が実現できた。
表彰理由
<有効性> ①現場でのCIM活用 現道切廻し道路計画では、点群計測から計画道路の3次元モデル・図面作成までを社内で一貫実施し、道路管理者との協議資料作成を5日から1日に短縮し、迅速な合意形成に寄与した。また、地盤改良施工ヤードの高さ設定や造成範囲の検討にCIMを活用し、安全で合理的な施工計画を立案するとともに、検討日数を7日から2日に短縮した。さらに、クレーン作業半径を3次元モデルで検証し、安全性向上を図った。 ②地盤改良杭のICT施工管理システム『Visios-3D』を活用した精度確保 GNSSを活用した施工管理システムにより、改良機を杭芯から約±50mm以内で誘導した。また、支持層到達深度を自動制御で管理し、施工品質の均一化を図った。さらに、施工データの可視化と施工記録作成の自動化により、施工管理の精度向上と業務効率化を実現した。 <先進性> ① 評価された新技術の活用 NETIS登録技術の3次元モデル作成ソフト『TREND-CORE』や点群処理ソフト『TREND-POINT』を導入し、CIM業務の内製化を実現した。これにより、3次元モデルの作成・修正や資料作成の迅速化で、社内のCIM運用日数が30日から10日に短縮した。 ② CIMによる4Dシミュレーション 施工手順や工程の進捗を4Dモデルで可視化した。発注者や現場関係者との協議資料として活用し、2時間の打合せ時間が1時間になる等の協議効率化を図った。 ③ GNSSを活用した測量 GNSS測量機および測量ソフト『Landstar』を活用した。従来2名作業を1名で対応でき、測量作業の効率化と省人化を実現した。また、事前に登録した測量データを活用することで確認作業を効率化し、ヒューマンエラー低減に寄与した。 <波及性> ① 3Dモデル作成ソフト等の普及への期待 本工事で活用した3Dモデル作成ソフト『TREND-CORE』は、CIM活用の効率化に有効であり、今後さらに活用されることで、3次元データ活用の普及・高度化が期待される。 ② CIMデータの将来的な活用 地盤改良工事の施工データを属性情報としてCIM成果品に付与し、電子納品成果として保存した。また、『DXデータセンター』に3次元モデル等を登録することで、維持管理や将来の事業への活用が可能なデータ基盤を構築した。 ③ 次世代育成への取組 同工区の工事関係者および横浜国道事務所の若手技術者40名程度を対象にスキルアップセミナーを開催し、CIMの活用方法やICTを活用した地盤改良施工の見学を実施した。これにより、建設DXに関する理解促進と技術力向上に貢献した。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務
受注者	R7川俣ダム岩盤PS工設計検討業務ダム技術センター・日本工営設計共同体
発注者	鬼怒川ダム統合管理事務所

工事・業務概要
川俣ダムにおける各種観測データの整理及び評価を行うとともに、建設時に設置したダム基礎岩盤を補強するための岩盤PS工の部分更新の実績、計測結果及び既往成果を踏まえ、外力と緊張力の岩盤への応力伝達に関する解析及び評価を行い、未施工の岩盤PS工の修正設計を実施する。
表彰理由
<有効性> 岩盤内の地質構造は標高ごとに異なり、2次元では縦横断的に構造を把握することは困難であり、標高ごとに打設する岩盤PS工（アンカー）の安定計算において解析に課題があった。また、岩盤内で応力がどのように作用するかを2次元では再現できない課題があった。 3次元の地質モデルにおいて、標高ごとの岩盤内の地質構造が把握でき、それを踏まえた標高ごとの岩盤PS工の安定計算が実施可能となり、3次元FEM解析を実施した。その結果、岩盤内の応力分布を把握でき、アンカー本数を当初設計から削減しても問題ないことが確認できた。具体的には、地山押えのA部は44本から3本削減し41本、擁壁押えのB部は13本から11本削減し2本としても、安定計算・3次元FEM解析で問題ないことが確認でき、コスト縮減が可能となった。さらに3次元モデルを活用し、AR技術を用いた3次元コンテンツを作成したことで、学識者への説明に有益であった。 <先進性> 岩盤内には多様な角度で断層が走っており、さらにダム堤体からのスラスト力、貯水池からの水圧など複雑に力がかかっている。また、岩盤の形状も複雑に入り組んでいる。 3次元モデルにより、複雑な岩盤形状を正確に再現し、控除すべき空洞部なども考慮した安定計算が実施可能となった。 <波及性> アーチダム両岸の岩盤は、ダム直下の岩盤と同様に重要な基礎岩盤である。岩盤内部の地質構造及び岩盤形状を3次元化することで、両岸基礎岩盤の安定計算をより高精度に実施可能となった。また、アンカー等による岩盤補強設計の合理化に寄与するとともに、3次元FEM解析による応力分布の把握も可能となった。本手法は、アーチダムの基礎岩盤評価のみならず、複雑な地質条件を有する他のダムや岩盤構造物の設計・評価にも適用が期待できることから、波及性が高いものと考えられる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R7関東MC管内道路構造物品質確保検討業務
受注者	日本工営株式会社
発注者	関東道路メンテナンスセンター

工事・業務概要
本業務は、道路構造物(トンネル等)の点検・診断における「品質確保」と「業務効率化」を目的に過去データの収集と活用方法について検討するものである。 構造物の定期点検等の判定については、基準となる要領等が複数に分散しており、判定者によってばらつき、診断結果の品質確保に課題を抱えている。 この課題を解決し、正確な診断を効率的に実施するための判断材料を提示するため、定期点検要領等の各種技術基準をデータベース化し、RAG(検索拡張生成)技術を用いた「ナレッジベース型生成AIチャットボット」のプロトタイプを構築・検証した。 本システムは、判定者の専門的判断を支援するツールとして、診断に必要な根拠資料を迅速かつ正確に検索・提示する機能を有し、判定プロセスの効率化と品質向上を図った。 さらに、将来的な展開を見据えた段階的な「社会実装ロードマップ」を策定した。
表彰理由
<有効性> 道路構造物の点検・診断業務では、判定基準となる文書の分散による検索の負担や、判定者間の解釈の違いに伴う診断結果のばらつきが課題であった。 本取り組みでは、道路関連の法令や定期点検要領等をデータベース化し、RAG(Retrieval-Augmented Generation)技術を用いた生成AIチャットボットシステムを構築した。これにより、膨大な技術基準から必要な情報へ迅速にアクセス可能となり、適切な判定区分の適用を支援することで、診断結果のばらつき低減と利便性の向上を実現した。 一般的に利用する汎用検索AIと比較し、建設実務に特化したカスタマイズを施している。具体的には、AI操作を支援する「プロンプトテンプレート機能」や、回答根拠のPDF該当部を明示する「参照箇所の高ライト機能」を実装した。これにより、AI操作に不慣れな技術者でも容易に活用でき、回答の妥当性確認や合意形成が円滑に行えるため、実務において極めて有効である。 <先進性> 本システムは、汎用的な生成AIをそのまま利用するのではなく、道路分野の専門的な技術文書に特化したRAGアーキテクチャを採用している点が革新的である。登録された行政文書や技術基準のみを情報源として回答を生成するよう設計することで、AI特有の一般知識の混入やハルシネーション(不正確な生成)を抑制し、行政の技術基準に忠実で信頼性の高い回答を導き出している。 さらに、会話の文脈を維持しながら継続的な対話を実現する「会話履歴機能」に加え、質問意図や時系列情報(法令改正の履歴等)を把握するためのリランクモデルの導入など、実務者の思考プロセスに即した先進的技術を統合的に採用している。これにより、従来の文書検索システムの枠組みを超え、技術者の知識基盤として機能する新たな業務プロセスの実現が期待でき、その高度な先進性が認められる。 <波及性> 構築したシステムは、関東道路メンテナンスセンターでの試行運用にとどまらず、関東地方整備局管内の地方公共団体や民間事業者への活用展開を含めた明確な中長期ロードマップに基づき展開される計画であり、極めて高い波及性を有している。 情報検索基盤としての活用にとどまらず、次段階においては過去の点検調書や損傷画像データを取り込み、損傷の進行性評価および定量的解析を可能とすることで、機能の高度化と汎用性の向上を図る計画である。これにより、従来の属人的判断から、定量データに基づく客観的かつ再現性の高い診断への転換を実現する。また、蓄積されたデータを継続的に維持管理へ活用する仕組みを構築することで、インフラメンテナンスのDXを先導し、持続可能な社会基盤の実現に大きく貢献するものである。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R6荒川第二調節池地盤改良その1工事
受注者	株式会社植木組 東京本店
発注者	荒川調節池工事事務所

工事・業務概要
荒川第二調節池整備は、荒川流域の治水安全度向上を図るための抜本的な対策として、広い高水敷を活用した調節池を整備するものであり、本工事は、荒川左岸41.2km～41.4km付近において、囲繞堤の基礎地盤の地盤改良(施工延長:川面約240m、川裏約210m)を行うものである。 本工事では、地盤改良工における30m(120t)級の大型地盤改良機を、遠隔操作／自動化施工について実地検証を行った。
表彰理由
<有効性> 今回の遠隔操作／自動化施工では、施工位置情報を事前にシステムへ登録し、スラリー状の固化材の噴出量についても、地層ごとの噴出量を自動制御するシステムを実装することにより、経験の少ないオペレーターでも、ばらつきが少なく、規格値を満足する安定した出来形管理が可能である。 また、現場施工と比較し遠隔操作では、施工エリアでのオペレーターの滞在時間を約90%削減(今回の現場では、現場常駐は始業前点検・終業作業のみ)が可能である。 本システムの導入により、以下の効果を確認した。 ・安全性確保:オペレーターは施工エリア外から施工可能となり、危険区域への立入りを実質『ゼロ』 ・施工品質の安定化と工期短縮:出来形管理基準合格率100%(打ち直し0件)を達成し、工期を遵守 ・労働環境の改善:空調設備を整えた室内から遠隔操作が可能となり、過酷な作業環境からの改善
<先進性> 30m(120t)級の自走式大型地盤改良機械を使用した遠隔操作は「世界初」となり、大型施工機械のDX化を実現した。本システムでは施工位置情報や地層ごとの固化材吐出量などの施工条件を事前にデジタル設定し、自動制御で実施する。このため、オペレーターの熟練度による施工品質のばらつきを抑制し、若年オペレーターの早熟化にも貢献できる。この遠隔操作/自動化施工により、以下の効果を確認した。 ・発注者が求める出来形管理を100%順守:全施工箇所均一な品質を確保し、出来形管理基準を満足した。 ・工期の遵守:人為的な施工ミスによる打ち直し0件を達成し、確実な工程遵守に繋がる。 ・オペレーターの熟練度に依存せず、安全かつ高精度な施工を可能とする先進的システムである。
<波及性> オペレーターの熟練度や年齢、性別、国籍に左右されず施工できるため、災害復旧や危険環境下での施工や海外プロジェクトへの参加など、多様な施工条件へ適用可能な技術として期待される。 本技術は、大型地盤改良工事に限らず、小型地盤改良工事にも適用可能なため、災害復旧工事、軟弱地盤対策工事、河川・港湾・道路・造成工事など、多様な建設現場への展開が期待できる。 また、遠隔操作の導入により危険区域への立入りを実質『ゼロ』にできるほか将来的には1人のオペレーターによる2台同時施工を目標としていることから、オペレーター配置人数を最大50%削減できる可能性がある。 さらに、施工の自動化により、熟練技能への依存を低減することで、経験年数や年齢、性別、国籍を問わず幅広い人材が施工への参画が可能となる。これにより、担い手不足の解消や技能継承に寄与し、全国のインフラ整備への波及が期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R5久慈川右岸頃藤北地区整備工事
受注者	東亜建設工業株式会社
発注者	久慈川緊急治水対策河川事務所

工事・業務概要
本工事は、久慈川水系久慈川（一級河川）において、築堤・護岸および排水樋管を施工するものであり、主な工程は、盛土工（ICT）68,500㎡、護岸ブロック工15,904㎡、排水樋管1基である。 本工事では、ICT施工StageⅡ技術を活用し、作業計画の立案から施工・進捗管理までをデジタルツインにより一体的に可視化することで、盛土・運搬作業を中心とした工程管理の高度化および施工の効率化を図った。
表彰理由
＜有効性＞ 盛土工では、大量の土砂運搬と法覆護岸工が並行する中、進捗に応じた運搬経路の見直しが求められた。デジタルツイン上に現況を再現し、地形・土質・機械編成等を反映したAIシミュレーションにより、車両台数や最短経路を最適化し、工程を約5日短縮した。併せて、ドローン測量から3次元ヒートマップ作成までをSmart Constructionで自動化し、測量効率を約4倍に向上させ、進捗を可視化した。さらに、ICT建機の導入により丁張作業を大幅に省力化した。加えて、運搬車両の位置情報をリアルタイムで可視化し、狭隘部や渡河部での滞留・渋滞を防止するとともに、接近アラートにより接触事故リスクを低減し、安全性の向上および作業効率の改善を実現した。 ＜先進性＞ 国土交通省が掲げるi-Construction 2.0「盛土を含む大規模土工の自動化・省人化」に先駆け、本工事ではICT建機とデジタルツインを活用した作業計画の立案・更新および進捗管理、マシンコントロールによる省力化を実施しており、先駆的な取り組みである。また、同じくi-Construction 2.0の重点施策である「施工のオートメーション化」に対し、運搬車両のリアルタイム可視化と施工データを活用した最適化を図ることで、ICT施工StageⅡ（施工データ活用型）の中核施策を先行して具現化したものである。 ＜波及性＞ ICT建機とデジタルツインを活用し、3次元設計データやヒートマップ、工程計画、運搬ルート図を協力会社との打合せ資料として共有した。視覚的に理解しやすいデジタルデータの活用により情報共有が円滑化され、資料作成の省力化にも寄与し、CDE（共通データ環境）の運用拡大による高い波及効果が期待される。さらに、シミュレーションによる工程管理、車両リアルタイム管理、ドローン測量の自動化といったICT活用手法は、河川工事に限らず道路・造成等の土工全般に展開可能であり、中小規模の企業でも導入可能なことから、地域建設業のDX推進に寄与する。また、運搬車両の効率化によりCO₂排出抑制や周辺環境への配慮といった環境面での効果も期待できる。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	令和7年度 横須賀港新港地区新規ふ頭計画に伴う岸壁(-12m)構造検討業務
受注者	株式会社エコー
発注者	横浜港湾空港技術調査事務所

工事・業務概要
本業務は、横須賀港新港地区岸壁(-12m)の構造検討を行うものである。 当該地区の港湾計画では港内静穏度の目標が設定されており、新規ふ頭の整備にあたっては低反射性能を有した岸壁の整備が求められている。当該岸壁は北東方向から岸壁法線に沿うような波(斜め入射波)が入射するが、斜め入射波に対して低反射性能を評価した知見は多くない。加えて、低反射機能を発揮する遊水部構造が3次元的な構造と波浪場の条件で変化することが評価を難しくしている要因の一つとなっている。そこで、遊水部を有する岸壁周辺の入射波と反射波を含んだ複雑な波浪場を再現するため、3次元数値波動水槽による数値解析を行った。本業務では非構造格子でモデル化が可能な「OpenFOAM」という数値解析モデルを適用することで複雑な遊水部構造をモデル化し、斜め入射波に対する反射率について一定の精度がある解析が実施できることを確認できた。
表彰理由
<有効性> 波の反射の影響を低減する構造に関する既往の知見のほとんどは波が直角方向に入射することを前提としたものであるが、実際には港内では構造物からの多重反射の影響等で、様々な角度からの入射波が想定される。静穏度評価で実施される平面二次元の波浪変形計算では、スリットケーソン等が想定どおりに低反射性能を発揮することが前提で計算されるが、遊水部の斜め入射波による三次元的な波浪特性は二次元計算では正確に把握することができない。これを解くには三次元の解析が必要であり、その解析手法としては三次元数値波動水槽(CADMAS-SURF3DやOpenFOAM)がある。このうちOpenFOAMは非構造格子でのモデル化が可能であり、スリットケーソンや直立消波ブロックの複雑な遊水部形状をより正確にモデル化した解析が可能である。構造形状を正確にモデル化した三次元解析を実施することで、より実現象に近い波浪特性を把握・検証することができた。 <先進性> 沿い波に近い入射波を対象とし、かつ多様な構造形式(ケーソン(直立)、スリットケーソン、直立消波ブロック)に対する波浪特性を解析した事例はない。また、解析手法の観点でも、海岸工学における「OpenFOAM」の適用に関する研究の歴史は他手法に比べるとまだ新しいため、先進性のある事例である。 <波及性> 気候変動により平均海面水位や潮位偏差、波高は増加する見込みで設計する必要がある今日において、低反射性能を有する構造も精度良くモデル化できる「OpenFOAM」は、解析手法のひとつとして普及が期待される。現時点で「OpenFOAM」の適用事例は少ないため、解析結果を蓄積することで、構造物に作用する流体力や流れ、越波・越流などの流体運動がより高精度に解明され、構造物の設計を効果的・効率的に進められると期待される。 また、知見の少ない斜め入射波に対する低反射構造の性能を解き明かし今後さらに知見を蓄積することで、同様の条件での港湾に対して、より合理的な構造計画(整備コスト縮減)の検討の一助になることが期待される。

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	令和5年度千葉港千葉中央地区岸壁(-9m)(改良)築造工事
受注者	若築・本間特定建設工事共同企業体
発注者	千葉港湾事務所

工事・業務概要
本工事は、千葉港千葉中央地区における岸壁の耐震改良等の整備を目的とした工事である。供用中の岸壁を占用しての施工であり、工事では取り扱う土砂の管理・ヤード計画が重要となり、事前混合処理工などの工程において正確な土砂の管理が必要であった。従来、これらの管理はトータルステーション等を用いた多人数での手作業に頼っていたが、本工事では三次元測量システム(OPTiM Geo Scan)を導入し、測量からデータ整理までの工程をデジタル化。iPhone/iPadのLiDAR技術と高精度GNSSを組み合わせることで、施工現場における三次元データの迅速な取得と活用を実現した。
表彰理由
<有効性> 現場管理の劇的な効率化と省人化を達成した点を高く評価する。従来の測量機を用いた手法では2名体制で1日240分を要していた測量・データ整理作業が、本技術の導入により1名体制かつ30分で完了するようになり、作業総時間において93.7%の大幅な削減を達成した。特筆すべきは、取得した点群データから現場で即座に土量を算出できる点である。これにより、施工計画への即時フィードバックが可能となり、無駄のない施工管理と生産性の向上に大きく寄与した。当工事の実績では、Geo Scanの使用10回において累計4,500分の作業総時間削減効果を確認している。 <先進性> 既存のレーザースキャナーのような専用の大型機材を必要とせず、汎用デバイスを活用して公共座標に基づいた高精度な測量を実現した点は極めて先進的である。従来の固定式レーザースキャナー(約30kg)に対し、本システムは約5kg以下と83%の軽量化を実現しており、機材移動や設置の負担を大幅に軽減している。本工事のような高低差のある土砂上の移動を軽装で行えるのは大きなメリットであると言える。また、歩行しながらリアルタイムで計測できるため、静止計測を繰り返す従来技術と比較して計測時間を約70%短縮した。さらに、導入コストを初期費用で約92%削減しつつ、新入社員でも直感的に操作できる高い操作性を備えており、高度な専門技術が必要とした三次元測量のハードルを大きく下げた意義は大きい。なお、本技術は高精度GNSSレシーバーとの連携により平面±20mm以内・鉛直±10mm以内の高い計測精度を確保しており、国土交通省の「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の技術基準にも完全に準拠している。 <波及性> 本取組は、単一の工事現場に留まらない広範な波及効果を秘めている。取得されたデータはBIM/CIM連携やデジタルツインの構築に活用可能であり、維持管理における高度な管理体制への移行を容易にすると考えられる。また、低コスト・ミニマムな設備で運用できるため、リソースの限られた中小の協力会社へのDX展開も現実的である。加えて、TS連携による非GNSS環境(トンネル等)への対応や、行政・施工者・住民間でのデータ共有による地域価値の向上など、建設業界全体のDXを加速させ、社会実装を促進するモデルケースとして極めて高く評価できる。